

社会福祉法人 雲柱社

2013（平成25）年度事業計画

目次

本部（世田谷区上北沢）	1	汐入小学童クラブ（荒川区南千住）	129
.....		七峡小学童クラブ（荒川区町屋）	130
愛の園保育園（小金井市貫井北町）	9	汐入東小にこにこすくーる（荒川区南千住）	131
五日市保育園（あきる野市五日市）	19	狛江市立岩戸児童センター（狛江市岩戸南）	132
虹のひかり保育園（狛江市東和泉）	27	狛江市子ども家庭支援センター（狛江市岩戸南）	133
祖師谷保育園本園（世田谷区上祖師谷）	35	狛江市立和泉児童館（狛江市中和泉）	134
祖師谷保育園分園（世田谷区上祖師谷）	41	狛江市ファミリー・サポート・センター（狛江市中和泉）	135
烏山保育園（世田谷区南烏山）	47	たまだいら児童館ふれっしゅ（日野市多摩平）	136
ともしび保育園（江東区東砂）	57	上池台児童館（大田区上池台）	137
神愛保育園（江東区森下）	67	目黒区立中央町児童館（目黒区中央町）	138
光の園保育学校（墨田区東駒形）	75	練馬区立高松小学童クラブ（練馬区高松）	139
墨田区押上保育園（墨田区押上）	83	
練馬区立光が丘第六保育園（練馬区光が丘）	91	江東区東陽子ども家庭支援センター（江東区東陽）	140
高根学園保育所（静岡県御殿場市）	99	江東区大島子ども家庭支援センター（江東区大島）	141
黎明保育園（葛飾区堀切）	107	江東区深川北子ども家庭支援センター（江東区高橋）	142
れいめい宝学童クラブ（葛飾区宝町）	113	江東区南砂子ども家庭支援センター（江東区南砂）	143
れいめい堀切学童クラブ（葛飾区堀切）	114	練馬区立光が丘子ども家庭支援センター（練馬区光が丘）	144
.....		練馬区立大泉子ども家庭支援センター（練馬区東大泉）	145
さくら橋コミュニティセンター（墨田区向島）	115	小平市子ども家庭支援センター（小平市小川東町）	146
墨田児童会館（墨田区墨田）	116	小平市ファミリー・サポート・センター（小平市小川東町）	147
文花児童館（墨田区文花）	117	小金井市子ども家庭支援センター（小金井市貫井北町）	147
外手児童館（墨田区本所）	118	小金井市ファミリー・サポート・センター（小金井市貫井北町）	148
江東橋児童館（墨田区江東橋）	119	
江東区平野児童館（江東区平野）	120	賀川学園（小金井市貫井北町）	148
江東区亀戸児童館（江東区亀戸）	121	小金井市福祉共同作業所（小金井市中町）	150
江東区大島四丁目学童クラブ（江東区大島四丁目）	122	かがわサポートセンター・ウイングス（小金井市貫井北町）	152
江東区大島八丁目学童クラブ（江東区大島八丁目）	123	かがわの家（あきる野市、小金井市）	154
江東きっずクラブ明治（江東区深川）	124	小金井生活実習所（小金井市桜町）	156
江東きっずクラブ深川（江東区高橋）	125	かがわ工房（小金井市貫井北町）	158
汐入ふれあい館（荒川区南千住）	126	ワークスタジオかがわ（あきる野市引田）	160
町屋ふれあい館（荒川区町屋）	127	さくらの木（小金井市貫井北町）	162
汐入学童クラブ（荒川区南千住）	128		

※狛江市子ども家庭支援センターと狛江市ファミリー・サポート・センターは、支援センターブロックですが、それぞれ児童館事業と一体として運営しているため、児童館ブロックの中に入っています。

社会福祉法人 雲柱社
2013（平成25）年度 事業計画

事業基本理念・事業目標に基づく、社会福祉施設の設置・経営、及び収益事業の設置・経営

社会福祉法人 雲柱社 事業基本理念

(1999年12月24日)

- (1) 私たちは、賀川豊彦の思想と実践（キリスト精神）を継承し、神と人ともに仕える仕事をします。
- (2) 私たちは、一人ひとりの人格を尊重し、その成長を支援します。
- (3) 私たちは、常に利用者の立場に立って、そのニーズに応え、サービスの向上に努めます。
- (4) 私たちは、地域社会の福祉課題を積極的に掘り起こし、それに取り組みます。

保育ブロック事業目標

- (1) 私たちは、子どもたちが神を敬い、人を愛するように成長することを願って保育をします。
- (2) 私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、それを受け入れ伸ばしていく保育をします。
- (3) 私たちは、子どもたちの自ら育つ力を信じ、意欲を育て支える保育をします。
- (4) 私たちは、子どもたちが心身共に健やかに育つために、保護者の子育てを支援します。
- (5) 私たちは、地域に開かれた保育園を目指します。
- (6) 私たちは、保育の質の向上を常に心がけ、専門の知識を深め、技能の研鑽に努めます。

グループかがわブロック事業目標

- (1) 私たちは、障害児・者一人ひとりが神に愛され、生かされているという事実に基づいて事業を行います。
- (2) 私たちは、障害児・者一人ひとりの人格と個性を尊重し、その成長と生活を支援します。
- (3) 私たちは、障害児・者の家族が抱える課題を深く受け止め、その解決に向けて努力します。
- (4) 私たちは、地域社会の障害者福祉のニーズを掘り起こし、積極的にこれに取り組み、共に生きることを目指す、地域のセンターとしての役割を果たすことに努めます。
- (5) 私たちは、障害児・者一人ひとりのハンディキャップを理解し、かれらに最適なケアを提供するために、専門の知識を深め、技能の研鑽に努めます。

児童館ブロック事業目標

- (1) 私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。
- (2) 私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。
- (3) 私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。
- (4) 私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。
- (5) 私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。

学童クラブ事業目標

私たちは、所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業にとり組みます。

- (1) 私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。
- (2) 私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。
- (3) 私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。
- (4) 私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を発揮できる学童クラブを目指します。
- (5) 私たちは、自由と規律を大切にす学童クラブを目指します。
- (6) 私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。
- (7) 私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

放課後子ども教室事業目標

- (1) 子どもの人格を尊重し、その自己実現を果たすための遊び、学習、体験等を展開していく。
- (2) 子どもたちからの意見（ニーズ）を受け止め、それを具体化していくために共同活動（共に活動を楽しみ創っていく）を展開していく。
- (3) 子どもたちの居場所になると共に子どもたちの成長を支援していく活動を展開していく。
- (4) 子どもたちに社会や世界で起こっている問題を投げかけ、学習や体験、ボランティア活動等を通して理解を深めていく。
- (5) 問題を抱えている子どもたちや家庭の現実を受け止め、相談の窓口となり、問題解決のために協力していく。
- (6) 学校、関係団体、公共機関と連携し、地域の人たちと協力して、より良い事業の展開と問題解決のための協力関係を形成していく。

子ども家庭支援センター事業目標

- (1) 私たちは、地域の子どものとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実立って、事業を行います。
- (2) 私たちは、地域の子どものとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つまちや社会をつくることを目指します。
- (3) 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。
- (4) 私たちは、地域の子どものとその家族が抱える問題を受け止め、よりよい解決に向かえるよう、専門性に基き対応します。
- (5) 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズに合わせて、必要な支援を行うことに努めます。

社会福祉事業（第二種）

種別	名称	個所	
第二種	保育所	愛の園保育園、五日市保育園、墨田区押上保育園、烏山保育園、神愛保育園、祖師谷保育園、高根学園保育所、ともしび保育園、光の園保育学校、黎明保育園、練馬区立光が丘第六保育園、虹のひかり保育園 ※____は分園併設	12
	児童厚生施設	さくら橋コミュニティセンター、墨田児童会館、文花児童館、外手児童館（墨田区）、汐入ふれあい館（荒川区）、狛江市立岩戸児童センター（子ども家庭支援センター事業併設・狛江市）、狛江市立和泉児童館（ファミリー・サポート・センター事業併設・狛江市）上池台児童館（大田区）、日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ（日野市）、江東区亀戸児童館、江東区平野児童館（江東区）、目黒区立中央町児童館（目黒区）、町屋ふれあい館（荒川区）、江東橋児童館（墨田区）、練馬区立光が丘児童館（練馬区） ※____は学童クラブ分室併設館	15
	放課後児童健全育成事業	れいめい堀切学童保育クラブ、れいめい宝学童保育クラブ（葛飾区）、汐入学童クラブ、七峡小学童クラブ、汐入小学童クラブ（荒川区）大島四丁目学童クラブ、大島八丁目学童クラブ（江東区）、練馬区立高松小学童クラブ（練馬区）	8
	障害福祉サービス事業（共同生活援助事業・共同生活介護事業）（グループホーム・ケアホーム）	かがわの家 シリウス、ベガ、ミラ、カペラ、ジュピター、ソレイユ	6

障害福祉サービス事業 (就労継続支援B型・生活介護・短期 入所)	小金井生活実習所	1
障害福祉サービス事業 居宅介護 行動援護 移動支援事業	かがわサポートセンター・ウイングス	1
障害福祉サービス事業 就労継続支援B型 生活介護	小金井市福祉共同作業所	1
障害福祉サービス事業 児童発達支援センター	賀川学園	1
障害福祉サービス事業 生活介護事業	かがわ工房、ワークスタジオかがわ	2

※□は2013年度開始

社会福祉事業（公益事業）

地域デイグループ事業	さくらの木（知的障がい学齢児 個別・グループ学習）	1
ファミリー・サポート・センター事業	狛江市全域（和泉児童館内）、小金井市全域（小金井市子ども家庭支援センター内）、小平市全域（小平市子ども家庭支援センター内）	3
子ども家庭支援センター事業	江東区東陽子ども家庭支援センター、江東区大島子ども家庭支援センター、江東区深川北子ども家庭支援センター、江東区南砂子ども家庭支援センター（江東区）、練馬区立光が丘子ども家庭支援センター、練馬区立大泉子ども家庭支援センター（練馬区）、 <u>狛江市子ども家庭支援センター</u> （狛江市）、 <u>小金井市子ども家庭支援センター</u> （小金井市）、 <u>小平市子ども家庭支援センター</u> （小平市） ※ <u> </u> は先駆型子ども家庭支援センター	9
放課後子どもプラン事業	汐入東小にこにこすくーる（荒川区）、土曜江東きつずクラブ（江東区）、江東きつずクラブ明治、江東きつずクラブ深川（江東区）	4
家庭的保育事業（保育所実施型）	祖師谷保育園・同分園（実施園）「おうち」（7か所）、光の園保育学校（連携園）「ぶどうの木保育室」 <u>「八広ぶどうの木保育室」</u>	9

※□は2013年度開始

収益事業

店舗賃貸ビル	和光プラザ	1
共同賃貸住宅	友愛コーポ	1

2013年度事業計画の方向性と展開―広く、深く地域に― ＜第二次中期計画の推進を中心とした事業展開を目指して＞

I：事業展開の方向性

1. 事業基本理念（ミッション）を実践の柱に

私たちは12年前、「法人事業基本理念」を策定し、事業展開の方向性と実践の内実を明らかにし、それを対外的にも明示して、仕事に取り組んできました。社会福祉の世界における市場原理の導入がさらに拡大しつつある中で、社会福祉法人はその依って立つべき基盤をいっそう明らかにして実践の差異化をはかっていくことが求められてきています。今年度も、実践の場で、研修の場で、法人のミッション理解を深め、その具現化に力を尽くしていきたいと考えています。

2. 祈り仕える

対人援助を中心とする社会福祉事業は、神によって創造され生かされている人間の重荷を分かち、幸せの実現を支援する仕事であります。それに携わる者は仕事の重大さに畏れを抱きつつ、隣人に対して祈り心をもって仕える事が求められています。隣人の抱える問題が複雑多様化してきている現在、専門的な知識、スキルを深めていくことは言うまでもないことですが、なによりもかけがえのない人格としての存在に対して、畏敬の念を持って関わりを深めて行きたいと考えています。

3. 地域での協働の広がりを

人間の生活の場である地域において、福祉の実践（人間の幸せの実現）を展開して行くことが、社会福祉の主流となってきました。私たちが2011年度に策定した第二次中期計画もまた、その流れをふまえたものであります。今年度もこの計画の推進に力を尽くしていきます。東京都広域に広がった法人の社会福祉事業（一部静岡県に所在）が、それぞれの地域において再組織され、よりいっそう地域に根ざし、地域の人々の多様なニーズに取り組んでいきます。また、同じ地域にある他法人、諸機関、行政等々と協働し、地域福祉の向上に努めていきたいと考えています。今年度はBCP（災害時における事業継続計画）の取り組みにおいても地域との協力関係の強化に取り組んでいきます。

4. 新たなニーズに応える事業へのチャレンジ

社会福祉法人は他の公益法人と比較して、公的に多大な支援（非課税、全面的な公費援助、退職金への補助、建設費の補助等々）を受けている法人であります。それ故に社会問題の中でセーフティネットの役割を果たす事が求められています。地域にある制度から漏れているニーズを見だし、それに取り組むことが求められています。既存の事業の質を維持しながら、さらに新たなニーズに応える事業展開に取り組む体制作りと、ニーズの掘り起こしに努めていきたいと考えています。

5. ミッションに立つ職員（人財）の育成

社会福祉の実践の要はそれを担う職員の力量にかかっています。当法人の人材育成はミッションからでてミッションに帰ることを目指しています。自らを神から命を貸与された存在として自覚し、隣人もまた同じ存在であることを認識する事、すなわちこの認識に立つ人格交流こそが、法人の社会福祉実践を質的に支えている原点であります。この原点の認識と自覚を深め、より深く人格交流の展開を進めていく職員の育成に今年度も力を尽くしていきます。法人研修、各ブロック研修、職場内研修、自己啓発研修のすべてに、法人のミッションを位置づけ展開していきます。

Ⅱ：事業の展開

1. 第二次中期計画の具体化

- ① 法人事業基本理念の職員への浸透と体现化
- ② 地域福祉型事業体の形成と実質的な事業展開
- ③ 現場と法人本部の連携の強化
- ④ 専門委員会の活動の充実と本部機能との協働

2. 法人のガバナンスの構築と強化

基礎構造改革以降、利用者主体の流れの中で、法人の組織および経営の透明化、情報の公開、苦情対応、個人情報対応等々、法人に求められる社会的責任が高まってきました。当法人はこのような現実に対応していくために、ガバナンス（法人統治）の強化が迫られてきています。

今年度も施設側と協力しながら、ガバナンスの向上につとめていきます。

- ① 総合的な視点に立つ経営戦略を策定し、事業の継続と雇用の安定を目指していく。
- ② IT機能(VPNシステムを中心とした法人独自の情報機能システム)の強化と事務作業の合理化を推進していく。
- ③ 求められる事業、新たなニーズに取り組む事業など、法人の社会的使命を果たしていく。
- ④ 利用者主体の立場に立って、苦情対応への速やかな、かつ適切な対応、個人情報の管理に力を注いでいく。

3. 法人の活性化と発展を目指すための取り組み

- ① 研修プログラムの充実と展開により、法人は学習共同体を目指していく。
- ② 職員処遇の検討、職場環境の改善、福利厚生の実施に取り組み、職員の定着を図ると共に、業務内容の質的向上を促していく。
- ③ 管理職の資質の向上を促すと共に、適材適所の人財登用を行っていく。
- ④ 現場からの提案が活かされる柔軟なシステム作りを目指す。

本部事務局の専門性の強化をし、本部の事業方針を受け、2013年度はルーチンワークの効率化をさらに図りつつ、執行部の指示のもとに次の経営改善計画を推進するため、理事長（常務理事）・担当理事・施設長の補佐を行う。

経営改善計画

組織の再構築を進め、現在遂行している内部統制監査や監事監査等の役割を明確にし、2016年度に外部監査受査に至るまでの手法を確立し、法人の事業基本理念実現のため、効果的・効率的な組織づくりを行うための検討を進める。

1) 組織の再構築

2013年度には「理事会の権限」の範囲や「役員会に任せる範囲」など整理に着手し、組織の再構築を進める。委員会や役員会の位置づけについても合わせて、明確にし、権限の委任をし、役員・執行部の役割分担を行い、効率的な組織運営を行う。同時に事業所の会計責任者等、事務局との責任の範囲を明確にする。

2) 組織規程の改定

理事会、評議員、理事長、常務理事、担当理事、施設長等の責任範囲及び権限を明確にし、組織図の整理とともに、統制のとれた組織とするため、組織規程の見直し・改定を行う。法人が組織体として有機的に活動できるような規程とする。

3) 各種規程の新規作成・改定

就業規則等、既に定められている規程については、現状のコンプライアンスに基づき法人内事業所の実態に合わせた改定・整理を行う。懲戒に関する手続きのように、未制定のものについては、新規で作成提案を行う。また、各規程間の整合性（合理性）についても確認を行い、齟齬の無いよう法人の規程体系を整備する。なお、規程の整備に際しては、法人で統一すべき事項、各ブロックでの共通事項、事業所固有の事項を見極め、整理・明文化する必要がある。特に、就業規則等職員処遇に係る規程については、異動等の際に問題が生じないように、細部にわたり検証する必要があり、外部の専門家の意見も取り入れる。

規程整備については、経営委員会で優先順位を決定し行う。

4) 60歳定年制の検討について

単純に定年の年齢を引き上げるだけでなく、60歳以降の働き方を個々の人生設計に合わせて選択できるように60歳以上の勤務体系の設計を行う。

5) 人材育成方針の確立

「法人の職員」として育ったことが、他法人の福祉現場での働きに繋がるような、「地域（日本）」の福祉の担い手としての役割を果たすことのできる人材育成を目指す。法人の理念である、キリスト精神や賀川豊彦の取り組みが、今の世の中でどう繋がり、発展していくのかを見据え、研修体系の再構築やキャリアパス制度の検討を進める。

6) 給与制度検討

人材育成にあった、給与制度及び諸手当の見直しを行い、財源を確保する。

7) その他ガバナンスを確立するために

各制度の再構築、規程改正等に纏わるそれぞれの整合性を保持するため、規定・書式などの保守・管理をおこなう。

法や制度の枠を超え、幼児期から学齢期、成人期にわたって知的障がいと自閉症児・者及びその家族の地域での安定した暮らしと成長を支援することをめざし、以下の事業を障がい児・者ブロック8事業所が連携・分担して実施する。

障害者総合支援法、障害者虐待防止法、意思決定支援等、法制度や求められるものが目まぐるしく変化する中で、利用者と家族のニーズに応えるとともに安定した運営をめざす。また、建物の老朽化への対応や新規事業の検討、現在行っている事業の見直しを行う。特にニーズの高いさくらの木をどのように継続させていけるのか法人とも協議し検討する。

・さくらの会運営事業

「さくらの会」の運営 卒園生・現役・退所利用者を対象に会員制による会
名簿の作成・会費の徴収

「さくら前線」（さくらの会会報）の発行

さくらの会会員、及び法人関係やお世話になった方を対象に年4回（4月・7月・10月・2月）発行する。

合宿の企画運営

夏合宿A	8月1～2日	（山中湖）	小学生と中学1年生対象
夏合宿B	8月22～24日	（野辺山）	中学2年生～成人対象
スキー合宿	1月19～21日	（苗場）	小学生以上の利用者とその家族

・きょうだいの会（ライオンクラブ）事業

障がいのある子どものきょうだいと家族を支える会として、毎月1回のゲームや工作、調理などの定期活動と年1～2回、障がいについての学習も含めたキャンプの企画運営を行う。

・かがわブロック全体職員会の企画運営

法人のミッション、各事業所の現状や課題、計画等を共有し、また障がい児・者に関する研修を外部から講師を招いて年3回実施

7月20日（土）	講演会（職員研修）	実践報告合評会
12月7日（土）	アドベント礼拝（国分寺教会）	
	講演会（職員研修）	障がい児・者ブロック事業総括
3月22日（土）	障がい児・者ブロック事業計画	

・東京都障害者（児）移動支援従事者養成研修事業

ヘルパー確保と障がい児・者の理解を目的にガイドヘルパー養成研修講座を年1回（2日間の日程）で開催する。

6月16日（日） 場所 賀川学園

6月23日（日） 場所 賀川学園

・小金井地区マスタープラン委員会

貫井北町地区を中心に他ブロックの事業所（保育所・子ども家庭支援センター等）との連携した乳幼児期から児童期の多岐にわたる総合的な支援の展開をめざし、研修・交流の機会を企画する。

・バザーの開催

卒園生や事業所の利用者の方との交流の場として、また地域の方への理解・交流の場として「グループかがわ後援会」主催のバザーに8事業所全体で企画・協力をする。

11月9日（土） 場所 賀川学園・かがわ工房

社会福祉法人雲柱社愛の園保育園 2013（平成25）年度事業計画

記入者 小山 正弘

事業の内容と展開

長年勤務していた職員の異動が続いたため、今まで培われてきた保育内容や行事、その他において、形は残っているがその意味するところがわからなくなっていたり、曖昧になっていたことも多かった。2012年度、職員による整理が少しずつ進み、今年度はそれを踏まえて再確認していければと考えている。2012度は「子どもの最善の利益」を図るために「生活や遊びの環境について」学んできた。より具体化し、共通理解を深めていく年度としたい。

I. 愛の園保育園のパンフレットを改めて作成する。

○愛の園の保育内容がより具体的に下記の条件を踏まえてわかりやすく示せるように作成する。

- ・保護者や地域の方々への周知に用いられるようにする。
- ・パート職員を含む全職員の共通理解にも役立つものを作成する。
- ・パンフレットを用いながら、どの職員でも相手に説明出来るようにしていく。

II. 保育内容の充実に向けて

○保育環境の充実

- ・子どもが主体となる遊びが充実するように今年も環境の整備に努めていく。既存のおもちゃのリストを作成して園児の反応などを記録する資料作成を2012年から始めた。今後もこの中身を充実させていき、記録の積み上げていくことが出来るようにしていく。
- ・戸外環境についても、よりよいものを求めて改善していく。
- ・他園の見学研修も続け、今後の参考にしていく。

○課題保育(自由遊びを補う)

- ・5月から月に一回程度、幼児クラスでリトミックを開始する。職員の中にもリトミックを体験したことのない職員がいるので、4月に職員のミニ体験研修をする。
- ・クッキングを幼児クラスで2か月に一回程度、計画的に実施する。

○行事について

- ・2012年度の反省を踏まえながら、具体的に改善できるように計画をして、行事の企画を作成する。企画をする過程についても記録を残し今後につなげていく。

○礼拝

- ・幼児クラスのクラス礼拝はだいぶ馴染んできている。牧師との交わりも子どもたちは喜んでいる。

Ⅲ. 土曜日の保育

○土曜日に登園する園児が増えてきているので、土曜日の非常勤職員の確保が必要になる。

Ⅳ. 一時保育の展開

○気になる子どもや保護者が増え、必要性はますます高まる。

- ・待機児解消「定期利用枠」のため、本来の一時保育枠が取りづらくなっているが、2012年度同様、利用者の希望を調整しながら、1人でも多く一時保育を利用できるようにしていく。
- ・アレルギーの子どもが増えている。現在は除去食及び代替食で、給食を提供しているが、アレルギー食品が多様化しているため、食品の種類によっては、お弁当を持ってきてもらうことを検討している。
- ・「地域講座」などに積極的に声をかけて、保護者のニーズを聴きとり、支援に結びつけていく。

Ⅴ. 園内研修(学習会)

○「リソースルームと地域支援について」「救命救急(エピペン含む)」「担当制について」「保育園の食事のあり方について」「キリスト教保育」について職員会議や学習会で学んでいく。

○地域での連携にむけて

- ・昨年度11月、かがわグループ・子ども家庭支援センターの職員との合同学習会を実施することが出来た。近くにいてもなかなかわからなかったそれぞれの仕事の内容が大づかみだがわかるようになり、職員からも好評であった。お互いに職場体験をしたいという声も上がっているので、出来るところから実施し、今年度も合同の学習会をおこなう予定である。

Ⅵ. 会議・打ち合わせのありかたの再検討

○月案検討を充実させるために

- ・子どもの本来の成長発達を見直すことと、実際目の前の子どもの様子から検討出来るように、月案検討の時間帯や進め方について再検討し実施していく。

○その他にも効率よく内容を深められるような会議・打ち合わせの在り方や時間帯等を検討し具体化し実施していく。

Ⅶ. 職員の役割分担

○「園長」、「主任」、「統括リーダー」、「リーダー」、「事務(パート)」等の役割分担を明確にし、役割の理解とお互いの連携を高めていく。

○「正規職員」と「非正規常勤職員」、「パート職員」の役割分担を明確にして、役割の理解とお互いの連携を高めていく。

環境整備・修繕等

I 施設運営

(1)実施事業

ア.特別保育事業

- ・ 零歳児保育特別対策実施（零歳児受入人数：18名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（午後7時30分まで）
- ・ 延長保育事業（零歳児受け入れ）
- ・ 障がい児保育事業実施（2名）
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・ 一時保育預かり事業
- ・ 年末保育

イ.地域子育て支援推進事業

- ・ 小中高生の育児体験受け入れ
- ・ 育児講座（食事講座、救命救急、遊び講座なども検討）
- ・ 保育所体験

(2) 児童の処遇

ア.クラス編成

クラス名	年 齢	園児数	障がい児数	保育士	備考
つぼみ	0歳	18		6	看護師
たんぽぽ	1歳	20		4	
ちゅうりっぷ	2歳	24		4	
はな	3歳	26	(1)	3	補助パート
ほし	4歳	26	1	2	補助パート
つき	5歳	26	1	2	補助パート
合計		140名	3名	21	
つくし	(一時保育)	定員 10名		2	補助パート

イ.月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 296日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	23日	25日	23日	25日	

ウ. 健康管理

健康診断

乳児	毎 月
幼児	年 2 回 (5 月、11 月)
歯科検診	年 2 回 (5 月、11 月)
蟻虫卵検査	年 1 回 (6 月)

エ. 保 育

保育目標 (保育ブロック統一)

「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にすること」

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じ取り表現する子ども

各組の保育目標

つき組(5歳児)の年間目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・ 様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して身体を動かす事を楽しみ、新しい体験にチャレンジする。
- ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や自主、自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・ 様々な事物や事象と自分達の生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・ 異年齢や様々な人と関わる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・ 人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 自分の持つ好奇心や知的探究心を働かせる事により、考える力が育ち、表現力が豊かになり、感じたことや思ったこと、想像した事などを自由に工夫して表現する。

星組(4歳児)の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・ 友達と遊ぶ事の喜びや楽しさを感じ、集団で活動する事を楽しむ。
- ・ 意欲的にいろいろな事に挑戦し、体を動かして遊ぶ事を楽しむ。
- ・ 健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・ 人の話を聞いたり、自分の経験した事や思っていることを話したりして、言葉で伝え

ることを楽しむ。

- ・自然や身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、その事を表現しようとする。

花組(3歳児)の年間目標

- ・生活が自立してくる事で自信を持ち、自分のやりたい事が表現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かすことを楽しむ。
- ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ、美しさなどに気づき感性を豊かにしていく。

ちゅうりっぷ組(2歳児)の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け入れてもらう事で、安心して気持ちを出せるようにする。
- ・身体を動かす事が楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやり取りを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味を持ち、みため、つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

たんぽぽ組(1歳児)の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と、情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かす事を楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などを自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心を持ち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心を持つ。

つぼみ組(0歳児)の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を変えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に

努め快適な生活が出来るようにする。

- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的要求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発生や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを見たり、触れたりする機会を通して、身のまわりのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

主な行事予定（行事費用）

- 4月 入園式(1万円)・保護者会総会
- 5月 保護者懇談会
- 6月 保育参観・プール開き(3万円)・歯科検診(3万円)
地域お楽しみ会(8万円)
- 7月 お泊り保育(10万円)・父親懇談会(1万円)
- 9月 Welcomeday(3万円)・「育児講座」(3万円)
- 10月 運動会(15万円)・遠足(15万円)・中間反省
- 11月 秋祭り(10万円)・感謝祭(3万円)・防災訓練(賀川学園と合同)
- 12月 クリスマス会(15万円)・OB&地域クリスマス会(5万円)
- 1月 餅つき会(3万円)
- 2月 保育参観・保護者懇談会・年間総括
- 3月 卒園式(10万円)・進級を祝う会(10万円)・卒園遠足(5万円)

オ. 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年4回
- ・栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材・安心できる素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・給食供給者としての諸管理
- ・食材の放射能汚染への対応に万全を期していく。

カ. 安全管理

- ・安全チェック(毎月)
- ・非常災害時の避難訓練(毎月1回)内1回は賀川と合同総合訓練
※朝、夕、土曜日の訓練も再検討。
※放送設備などは、どの職員も対応出来るようにしていく。
- ・引き渡し訓練の実施(年1回)
※実際の場面を想定して引き渡し出来るように、あり方を再検討する。

- ・ BCP を作成し、年 1 回は訓練をする。
- ・ 定期的に食事検体や、砂場・植え込みの放射能物質の検査を行い(市による)子どもたちの環境整備に努める。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
統括リーダー	1名
保育士	20名
調理員	3名 (栄養士含む)
看護師	1名
嘱託医	1名
パート職員(朝夕、フリー、障がい児担当など)	29名

イ. 健康管理

健康診断	年 1 回	(7 月～9 月)
細菌検査	年 1 回	
	調理、0 歳児担当者、施設長、主任のみ	毎月 1 回

ウ. 職員会議

職員会議	毎月 1 回
行事前打ち合わせ会	随 時
反省会	年 2 回
乳児・幼児別打ち合わせ会	月 2 回
クラス別打ち合わせ会	毎月 1 回
学習会	毎月 1 回

エ. 研修計画

- 法人内研修 (10 万円)
- 学習会 巡回指導、「リソースルームと地域支援」「担当制」他。(50 万円)
- 外部の研修 施設見学(5 万円)
- 私立保育園連盟 (10 万円)
- キ保育所同盟研 (5 万円)
- 東社協 (5 万円)

オ. 退職・福利厚生
独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
J T B えるべる倶楽部加入

2. 施設管理

(1) 事務関係

ア. 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、実費徴収事務
- ・労務管理(出勤管理、有給休暇管理 等)

イ. 児童処遇事務(保育、給食、健康管理)

- ・保育指導計画の作成
- ・給食献立表の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア. 固定遊具の設備点検 (点検費用)

- ・電気、ガス関係点検整備

イ. 老朽設備の点検、老朽箇所の更新(点検、更新費用)

- ・保育室の壁紙
- ・1歳児クラスのトイレ、水場の修繕

(3) 備品関係

ア. 備品購入予定 (購入予定費用)

イ. 保育用品購入予定 (購入予定費用)

- ・おもちゃ・教材等の充実

ウ. 給食用品購入予定 (購入予定費用)

エ. 固定資産物品購入予定 (購入予定費用)

- ・各保育室の園児用ロッカー

(4) 災害対策

ア. 避難訓練 毎月 1回

イ. 防災設備の点検委託

年2回(内、届出1回)

ウ. 非常食糧の備蓄

- (全園児数+全職員数) ×3食×3日分
- 食料備蓄用の倉庫を購入予定

3 地域社会との連携

- ・近隣にある子育て支援センター・保健センター、小学校、中学校、保健所、児童相談所、子育て支援課とつながる事によって、虐待の可能性のある家庭、子育てに悩んでいる家庭の支援をしていく。
- ・一時保育の利用者等を通して感じた地域のニーズに添った支援をしていく。
- ・地域の小学校・学童クラブとの連携をとりながら卒園児の育ちを見守っていく。
- ・小学校とのつながりが義務化されたので保育要録等を通じて情報交換を行っていく。
- ・近隣にある法人障がい児者ブロックの協力、連携していく。

4 人事関係

異動職員・・・1名(五日市より)

産休・育休に入る職員が一名。

5 その他

- 新園舎建設に向けて
 - ・園舎の老朽化に伴い建替えを決定した。2014年2月完成予定。
 - ・2013年度は別の場所に建設した間仮設園舎（プレハブ2階建て）で11ヶ月間保育をおこなう。園庭が無いために近隣公園へ出かける機会が増える。また、仮設園舎内も必要最低限の面積の為、様々な面に於いて不自由が強いられると予測している。そのような中、職員が協力し、少しでも快適に生活できるよう知恵と労力を結集し乗り切りたい。
 - ・新園舎は定員変更（10名増）のため延床面積が大きくなるが、その分、園庭が狭くなる。現在、近隣の畑（250坪）の地主さんから保育園で購入しないか、との話が持ちかけられている。
 - ・新園舎での保育をどのように展開していくか検討していく。
- パートの雇用形体・時給など就業規則に沿って見直していく。
- 保育の見直し
 - ・行政による子育て新システムの研修など学びを多くしていく。
 - ・今まで行ってきた保育の流れや内容をここで改めて見直していく。
形だけの教材提供ではなく子どもにとって何が大切なことなのか、何故必要なのかを確認していく。また、大人（保育者）と子どもの対話に重きを置いた保育を展開していく。その為に園の内外において研修から学び必要な資質を向上させていく。環境以前に職員としてのモラルや福祉職としての責任と自覚を再確認していく。
仮設園舎ではあるが室内環境についてはより家庭的で落ち着いた環境づくりを進めていく。子どもたちが遊びたいと思うようなものを必要に応じて順次出していけるように、おもちゃのリストを作成する。
 - ・特別な支援を必要とする子どもが増えている。クラスに入って活動するもの、個別に対応するものなどについて学び、職員同士が共通理解を高めて保育にあたっていけるようにしていく。「かがわB（障がい児・者ブロック）」から学んだり、連携を進めて行く。
- 親支援
 - ・家庭環境が複雑な場合等、個別の対応を必要とするケースがととも増えている。適宜保護者との面接が出来るようにすることと共に、地域の民生児童委員・子ども家庭支援センター等との連携をより強固にしていく。
 - ・多様化する親の価値観にしっかりと向き合い対応していけるよう職員の資質の向上を目指す。具体的には、傾聴、共感、受容を基本とした対人援助に関わるの学びを多く取り入れていく。
- 組織系統の明確化
 - ・組織として仕事を展開する為に指示系統を明らかにし、役職（園長、主任、リーダー）の役割を明確にする。
 - ・特に事業展開の要と位置付けるリーダーの強化に力を入れていく。
- 新たなニーズを掘り起こす取り組み
 - ・昨年度に続き、「一時保育」他、親支援について学んでいく。

- ・地域の子育て家庭が来園しやすい保育園となるように工夫していく。その交わりの中からも保護者のニーズが受け止められるようにしていく。

○ BCPについて

- ・保育園のみならず、あきる野市のプランを踏まえ且つ近隣施設（保育園、小学校など）や町内自治会などの計画も織り込みながら策定していく。

○ 放射線対応

- ・あきる野市主催による「放射能食物検査」を年6回受けている。結果を利用者に公表している。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・零歳児保育特別対策事業実施
- ・産休明け保育実施
- ・延長保育実施（1時間延長）
- ・延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・障がい児保育事業実施（特児対象：1名）
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・小中高生の育児体験受入れ（夏期ボランティア受け入れ） 年28日間受入れ予定
- ・保育所体験（園開放） 年10回
- ・出前保育（子育てサロン） 年11回実施予定
- ・年末保育
- ・小学生低学年児童の受け入れ（12名）

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	備考
つぼみ	0歳	3名	6名		+パート補助1名
たんぽぽ	1歳	2名	10名		+パート補助1名
ちゅうりっぷ	2歳	2名	14名		+パート補助1名
れんげ	3歳	2名	20名	1名	+パート補助1名
すみれ	4歳	1名	23名		+パート補助1名
いちょう	5歳	1名	24名		+パート補助1名
	フリー	名			1名は乳児増加の備え
ひろば		1名			
合計		12名	97名	1名	+パート補助1名

☆保育士数合計は、主任保育士を除いた数である。

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 297 日
25日	23日	26日	26日	26日	24日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	24日	25日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

- 入所前 前年度3月
- 乳児 毎月
- 幼児 年2回（4月、10月）
- 歯科検診 年1回（6月）
- 蟯虫卵検査 年1回（5月）

エ 保 育

保育目標（保育ブロック統一）

- 「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にする子ども」
- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
 - 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
 - 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
 - 4 さまざまな人との関わりを大切にし、思いやりをもって共に生きる子ども
 - 5 自然や命あるものとの出会いを大切にし、豊かに感じ取り表現する子ども

各組の保育目標

いちよう組（5歳児）の年間目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
 - ・ 様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通してからだを動かすことを楽しむ。
 - ・ 健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自立の態度を身に付け、理解して行動する。
 - ・ 様々な事物や事象と自分達の生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- 異年齢や様々な人と関わる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- 人の話をよく聞き自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 自分のもつ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり、感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

すみれ組（4歳児）の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
 - ・ 友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- 意欲的に色々なことに挑戦し、からだを動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身に付ける。

- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝えることを楽しむ。
- ・自然や身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

れんげ組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを知る。
- ・食事・排泄・睡眠・衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようになる。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気付き感性を豊かにする。

ちゅうりっぷ組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるようになる。
- ・体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の周りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人や回りのことに興味をもち、みたく・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行いからだを動かすことを楽しむ。
- ・安心出来る保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心出来る大人に見守られる中で、他の子どもに関心をもち、関わろうとする。
- ・身の回りの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心を持つ。

つぼみ組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
 - ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、色々な身体活動を十分に行う。
 - ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活が出来るようにする。
- 一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的要求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。

個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。

- ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触る等の経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。

安心出来る人的物的環境の下で絵本や玩具、身近な生活用具等を、見たり、触ったりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

主な行事予定

(行事費用)	4月	入園式 (5万円)
	5月	幼児親子遠足 (10万円)
	6月	こどもの日、花の日 (5万円)
	7月	お泊まり保育 (10万円) 夏まつり (5万円)
	8月	卒園児キャンプ (10万円)
	9月	祖父母の集い (2万円)
	10月	運動会 (10万円)、幼児遠足 (5万円)、2歳クラス親子遠足 (5万円)
	11月	感謝祭 (2万円)
	12月	創立記念行事 (5万円)、クリスマス会 (15万円)
	1月	新年挨拶会 (5万円)、6年生同窓会 (3.5万円) つくし講座 (母親講座) (2万円)
	2月	子ども食堂 (5万円)
	3月	お別れ遠足 (10万円)、卒園式 (5万円)、進級式 (5万円)

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年 12 回
- ・栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・給食供給者としての諸管理
- ・園児の畑での種まき・苗植え体験。野菜・果物 (キュウイフルーツ) の収穫体験。
- ・食材の放射能汚染への対応に万全を期していく。

カ 安全管理

- 非常災害時の避難訓練 毎月
- 引き渡し訓練の実施 (9月)

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	2名
保育士	13名（主任を除いた数）（うち2名は臨時職員。） （ひろば1名）
調理員	3名（栄養士含む）
看護師	（1名・・・主任と兼任）
嘱託医	1名（非常勤）
パート職員	29名

イ 健康管理

健康診断 年 1 回（ 10 月 ）
細菌検査 年 12 回 全員
インフルエンザ予防接種

ウ 職員会議

定例職員会議 毎月 1 回
園内研修＋クラス打ち合わせ 毎月 1 回
パート職員を交えたクラス打ち合わせ 毎月 1 回
乳児クラス、幼児クラス各打ち合わせ等 各月 2 回
パート職員の研修 夜年 2 回

エ 研修計画（研修費用）

- ・園内研修（15万円）
- ・法人内研修（15万円）
- ・他施設見学研修（10万円）
- ・その他研修（50万円）

オ 退職・福利厚生

独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
JTBえらべる倶楽部加入

2 施設管理

（1）事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務・・・トータルネット
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

- ・仮設園舎での保育となる。2013年3月末日より保育を開始する。図面においてイメージはつかめているが、実際に入居してから保育の流れや動線など検討、改善を重ねていきたい。

(3) 備品関係

- ・特になし

(4) 災害対策

ア 避難訓練

- ・毎月1回

イ 防災設備の点検委託

- ・年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

- ・全園児数＋全職員数×3食×3日分
- ・備蓄している倉庫内の整理を行っていく。

エ かんたんメールの利用

- ・緊急時の家庭連絡法としてのかんたんメール（ジャクエツ）システムの活用。

3 地域社会との連携

- ・障がい児・者施設、小学校・中学校・高校との交流。老人ホームとの交流。
- ・民生委員、支援センター、保健相談所、児童相談所との連携。
- ・小学校とのつながりが義務化されたので、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 人事採用他

- ・退職職員：1名
- ・異動職員：1名（愛の園保育園へ）
- ・採用職員：3名

5 その他

卒園児キャンプ。6年生同窓会。

「青少年健全育成研究会」との連携を考えていく。

6 子育てひろば事業「いつかいち」

2011年9月より子育て、子育ての拠点として、乳幼児とその保護者の安心・安全な居場所として、交流の場として事業を展開してきた。開館当初から登録数も増加の傾向を辿っている。

課題として、環境及びプログラムの充実と「ひろば」の存在を幅広く周知していきたい。

2012年度は幅広いプログラムを展開し多くの親子が集えるよう「ひろば」の周知に力点を置く、と共に利用者のニーズを形にすることで「ひろば」と利用者の距離を縮める方向性で臨んだ。そのような中で、利用者（母親）主体となる活動の実施も始まり2013年度は更なる地域密着型施設を目指す。プログラムの充実と共に多様なニーズ、課題と向き合えるよう職員の資質の向上にも力を入れていく。

2013年度事業一覧

○毎月のプログラム

「おおきくなったかな」、「ふれあいあそびコーナー」、「お誕生を祝う会」、「読み聞かせの会」、「ぐーちよきぱあー☆」、「びよびよほーむリラクゼーション」、「びよびよほーむおはなし会」、「びよびよほーむリトミック」

○毎週のプログラム

「体験あそびのりのりの会」、「体験あそびむにゅむにゅの会」、「体験あそびぺたぺたの会」

2012年度から新築工事が行われ、2013年4月から認可保育園として開所する。法人のミッションに立ち、光の園保育学校創立からの保育実践の歴史をふまえて保育園の運営を行っていく。思いやりと誠実さを持って働く職員集団を形成し、子どもたちと利用者に寄り添う保育を展開していく。

保育方針

- ① キリスト精神にもとづいたやさしくあたたかい保育を目指す。
- ② 子どもたち、保護者、職員が共に生き、共に成長しあう保育を目指す。
- ③ 子どもたちが健康で情緒の安定した生活が保障され自己を十分に発揮しながら成長する保育を目指す。
- ④ 安全安心を基盤として環境を整え心身の成長を促す保育を目指す。

保育目標

神と人から愛されていることを知り、自分やまわりの人を大切に子ども

- ① ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- ② のびのびとしなやかに、自分のからだを動かして遊ぶ子ども
- ③ 基本的生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- ④ さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- ⑤ 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じとり表現する子ども

2013年度 重点課題

- I. 初年度であり、新入園児のみの年である事を考慮し、子どもと保護者の気持ちに寄り添った、安心・安全に十分に配慮した運営を行う。園の方針や保育内容を混乱なくスムーズに具体化していくため、烏山保育園と祖師谷保育園の運営を参考に進めていく。

職員組織では、雲柱社の保育ブロックで検討している組織内会議系統図を基本にして、目的がかなう、且つ実質的な会議や園務を行っていく。

II. 園の特性

- ① 延長保育の拡大(狛江市初の2時間延長保育実施)
- ② 一時保育の充実
- ③ 特別支援教育
- ④ 次代の親の育成支援(中高校生を対象)

以上を念頭におき、職員と共通理解を図りながら事業を進め、保育所体験等を実施する。またキリスト教保育については、雲柱社の目指す内容に沿って行っていくと同時に、キリスト教保育連盟「新キリスト教保育指針」を尊重し保育を進めていく。

開設当初ということ配慮し、一般の利用者にもわかりやすい行事などから礼拝を取り入れていく。職員がその内容に共感し、働き方や姿勢に現れることを目指す。

- III. 予算の適正な使用と方針に沿った園運営に必要な人材配置を目指していく。

経験者と新人職員のバランス、正規と非正規雇用者のバランスを、虹のひかり保育園の特性と照

らし合わせて考えていく。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・0歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：12名）
- ・産休明け保育実施
- ・延長保育事業（2時間延長）
- ・一次保育事業（0、1歳児：4名）
- ・障害児保育事業（特別支援教育へむけて）実施準備（1～2名）
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・育児困難家庭受け入れ（狛江市子ども家庭支援センターと連携）

イ 地域子育て推進

- ・中高生の育児体験受入れ
- ・保育所体験（パートナー登録）
- ・地域交流、出前保育

(2) 児童の処遇

ア クラス編成 認可定員 110名（現員 110名）

クラス名（仮）	年齢	常勤保育士数	園児数	備考
わかば組	0歳	4名	12名	*看護師
すみれ組	1歳	4名	18名	
さくら組	2歳	4名	20名	
たんぼぼ組	3歳	2名	20名	
ばら組	4歳	2名	20名	
ひまわり組	5歳	1名	20名	
（あじさい組）	0、1歳	1名	4名	一時保育
		1名		主任
合計		19名	110名	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 298日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	26日	25日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

- 心身ともに健やかで元気な子どもになる。
- 自分の身体も、友達の手も大切に思えるような、関わりをする。

健康診断

乳児	毎月 1回
幼児	年3回（5月、プール前、10月）
歯科検診	年1回（6月）
蟯虫卵検査	年1回（6月）
耳鼻科健診	年1回（9月）
保健指導	

エ 保 育

【幼児の保育目標】

基本的な生活習慣を身につけ、主体的に過ごし、友達と遊ぶことを楽しむ。
 その中で、異年齢との関わりの喜び、楽しさを感じる。

ひまわり組（5歳児）の年間目標

- 自分の思いを相手に伝え、問題を解決するコミュニケーション力をつける。
- 自分の得意なものを見つけ、それを伸ばすことによって自信につなげる。
 - ・様々な活動に取り組み、仲間にも認められることによって自信を得、自己発揮する。
 - ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しみ、新しい体験にチャレンジする。
 - ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
 - ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
 - ・異年齢や様々な人と関わる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
 - ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
 - ・自分のもつ好奇心や知的探求心を動かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

ばら組（4歳児）の年間目標

- 自分の思いを言葉で伝える力や、相手の話を聞く力を身に付ける。
- ルールのある集団遊びを経験し、仲間と活動する楽しさを知る。
 - ・ひとり一人の子どもを十分に満たし、情緒の安定を図る。
 - ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
 - ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・健康、安全などについて理解が進み、基本的な習慣を次第に身につける。
 - ・人から話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを知る。
 - ・自然や身近の事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

たんぽぽ組（3歳児）の年間目標

- 基本的な生活習慣が身に付くようになる。
- 遊びを通して、友達との関わりが深まるようになる。
 - ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
 - ・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
 - ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等、生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
 - ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
 - ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにしていく。

【乳児の保育目標】

ひとり一人を大切にされた保育を基盤とする中で、虹のひかり保育園としての0～2歳児への生活の流れ（食事、睡眠、生活リズムなど）を創り、保育の型を整えていく。

さくら組（2歳児）の年間目標

- 自己主張を受け止めてもらうことで、安心して気持ちを表し、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
 - ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを表せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
 - ・体を動かすことが楽しくなり、十分に遊ぶ。
 - ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
 - ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
 - ・大人やまわりのことに興味をもち、みため・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

すみれ組（1歳児）の年間目標

- 子どもひとり一人が生活の流れを知り、身の回りの事象に意欲を持てるようにする。
- 大人との信頼関係を十分保ち、他の世界へも興味を広げていけるよう、環境設定に努める。
 - ・ひとり一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
 - ・保育士にも見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
 - ・安心できる大人に見守られる中で、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
 - ・安心できる大人に見守られ中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
 - ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

わかば組（0歳児）の年間目標

- 子どもの気持ちを大事に受けとめ、ひとり一人が無理なく園の生活リズムに慣れる。
- いろいろな経験や人との関わりを通して、心身共にのびのびと個性豊かに育つ。
 - ・ひとり一人の子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
 - ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
 - ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
 - ・ひとり一人の子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
 - ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
 - ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
 - ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
 - ・安心できる環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

あじさい組（一時保育）の年間目標

- 家庭的で落ち着いた雰囲気大切に保育を行なう。
- 個別の配慮をすると共に、他事に興味を持ち、保育者や友達と一緒に楽しく過ごす。
- 単発または、継続利用それぞれの子どもの欲求や情緒の安定を図りながら、無理なく安全に生活する。

【行事のねらい】

日々成長をする姿を、保護者と共有するために必要な機会としてとらえ、以下の様な行事を行っていく。

<行事予定（行事費用）>

- 4月 入園式（4万円）
- 5月 保護者会
- 6月 5歳児バス遠足（12万円）
プール開き
- 7月 夏祭り（5万円）
年長児お泊まり会（4万円）
- 8月 プール遊び（5万円）
- 9月 プールじまい
お月見（1万円）
ほのぼの会（敬老会）（5万円）
- 10月 運動会（10万円）
- 11月 3、4歳児バス遠足（14万円）
収穫祭（5万円）
- 12月 わくわくデイ（生活発表会）（5万円）

- クリスマス会 (5 万円)
- 1 月 豚汁会 (2 万円)
- 2 月 節分 (1 万円)
- 保護者会
- 3 月 ひなまつり (1 万円)
- 卒園式・卒園を祝う会 (30 万円)
- 5 歳児お別れバス遠足 (10 万円)
- 通年行事 誕生会 (8 万円)
- にじいろタイム (異年齢交流) (3 万円)

オ 栄養管理

- 保育園として一貫性のある食育の基盤とねらいを共有し進めていく。
- 0～1才児の月齢にあった食事の提供を行っていく。

集団給食施設栄養報告 年1回

栄養のバランスを考えた献立表を作成

季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成

保育と連携した食育活動の推進、園内外の畑などで食育体験に取り組む。(10万円)

給食供給者としての諸管理

カ 安全管理

非常災害時の避難訓練

引き渡し訓練の実施(9月)

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
幼児リーダー保育士	1名
乳児リーダー保育士	1名
保育士	16名(嘱託職員4名 再雇用嘱託職員1名 男性職員3名)
栄養士、調理師	3名(嘱託職員1名)
看護師	1名
保育パート職員	8名
調理パート職員	2名
嘱託医	1名(非常勤)
音楽講師	1名(非常勤)

イ 健康管理

○職員の働く環境の向上のため、看護師が衛生管理者の資格取得を目指す。

健康診断 年 1回 (6月)
 細菌検査 年 12回 (全職員及びパート職員毎月1回)

ウ 会議、打ち合わせ

・職員会議	毎月 1 回
・園長、主任会議	毎月 2 回
・リーダー会議	毎月 1 回
・幼児打ち合わせ	毎月 3 回
・乳児打ち合わせ	毎月 2 回
・クラス打ち合わせ	毎月 1 回
・保育まとめ	年 2 回
・新年度打ち合わせ	年 1 回
・園務各委員会	必要なとき
・行事担当打ち合わせ	〃

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修 (5万円)
- ・法人内研修 (30万円)
- ・都私立保育園連盟研修 (8万円)
- ・都社会福祉協議会研修 (3万円)
- ・その他の研修 (10万円)

オ 退職・福利厚生等

社会福祉・医療機構 退職共済制度加入
 東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
 JTB ベネフィット福利厚生加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務 ・実費徴収事務
- ・労務管理 (出勤管理、有給休暇管理等)

イ 児童処遇事務 (保育、給食、健康管理)

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

- ア 固定遊具の設備点検（点検費用）
- イ 建物、消防点検費用
- ウ 害虫他衛生費用

（3）備品関係

- ア 備品購入予定（購入予定費用）
 - 環境整備（10万円）
- イ 保育用品購入予定（購入予定費用）
 - 玩具（40万）
- ウ 給食用品購入予定
 - 食器不足分（10万）
- エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）
 - 園庭遊具類（50万）

（4）災害対策

- ア 避難訓練
 - 毎月1回
- イ 防災設備の点検委託
 - 年2回（内、届け出1回）
- ウ 非常食糧の備蓄
 - $(\text{全園児数} + \text{全職員数}) \times 3 \text{食} \times (1.5 \text{日}) \text{分}$

3 地域社会との連携

- ・ 地域子育て支援、保育ネットワークに参加
- ・ 狛江市立岩戸児童センター、狛江市立和泉児童館との行事協力
- ・ 障がい児・者、高齢者団体主催のイベントなどに参加
- ・ 出前保育、地域交流保育（5万円）
- ・ 小学校とのつながりが義務化されてくるので、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 鳥山保育園、祖師谷保育園、祖師谷保育園分園、隣接する世田谷区の認可保育所との連携・協力

- ・ 職員人材育成（園内研修など合同企画）
- ・ 園外保育の交流（遠足同日開催など）
- ・ 施設長、主任の打ち合わせを定期的に持ち情報交換を行なう。

社会福祉法人雲柱社 祖師谷保育園 2013（平成25）年度 事業計画

記入者 菊地 せい子

2013年度は本園と分園の一体化運営の2年目となるが、本園から分園へ3名の職員が配置転換するのを機に、両園職員の連携意識をさらに強め、保育内容をより充実したものにし、子どもたちに寄り添い、保護者に信頼される保育園作りを進めていきたい。

家庭的保育事業は順調に運営されており6か所から7か所に増えたが、4月から支援者が代わるのを機に保育内容の再確認を行いさらなる充実を図っていくつもりである。

数年中にも首都圏直下型地震発生の可能性が云われている状況を踏まえ危機管理委員会を設置し、子どもたちの命を守るための危機管理に対する意識を高める。また、区の民間保育園連盟で作成した防災マニュアルを基に園用の防災マニュアルを作り、避難訓練など防災体制を強化していきたい。

職員間のコミュニケーションについてはできていると思うが、新たに6人の異動職員、新人職員を迎えるので、現職員の輪の中にスムーズに入れるよう配慮していくつもりである。

また、2012年度から年間を通して、伝承遊びであるこま回し、けん玉、あや取り等々が出来るような環境づくりを整えたが、2013年度も当園の特色のひとつになるよう伝承遊びに力を入れていきたい。そのため昨年同様園内研修でわらべ唄遊びを学び保育に活かしたり、竹馬にも取り組んでいく。

子どもたちがそれぞれ心地よい居場所を見つけ、限りなく豊かに伸びていく力を信じて、保護者と共に安全で健康な情緒の安定した生活ができるような環境を整えていく。そして共に生き互いに成長し合うことを目標にキリスト精神に基づいたやさしく温かい保育園を目指していきます。

保育目標（保育ブロック統一）

「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にする子ども」

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じ取り表現する子ども

施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：10名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育事業（2時間延長、0歳児の受け入れ、スポット利用の受け入れ）
- ・ 障がい児保育事業実施
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・ 年末保育（29、30日）
- ・ 家庭的保育事業

イ 地域子育て推進

- ・ 中高生の育児体験受入れ
- ・ 出前保育
- ・ 保育所体験

- ・お年寄りとの交流
- ・「みんなの部屋」の開放

(2) 児童の処遇

ア 本園クラス編成 認可定員(108名) 現員(111名)

クラス名	年 齢	保育士数	園児数	障がい児数	備 考
うさぎ組	0歳	3名	10名		看護師
あひる組	1歳	4名	16名	1名	2名は嘱託職員保育士と非常勤保育士
はな組	2歳	4名	18名		1名は非常勤保育士
つき組	3歳	2名	22名		
ほし組	4歳	2名	24名		
ゆき組	5歳	2名	24名	1名	
	その他	2名			
合 計		19名	114名		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 295日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	24日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

乳児 毎月1回

幼児 年2回(5月、10月)

歯科検診 年1回(6月)

蟻虫卵検査 年1回(6月)

視力測定「4・5歳児」(11月)

エ 保 育

各年齢の保育目標

5歳児の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探求心を動かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

4歳児の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人に話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝えることを楽しむ。
- ・自然や身近の事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

3歳児の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信もち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かすことを楽しむ。
- ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにしていく。

2歳児の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるようになる。
- ・体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、みたく・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

1歳児の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士にも見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られ中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

0歳児の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を勧め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。

- ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

主な行事予定	4月	入園式（3万5千円）	イースター（5千円）
(行事費用)		4、5歳児親子遠足（18万）	各クラス懇談会
	5月	保育参観（参加）週間	山の木文庫
	6月	花の日、子どもの日、（6万円）	
		5歳児お泊り①	じゃがいも掘り
		プール開き	
	7月	5歳児お泊り②（3万円）	夕涼み会（16万円）
	8月	卒園生遊ぼう会（3万円）	
	9月	個人面談開始	ほのぼの会（3万円）
	10月	運動会（18万円）	5歳児お泊まり②（1万）
		5歳児プラネタリウム観覧（3万円）	さつまいも掘り
	11月	そしがや祭り（25万）	
		収穫感謝祭・会食	山の木文庫
	12月	各クリスマス会（30万円）	
	1月	餅つき	保育参観（参加）週間
	2月	豆まき	大きくなったよの会（3万）
		保育参加・参観	各クラス懇談会
		思い出遠足	（1万5千）
	3月	お別れ会、卒園式（25万円）	進級式（4万円）
		思い出遠足	（1万5千円）
月例行事		誕生会、避難訓練	
		はびねすの会	（年5回）
		おにぎりの日	（年3回 3歳児以上）
		縦割り保育	（毎週水曜日、年3回3～5日間）

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年 4 回
- ・栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・給食供給者としての諸管理
- ・食材の放射能汚染への対応に万全を期していく。

カ 安全管理

- ・非常災害時の避難訓練
- ・危機管理委員会設置
- ・引き渡し訓練の実施（9月）
- ・BCPを作成する。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
保育士	16名
看護師	1名
栄養士	2名
調理員	3名
非常勤職員	11名
嘱託医(非常勤)	1名
音楽講師(非常勤)	1名

イ 健康管理

健康診断 年 1 回 (6月)

細菌検査 年 12回 (全職員及び非常勤職員 毎月1回)

ウ 会議

・職員会議	毎月 1 回	・主任会	毎月 2 回
・幼児打ち合わせ	毎月 2 回	・乳児打ち合わせ	毎月 2 回
・各クラス打ち合わせ	年 6 回	・食事打ち合わせ	毎月 1 回
・行事前打合せ会	随時	・振りかえり	年 2 回
・新年度打ち合わせ		・本園、分園打ち合わせ	随時

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修 (20 万円)
- ・法人内研修 (10 万円)
- ・民間保育園連盟研修 (30 万円)
- ・その他の研修 (40 万円)

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・JTB えらべる倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理 (出勤管理、有給休暇管理 等)

イ 児童処遇事務 (保育、給食、健康管理)

- ・保育指導計画等の作成

- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検（点検費用）

- ・建物調査（9万円）受水槽清掃（5万6千円）排水槽清掃（6万5千円）
ダムウェイダー点検（4万2千円） 害虫駆除（16万2千円） 消防点検（9万4千円）
床清掃（30万円）砂場管理（12万円）調理器具・保守点検（16万円）

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（購入予定費用）

- 椅子10脚（10万円） テーブル2台（14万円）布団5枚（9万円）

イ 保育用品購入予定（購入予定費用）人形10体（8万円）

- ・クラス用遊具、環境整備用品（50万）

ウ 給食用品購入予定（購入予定費用）

- ・調理器具（30万）

エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

- ・大型プール（150万）・4人乗り乳母車（8万）・体重計（8万）

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

○（全園児数＋全職員数）×3食×2日分

3 地域社会との連携

- ・烏山地域子育て支援の「保育ネット烏山」に参加。
- ・トライアングルフェスタに参加、児童館懇談会に情報交換の場として参加。
- ・民政委員の方と相談しながら、一人暮らしのお年寄り宅を訪問する。
- ・地域のお年寄りとの交流とお食事会、「はびねすの会 年4回」
- ・地域の部屋を週二回、地域の子育て中の親子に開放する。
- ・出前保育、園開放
- ・塚戸小学校との交流や、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 人事関係

- ・異動職員 2名（ともしび保育園、練馬区立光が丘第六保育園から）
- ・新人職員 3名
- ・嘱託職員 1名

5 その他

祖師谷保育園分園、家庭的保育との連携、協力

- ・職員人材育成（合同園内研修を実施）
- ・園外保育、5歳児お泊まり
- ・本園、分園合同主任会を定期的に持ち、情報交換や確認する。
- ・食事に関すること（共通献立や食育の工夫など）

社会福祉法人雲柱社 祖師谷保育園分園 2013（平成25）年度 事業計画

記入者 菊地 せい子

2013年度は分園と本園との一体化運営の2年目となるが、分園へ本園から3名の職員が配置転換するのを機に両園職員の連携意識をさらに強め、保育内容をより充実したものにし、子どもたちに寄り添い、保護者に信頼される保育園作りを進めていきたい。

また、職員間のコミュニケーションをより密にし、前向きな意見交換が常にできるような雰囲気づくりをすると共に、報告・連絡・相談をしっかりと取りあっている職員集団を作りあげていきたい。

家庭的保育事業については順調に運営されており6か所から7か所に増えたが、4月から支援者が代り所属も本園となるので、分園に属する2か所の「お家」との連携がおろそかにならないよう、より密接な協力体制を取っていく。

また、伝承遊びであるこま回し、けん玉、あや取りなどが出来るような環境を整え、日々の遊びに取り入れていき、わらべ唄遊びも昨年同様本園と合同の園内研修で学び保育に活かしたい。

数年中にも首都圏直下型地震発生の可能性が云われている状況を踏まえ、危機管理委員会を設置し、子どもたちの命を守るための危機管理意識を高める。また、区の民間保育園連盟で作成した防災マニュアルを基に園用の防災マニュアルを作り、避難訓練など防災体制を強化していく。

育児支援を必要とする家庭が多いのでしっかりと受け止め、関係機関と連携を取りながら対応していきたい。

子どもたちがそれぞれ心地よい居場所を見つけ、限りなく豊かに伸びていく力を信じて、保護者と共に安全で健康な情緒の安定した生活ができるような環境を整えていきます。そして共に生き互いに成長し合うことを目標にキリスト精神に基づいたやさしく温かい保育園も目指していきます。

保育目標（保育ブロック統一）

「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にする子ども」

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じ取り表現する子ども

1 施設運営

（1）実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：9名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育事業（1時間延長、零歳児の受け入れ、スポット利用の受け入れ）
- ・ 年末保育（12/29、30）
- ・ 緊急一時保育利用
- ・ 障がい児保育事業実施
- ・ アレルギー児に対する代替食実施
- ・ 家庭的保育実施事業

イ 地域子育て推進

- ・中高生の育児体験受入れ
- ・園開放
- ・お年寄りとの交流

(2) 児童の処遇

ア クラス編成 認可定員 (60名) 現員 (83名)

クラス名	年 齢	保育士数	園児数	障がい児数	備 考
つくし組	0歳	3名	9名		看護師
すみれ組	1歳	3名	14名		
たんぼぼ組	2歳	3名	15名		
ちゅうりっぷ組	3歳	1名	15名		1名非常勤保育士
ひまわり組	4歳	1名	15名		
さくら組	5歳	1名	15名		
	その他	2名			
合 計		14名	83名		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 295日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	24日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

- 乳児 毎月1回
- 幼児 年2回(5月、10月)
- 歯科検診 年1回(6月)
- 蟻虫卵検査 年1回(6月)
- 視力測定 4、5歳児(11月)

エ 保 育

各年齢の保育目標(本園・分園共通)

5歳児の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。

- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探求心を動かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

4歳児の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人に話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・自然や身近の事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

3歳児の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信もち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
- ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにもつ。

2歳児の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ・体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、みため・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

1歳児の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士にも見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られ中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

0歳児の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。

- ・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を勧め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

主な行事予定 (行事費用)	4月	入園式(2万円)、イースター(5千円)
		4、5歳児親子遠足(18万)各クラス懇談会
	5月	山の木文庫
	6月	花の日、子どもの日、(3万円)5歳児お泊り会①(3万) プール開き じゃがいも堀り 保育参観・参加週間
	7月	5歳児お泊り会② 夕涼み会(10万円)
	8月	卒園生遊ぼう会(4万円)
	9月	個人面談開始
	10月	運動会(10万円)ほのぼの会(3万円) 5歳児プラネタリウム(1万5千円) さつまいも堀り
	11月	そしがや祭り(20万) 収穫感謝祭・会食 山の木文庫
	12月	クリスマス会(10万円)
	1月	餅つき(2万円)
	2月	保育参観・参加週間 豆まき 各クラス懇談会 山の木文庫 保育参観・参加週間
	3月	お別れ会、卒園式(10万円) 進級式(4万円) 思い出遠足(1万円)
	月例行事	誕生会、避難訓練、おにぎりの日(年3回 3歳児以上)

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年 4 回
 栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
 季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
 給食供給者としての諸管理
 保育園における食育計画づくりをしていく。
 食材の放射能汚染への対応に万全を期していく。

カ 安全管理

非常災害時の避難訓練
 引き渡し訓練の実施(9月)

BCPを作成する。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
副園長	1名
統括リーダー	1名
保育士	14名
看護師	1名
調理員(栄養士含む)	2名
非常勤職員	15名
嘱託医(非常勤)	1名
音楽講師(非常勤)	1名

イ 健康管理

健康診断	年 1 回 (6月)
細菌検査	年 1 2 回
全職員及び非常勤職員	毎月 1 回

ウ 会議

・職員会議	毎月 1 回	・主任会	毎月 2 回
・幼児打ち合わせ	毎月 2 回	・乳児打ち合わせ	毎月 2 回
・各クラス打ち合わせ	年 6 回	・食事打ち合わせ	毎月 1 回
・行事前打合せ会(随時)		・反省会(年 2 回)	
・新年度打ち合わせ		・分園、本園合同主任会	

エ 研修計画(研修費用)

- ・園内研修 (10万円)
- ・法人内研修 (10万円)
- ・民間保育園連盟研修 (5万円)
- ・その他の研修 (30万円)

オ 退職・福利厚生

- 独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
- 東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- JTB えらべる倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理(出勤管理、有給休暇管理 等)

イ 児童処遇事務(保育、給食、健康管理)

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検（点検費用）

- ・排水槽清掃（6万3千円）ダムウェイダー（4万円） 害虫駆除（9万5千円）
- 消防点検（5万7千円）調理器具保守契約（18万円）
- 床清掃（35万円）砂場管理（6万5千円）

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（購入予定費用）

- ・三輪車 5台（15万円）本棚（8万円）ソファ（3万円） 人形6体（4万8千円）

イ 保育用品購入予定（購入予定費用）

- ・クラス用遊具（50万）

ウ 給食用品購入予定（購入予定費用）

- ・食器類（20万）

エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

- ・1Fテラス雨よけ（80万）

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

○（全園児数＋全職員数）×3食×2日分

3 地域社会との連携

- ・烏山地域子育て支援の「保育ネット烏山」に参加
- ・トライアングルフェスタに参加し、児童館懇談会に情報交換の場として参加
- ・近隣老人施設との交流
- ・隣接中学校との交流
- ・地域乳幼児の園開放
- ・小学校とのつながりが義務化したので、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 人事採用とその他

- ・異動職員 3名（虹のひかり保育園へ異動）
- ・新人職員 2名

5 その他

本園、分園との連携・協力

- ・職員人材育成（合同園内研修・お互いの行事の参加）
- ・保育の合流、行事の合同参加、日常保育の中での合同活動
- ・分園、本園の話し合いの場を定期的に行う
- ・食事に関すること（共通献立や食育の工夫など）

7年目をむかえ、園長の交代により立ち上げ時にいた管理職はいなくなる。職員は、11人（非常勤職員5人）が残り、中堅職員として初心を忘れず、利用者の気持ちに寄り添う姿勢を大切にし、異動してきた職員と共に思いやりと誠実さを持って働いている。利用者の方も、私立の認可保育園として本園を選んでいる。今年度は利用者の理解を得ながら、雲柱社のミッションをより多く保育実践に示していきたい。

2011年度に作成した中期目標を見据えて、「一人ひとりを大切にし、日々の成長を楽しみ、保護者と共有する」ことを基盤に、「やさしく温かい保育」を目指し、人的・物的環境を整え、長時間保育の課題に取り組むたいと考える。

保育方針

法人の理念、保育事業目標に基づき、上記を基に以下のように方針を明記しました。

「日々限りなく豊かに伸びていく子ども達の力を信じて保育に取り組みます。

保護者ととともに安全・安心を基盤に、子どもたちが健康で情緒の安定した生活がおくれるよう環境を整えます。

自己を十分に発揮しながら成長することのできる、やさしく温かい保育をめざします。」

保育目標

「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にすること」

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じ取り表現する子ども

2013年度 重点課題

- I. 保育方針に沿い、子どもの姿を丁寧に把握し、養護・教育の観点から子どもの気持ちを汲みとり、適切な支援を行っていく。
～個及びグループ・集団の成長・発達に応じた、環境設定、遊びの実践、生活習慣確立の援助を充実させる。子どもたちの「やりたい」「やってみたい」気持ちに沿った、「満足」できる充実した時間を持つ保育を行う。
- II. 子どもを中心に、園や家庭で子ども達が愛着関係を持ち、情緒の安定が図れるよう、日々の保育の共有を基に保護者との連携を強める。
～4時間延長、休日保育という「特別保育事業」の課題に取り組む中でみえてきた、一人ひとりを大切にすることによる、グループや集団へのよい関係の構築を、日々の生活を大切にすることで、クラスや行事のねらいなどと連動させていく。

Ⅲ. 上記のことが実現できるよう、組織力の向上、業務の合理化を図り、日常業務の中に余裕をつくり保育内容の充実を目指す。

～リーダー会議にて大まかな方針をたて、各クラスや行事のリーダーに伝えていく。詳細は各現場で案をつくり、職員会議などで全体に知らせ、意見をもらう。最終決定は園長がする。上記の流れを徹底し、現場の職員が合理的に話し合いの時間をもつようにする。

中期計画（2011～2015年度）

子ども・子育て新システムなど保育の制度が大きく変わる。そのような時でも、選ばれ、ニーズにきちんと応える園であるために、以下のことに力をいれていきたい。

1. 現在行っている保育の土台を明確にし、継続できるよう「開かれた組織と一体感のある園運営」を目指す。

① 烏山保育園を利用する子どもの発達に即した保育内容を確立していきたい。養護と教育の視点を持ち、心の土台作りと日常を大切にした保育の実践を行なう。

② 「思いやりと誠実さ」をもった職場の人材育成と組織作りに取り組む。

ステップ1～職員間で目標を共有すること、報告・連絡・相談の徹底は行われている。その上で、園全体のことを考え、職員各自が積極的に協力体制をとっていく。

ステップ2～自分の役割を越え、チーム全体を視野に入れ、園の運営が促進するような行動をとれる。

ステップ3～他者の発想に自己の考えをさりげなく伝える。自己の着想に他者の助言を取り入れる。

ステップ2の途中まで達成していると感じる。段階を追ってすすめたい。

2. 時代やニーズに沿った、園運営を目指す。

① 保育の柱を以下の4本柱とし、園の特色を打ち出していく。

総合課題～生活力を身につけ、豊かな経験をつむ中で、自分を発揮する～

乳児保育・ひとり一人を大切にした保育を基盤とし、生活の流れをつくる。

- ・安心安全に配慮し、子どもが主体的に生活し、遊べる環境を目指す。
- ・子どもの気持ちを汲み取る力を養い、記録により保育の振り返りを行う。

幼児保育・発達に即した遊びの提供、課題活動（音楽、絵画など）の充実。

- ・自律した生活力を身につけることを目指し、生活習慣の見直しをする。
- ・上記のねらいを達成できるように、環境の見直しを続ける。
- ・子どもをよく観察し、自己の保育を振り返り、チームで検討していく。

特別保育 夜10時過ぎまで、また361日開園している保育園としての役割を理解し、利用者や地域のニーズに応え、子ども達とその家族の、幸せの一助となるような働きを目指す。

- 食育活動** 長時間保育の子どもが多く、子どもにも保護者へも生活力の育成が必要である。そこで、以下の事柄について、保育と調理で協力し深めていきたい。
- 園内の食事提供全般
 - 畑活動を含めたクッキング保育
 - 保健指導と連携した食育指導
 - 発達に即した食事指導など

②予算の適正な使用と方針に沿った園運営に必要な人材配置を目指していく。

経験者と新人職員のバランス、常勤者の中の非正規雇用者のバランスを、烏山保育園の特性と照らし合わせて考えていく。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・0歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：13名）
- ・産休明け保育実施
- ・延長保育事業（4時間延長）
- ・休日保育
- ・障がい児保育事業実施（1名）
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・育児困難家庭受け入れ（6家庭7名）

イ 地域子育て推進

- ・退所児童との交流
- ・中高生の育児体験受入れ
- ・保育所体験（パートナー登録）
- ・地域交流、出前保育
- ・年末保育 12/29、30実施予定

(2) 児童の処遇

ア クラス編成 認可定員 116名（現員 119名）

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	育児困難家庭	備考
ひよこ組	0歳	5名	13名			*看護師
ちょうちょ組	1歳	4名	19名		1名	
うさぎ組	2歳	4名	21名			
たんぽぽ組	3歳	2名	22名			
やま組	4歳	2名	22名		1名	
ひ組	5歳	2名	22名	1名		
つき・ほし組	全	2名	登録60名			

にじ組	全	2名	1日10名			
	その他	2名				主任・副主任
合 計		25名	119名			

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 361日
30日	31日	30日	31日	31日	30日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
31日	30日	30日	28日	28日	31日	

ウ 健康管理

- 心身ともに健やかで元気な子どもになる。
- 自分の身体も、友達の身体も大切に思えるような、関わりをする。

健康診断

- 乳児 毎月 1回
- 幼児 年3回（5月、プール前、10月）
- 歯科検診 年1回（6月）
- 蟻虫卵検査 年1回（6月）
- 耳鼻科健診 9月
- 保健指導

エ 保 育

【幼児の保育目標】

基本的な生活習慣を身につけ、主体的に生活を営み、友達と遊ぶことを楽しむ。
 その中で、異年齢との関わり喜び、楽しさを感じる。
 発達に即した遊びの提供、課題活動（音楽、絵画など）の充実を図る。

ひ組（5歳児）の年間目標

- 相手の話をきき、自分の思いも相手に伝え、コミュニケーション力の基礎を養う。
- 自分の得意なものを見つけ、自信につなげる機会を多く持ち、自己肯定感を育てる。
 - ・様々な活動に取り組み、仲間認められることによって自信を得、自己発揮する。
 - ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しみ、新しい体験にチャレンジする。
 - ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
 - ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。

- ・異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探求心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

やま組（4歳児）の年間目標

- 自分の思いを言葉で伝える力や、相手の話を聞く力を身に付ける機会を多く経験する。
- ルールのある集団遊びを通し、一人ひとりの力を充実させ、仲間関係を作る。
 - ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
 - ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
 - ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
 - ・人に話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
 - ・自然や身近の事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

たんぽぽ組（3歳児）の年間目標

- 基本的生活習慣が身に付くよう、丁寧に関わる。
- 遊びを通して、友達との関わりが深まるよう、人的物的環境を整える。
 - ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
 - ・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
 - ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
 - ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
 - ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにもつ。

【乳児の保育目標】

ひとり一人を大切にしたい保育を見直し、確立していく。

着脱、排泄、食事などの、0～2歳児の年間カリキュラムの流れを見直し、整えていく。

うさぎ組（2歳児）の年間目標

- 自己主張を受け止め、安心して気持ちが出せるようにしていく。
- 徐々に自分の気持ちを切り替えられるよう援助していく。
 - ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
 - ・体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
 - ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
 - ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
 - ・大人やまわりのことに興味を持ち、みため・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

ちょうちょ組（1歳児）の年間目標

- 自我を受け止め、丁寧に対応することで、安心してきもちが出せ、身の回りのことに意欲が出るようにしていく。
- 大人との信頼関係のもとに、他の世界へも興味を広げていけるよう、人的物的環境設定に努める。

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士にも見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる大人に見守られる中で、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られ中で、他の子どもにも関心を持ち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

ひよこ組（0歳児）の年間目標

- 一人ひとりの気持ちを大切に受け止め、安定した大人との関係を基地に、安心して園生活を送れるように配慮する。子どもの気持ちを大事に受けとめ、ひとり一人が無理なく園のリズムに慣れる。
- いろいろな経験や人との関わりを通して、心身共にのびのびと個性豊かに育つよう援助する。
 - ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
 - ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
 - ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
 - ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
 - ・個人差に応じて離乳を勧め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
 - ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
 - ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
 - ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

つき・ほし組（延長）の年間目標

- 家庭的で落ち着いた雰囲気の中で、自己を発揮し、生活を楽しむ力を養う。
- 個別の配慮をすると共に、日中の保育とのバランスを考え、保護者と連携を深める。

にじ組（休日）の年間目標

- 0～5歳児の異年齢児が10名というアットホームな環境の中で、安心できる大人と共に、他児に興味をもち、楽しく過ごす。

○単発または継続利用それぞれの子どもの欲求や情緒の安定を図りながら、無理なく安全に生活をする。

【行事】

日々の成長を楽しみ、保護者と共有するために必要な機会としてとらえ、それぞれのねらいを確認しながら進める。

<行事予定>

- 4月 入園式 (5万円)
- 5月 保護者会
- 6月 5歳児バス遠足 (12万円)
- 7月 夏祭り (10万円)
年長児宿泊保育 (8万円)
- 8月 プール遊び (5万円)
- 9月 水遊び (3万円)
お月見 (1万円)
敬老会 (ほのぼの) 会 (5万円)
- 10月 運動会 (15万円)
- 11月 3、4歳児バス遠足 (14万円)
収穫祭 (豚汁会) (5万円)
- 12月 わくわくデイ (8万円)
クリスマス会 (10万円)
- 1月 餅つき (2万円)
- 2月 節分 (1万円)
保護者会
- 3月 ひなまつり (1万円)
卒園式・卒園を祝う会 (30万円)
5歳児お別れバス遠足 (10万円)
- 通年行事 誕生会 (10万円)
ひまわりタイム (異年齢交流) (5万円)
卒園生の会 年6回 (8万円)

オ 栄養管理

○保育園として一貫性のある、食育のねらいを共有し、基盤作りに力をいれる。

○0～1才児の月齢にあった食事の提供を確立する。

集団給食施設栄養報告 年 2回

栄養のバランスを考えた献立表を作成

季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成

保育と連携した食育活動の推進、園内外の畑など (10万)

給食供給者としての諸管理

カ 安全管理

非常災害時の避難訓練

引き渡し訓練の実施（9月）

（3）職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
副主任	1名
統括リーダー	1名
幼児リーダー保育士	1名
乳児リーダー保育士	1名
保育士	21名（再雇用嘱託職員1名、男性職員8名）
栄養士	3名
看護師	1名
保育パート職員	9名
調理パート職員	5名
嘱託医	1名（非常勤）
音楽講師	1名（非常勤）

イ 健康管理

○職員の働く環境の向上のため、看護師の衛生管理者の資格取得を目指す。

健康診断 年 1回

細菌検査 年 12回（全職員及びパート職員毎月1回）

ウ 会議

・職員会議	毎月	1回
・運営会議1（園長、主任、副主任）	毎月	2回
・運営会議2（上記+幼児・乳児リーダー）	毎月	2回
・幼児カリキュラム打ち合わせ	毎月	1回
・乳児カリキュラム打ち合わせ	毎月	1回
・幼児打ち合わせ	毎月	2回
・乳児打ち合わせ	毎月	2回
・保育振り返り	年	2回
・新年度打ち合わせ	年	1回

エ 研修計画（研修費用）

- ・園内研修（15万円）
- ・法人内研修（40万円）

- ・都私立保育園連盟研修（10万円）
- ・都社会福祉協議会研修（5万円）
- ・その他の研修（20万円）

オ 退職・福利厚生

独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
JTBえらべる倶楽部 加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備・修繕関係

ア 室内及び固定遊具の設備点検（40万）

イ 砂場入れ替え、消毒（10万）

ウ 布団乾燥、クリーニング、ワックス

エ テラスすのこ改修（100万）

オ 蛍光灯グロー取り換え工事（30万）

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（購入予定費用）

親父の会（5万円）

イ 保育用品購入予定（購入予定費用）

玩具（30万）

乳児用肋木（50万）

ウ 給食用品購入予定（購入予定費用）

食器類（30万）

エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

災害用倉庫（15万）

オ リース関係

エアコン、調理関係

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

（全園児数＋全職員数）×3食×3日分

エ BCPを作成する

オ 放射能に関して区と情報交換し、園運営に支障のない限り、保護者の不安に寄り添う

3 地域社会との連携

- ・ 烏山地域子育て支援の「保育ネット烏山」に参加
- ・ すくすくメッセ参加協力
- ・ 要保護児童支援連絡協議会参加
- ・ 出前保育、地域交流保育（10万）
- ・ 小学校とのつながりが義務化されたので、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 祖師谷保育園、祖師谷保育園分園との連携・協力

- ・ 園内研修などの機会にお互い、少人数ずつ参加する
- ・ キリスト教保育の交流、勉強の機会として、職員が合同礼拝などに参加する
- ・ 家庭的保育事業の保育ママ育成研修などの日程があれば、主任やリーダーが参加し、事業の理解をはかる。
- ・ 施設長、主任、副主任、事務などの打ち合わせの機会を持ち、情報交換を行なう。

5 人事採用他

- ・ 異動職員 施設長伊藤美代子（神愛保育園から異動）
前施設長吉岡恵（虹のひかり保育園へ異動）
保育士 1名（黎明保育から異動）
保育士 3名（虹のひかり保育園へ異動）
栄養士 1名（虹のひかり保育園へ異動）
- ・ 採用 3名

6 その他

年主題「協働する」 法人事業理念 保育理念にそって

管理職が変わり、新しい職員体制でのスタートとなる。新入職員も多く入るので、職員ひとり一人が自覚を持ち、支え合い助け合って働く職場を目指したい。「子どもにとってどうか」「保護者支援はどうか？」の問いかけを常にしながら保育をしていく。ともしび保育園開設61年目を迎え、年間行事の見直しをしていく。何のために行うのか、何が育つのかをしっかりと職員同士で確認し合い、共通理解をした上でおこなっていききたい。子どもをめぐる園内外での危険に目を向け、危機管理体制を引き続き整備していく。また、災害時などの緊急事態に対応するためBCPを具体的に立てていき、職員に浸透させていく。改築後4年目となるが、室内や園庭、屋上や外回りも含めて安全点検をする。メンテナンスを計画的に行うが修繕が必要な箇所は、優先順位を決めて取り組んでいく。

保育目標（保育ブロック統一）

「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にする子ども」

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切にし、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切にし、豊かに感じ取り表現する子ども

配慮点 *誰もが神と人から愛され、かけがえのない存在であることを知るように保育する。
 *子ども達一人ひとりの個性や権利を尊重して保育する。
 *保護者が安心して働くことができ、子ども達が心身共に健やかに育つよう保育する。
 *保護者と共に、地域との交流をもって子育てを援助する。

事業の内容と展開

1. 保育園からの発信

園だより、クラス便りを見直し、保護者や地域の方々に、保育園生活をより理解してもらえるようわかりやすく工夫していく。写真やイラストなどを上手に活用していく。

2. 行事の見直し

幼児クラスは特に行事が多く、製作物も多い。準備に追われることが多い事を反省し、行事の取捨選択をする。毎年やっているから…ではなく何のために行うのか、子どもに何が育つのかを振り返り、思い切った整理も行う。

3 子育てひろば・地域活動の充実

月2回のオープンスペースやティータイム・食事会はメンバーの入れ替わりはあるものの利用者は年間を通して増えてきている。子育ての情報や悩みを話し合い、また母親同士が知り合うよい良い場となっている。一時保育の利用者とも重なり、保育園を理解する良い機会となっている。

また、さまざまな母親のためのリフレッシュ講座をおこなっているが講座中の預かり保育は課題があるので、預かり希望が多くなっても受け入れられる体制を整えていく。

4 BCP（事業継続計画）の作成

近年、災害に対しての備えが重要視されてきている。緊急事態が発生した後も保育を継続または再開するために、具体的なマニュアル等を作成し職員に周知し浸透させていく。

5 アレルギー児の対応

昨年はアレルギー誤食の事故があり、その反省から、除去食の日は何度も確認のチェックをするフローチャートを独自に作成し活用している。（乳児クラス用、幼児クラス用）職員に浸透させ、再発防止を徹底している。また、エピペンや薬を預かるので取り扱いも職員全員で確認していく。

施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：12名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（2時間延長）
- ・ 障がい児保育事業実施
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・ 非定型一時保育（4時間を超える）実施

イ 地域子育て推進

- ・ 育児講座 年6回実施予定
- ・ お年寄りとの交流 年10回実施予定
- ・ 退所児童との交流 年6回実施予定
- ・ 中高生の育児体験受入れ 年間随時受入れ予定
- ・ 育児相談 随時実施
- ・ 保育所体験 毎週水・金受入れ実施予定
- ・ 子育てサークル支援 年6回実施予定
- ・ 子育て情報誌の発行 年12回発行予定
- ・ 外国人児童受入れ（4名受入れ在籍）

- ・年末保育 12/29～12/30実施予定
- ・育児困難家庭への支援
- ・出前保育 年6回実施予定

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	備考
ひよこ	0歳	4	12		看護師1
りす	1歳	4	19		保育補助2
うさぎ	2歳	3	19		保育補助1
こぐま	3歳	2	20		
ぱんだ	4歳	1	20		幼児保育補助フリー2
きりん	5歳	1	20		
こあら (一時保育)		1	(10)		保育補助2
合 計		16	110		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 293日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	23日	22日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

乳児 毎月 1回 (0歳児クラス)

乳児・幼児 年2回 (5月、10月)

歯科検診 年2回 (5月、10月) 歯科指導 (年5回)

蟻虫卵検査 年2回 (5月、11月)

エ 保 育

各組の保育目標

きりん組 (5歳児) の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ生活の経験を広げる。

- ・異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

ぱんだ組（4歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・自然や身近な事柄にふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

こぐま組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外あそびを十分にするなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。
- ・食事・排泄・睡眠・衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき豊かな感性を育むようにする。

うさぎ組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちをだせるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ・身体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、見立て・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

りす組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心を持ち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心

や関心をもつ。

ひよこ組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的要求を満たし、生命の保持と生活の安定を図り、甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れて幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発声やなん語に応答したりして、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境の下で絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触ったりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

こあら組（一時保育）の目標

- ・一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活や遊びを通して身体を動かすことを楽しむ。
- ・一人ひとりの家庭での生活リズムに考慮して、無理なく食事や午睡をする。
- ・安心できる大人の見守りの中で、他の子どもにも関心を持ち一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、触れたりして、自然や事象に興味・関心をもつ。

主な行事予定	4月	入園式（10万円）
(行事費用)	5月	親子遠足（25万円）
	6月	こどもの日花の日（5千円）
	7月	夕涼み会（10万円）
		年長お泊まり保育（15万円）
	8月	小中学生キャンプ（70万円：内参加者負担金55万円）
		中高生ボランティア受け入れ
	9月	祖父母会（2万円）
	10月	ファミリーデー（10万円）芋掘り遠足（18万円）
	11月	収穫感謝祭
	12月	クリスマス礼拝・祝会（30万円）
	1月	餅つき会（1万円）
	2月	お別れ遠足（6万円）
	3月	お別れ会、卒園式（20万円）
月例行事		誕生会（プレゼント5万円）

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年4回

食事目標 (ねらい)

1. 食事を楽しく食べる。
2. 旬の食材を通して
四季を知る。
3. 手作りの楽しさを知る
4. 食べる力をつける。
5. 噛む力をつける。

(配慮)

1. 楽しい雰囲気の中で、保育士や好きな友達と一緒に楽しく食べる。
2. 安全性に配慮した旬の食材を取り入れ、季節に合った献立を立てる。
3. 行事やクッキング保育を通して手作りの楽しさを伝える。
4. よく遊び運動することでお腹がすき、必要な食品や分量が食べられるようにする。(保育士との連携)
5. 咀嚼して噛める食材を取り入れる。

カ 安全管理

B C Pの作成

非常災害時の避難訓練 毎月1回

引き渡し訓練の実施(9月)

上級救命救急講習会(2月)

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
保育士	17名
調理員	2名(栄養士含む)
看護師	1名
嘱託医	2名(非常勤医師・歯科医師)
臨時職員、パート職員	20名

イ 健康管理

健康診断 年2回(5月、10月)

細菌検査 年12回

保健衛生費 (10万円)

ウ 職員会議

定例会 毎月1回 乳児・幼児カリキュラム会 毎月1回

行事前打合せ会(随時)

期別反省会(年3回) 年度末会議6回

エ 研修計画（研修費用）

- ・園内研修
- ・年齢別保育研修（10万円）
- ・法人内研修 階層別・職種別研修（10万円）
- ・私保連カウンセリング研修（35万円：江東区子育てひろば補助金）
- ・厚労省・江東区保育課・全国保育協議会・東京都社会福祉協議会・全国私保連
- ・東京私保連などによる研修（20万円）
- ・自主研修補助（10万円）

オ 退職・福利厚生

- 独立行政法人医療福祉機構 退職共済制度加入
- 東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- JTB えらべる倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検（点検費用）

- ・トランポリンの廃棄（3万円）

イ 設備の点検・修繕（点検・修繕費用）

- ・毎月の修繕費用（月3万円）
- ・園内消毒（10万円）
- ・ダスキンモップリース（月1万円）
- ・エレベーター定期点検（月3万5千円）
- ・グリストラップ定期清掃（8万円）
- ・布団クリーニング 年1回（30万円）

ウ 環境整備

- ・全天候型グラウンド（園庭）の補修、整備のための工事（100万円）
- ・テラス、外階段のドアの修理（50万円）

(3) 備品関係

- ア 備品購入予定（購入予定費用）
- イ 保育用品購入予定（購入予定費用）
 - ・新年度準備（30万円）
 - ・各クラス遊具（21万円）
 - ・貸し出し用絵本の入れ替え（10万円）
- ウ 給食用品購入予定（購入予定費用）
 - ・新年度食器購入（10万円）
 - ・食洗機買い換え（15万円）
- エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

（4）災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

避難降園訓練（引渡し訓練）年1回 不審者侵入想定訓練 年1回

水害避難訓練 年1回 大津波での避難場所として石黒製作所屋上を依頼

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

- ・（120）×3食×（3日）分（アルファ米、水、缶入り味噌汁、乾パン）
- ・1年に1回、備蓄用食料を食べてみる。

エ 防犯対策

- ・年度初めや年末など、自転車整理に職員が交代で立つ。
- ・緊急時の家庭連絡法としてのかんたんメール（ジャクエツ）システムの活用。
- ・災害時優先電話（携帯電話・自園の電話）

オ 放射能対策

- ・ガイガーカウンターを活用して、定期的に園内や近隣公園などの空間線量を計測して安全を点検していく。また、食材に関しても食育で育てた野菜などの放射線量を測定して、安心して食べられるか確認し、場合によっては保護者にも知らせていく。
- ・日々の給食食材の産地表示を継続していく。

3 地域社会との連携

- ・地域の幼稚園、小学校、中学校と交流をもち、連携を引き続きしていく。（江東区保幼小中連携交流 参加施設：第二砂町中学校・第五砂町小学校・第二砂町小学校・第七砂町小学校・第五砂町幼稚園・私立きよし幼稚園・区立東砂第四保育園・ともしび保育園・認証トイボックス保育園）
- ・特に五砂小の5年生と年長組との5・5交流を安定的にすすめていく。（小学校訪問・給食交流）

- ・南砂・東陽・大島・深川北子ども家庭支援センター（みずべ）との連携。とくに南砂支援センターは地元でもあるので、出前保育をみずべで行わせてもらう。（1回程度）
- ・江東区内の中学・都立高校をはじめとする地元の中高校生ボランティアや職業体験の受け入れを積極的にしていく。
- ・小学校とのつながりが義務化されたので、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 人事関係

- ・異動職員
 - 施設長 柴田克子 児童館ブロックより異動
(前施設長三幣典子 光の園保育学校へ異動)
 - 前主任 祖師谷保育園へ異動
 - 保育士 1名 支援センターより異動 (保育士 1名 神愛保育園へ)
- ・採用
 - 看護師 1名
 - 保育士 3名
 - 嘱託職員 2名 (保育士・栄養士)
- ・退職
 - 看護師 1名
 - 保育士 1名

5 その他

記入者 伊藤 美代子

今年、多くの異動者や退職者が重なり、パート職員を含めると約 1/3 のメンバーの入れ替わりとなる。新任の延長も、今まで神愛保育園の中で経験を重ねてきた職員ではない。まずは今まで積み上げてきたものを理解し、新たにメンバーに加わる異動職員、新入職員と今までを築いてきたメンバーとともに、これからの神愛保育園を創ることを念頭に置いて仕事を始めたいと思う。

園長としては、職員や子ども、保護者との信頼関係を作ることを最優先に考え、更に関係機関、地域の人々とも顔を合わせ、関係を作っていくと思う。

神愛保育園の保育実践を踏まえ保育を展開していきたい。子育て支援は 20 年の節目を過ぎ、そこで発行している「たんぼぼ通信」も 100 号を迎えた。多くの人たちと多くの思いを編みこみながら歩んできた子育て支援の働きは、制度的な曲がり角も見えたりするが、地道に継続していきたい。

“どの子ども大切な神様の子ども” の理念に立って、求められることを見極め、スタッフを中心にできることを実行していく。

子育て支援は専任のスタッフがいる中で考えていけるが、もうひとつの卒園児支援は職員みんなで立案、実践していく事業。今までも一部の人の負担が多くなるのではなく、みんなで同じように理解し、考えていけるような方策を試行錯誤して考えているが、メンバーが大きく変わる中では更に展開の工夫も求められるものと考えられる。

課題としてある「園舎の改築」についてもあるが、法人と一緒にいろいろな人たちの力を借りながら一歩でも二歩でも前に進んでいけたらと思う。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：9名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（1時間延長）
- ・ 延長保育事業（零歳時の受け入れ・スポットの受け入れ）
- ・ 障がい児保育事業実施
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・ 育児講座 年 6 回実施予定
- ・ お年寄りとの交流 年 6 回実施予定
- ・ 退所児童との交流 年 6 回実施予定
- ・ 小中高生の育児体験受入れ 年 30 日間受入れ予定
- ・ 育児相談 随時実施

- ・ 保育所体験 年 20 回・ 30 人受入れ実施予定
- ・ 出前保育 年 11 回実施予定
- ・ 出産を迎える方の体験保育 年 9 回・ 20 人受け入れ実施予定
- ・ 子育てサークル支援 年 10 回実施予定
- ・ 子育て情報誌の発行 年 5 回発行予定
- ・ 育児困難家庭への支援
- ・ 自主的取組 障がい児との交流保育

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	備考
つくし	0 歳	3	9	0	
たんぽぽ	1 歳	2	10	0	
もも	2 歳	2	14	0	
ちゅうりっぷ	3 歳	1	15	0	
ひまわり・年中	4 歳	1	15	0	
ひまわり・年長	5 歳	1	15	0	
子育てひろば	その他	1			
合 計		11	78	0	

イ 月別保育予定日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合 計 294 日
25 日	24 日	25 日	26 日	27 日	23 日	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
26 日	24 日	23 日	23 日	23 日	25 日	

ウ 健康管理

健康診断

- 乳児 毎 月
- 幼児 年 2 回 (5 月、11 月)
- 歯科検診 年 2 回 (6 月、11 月)
- 蟻虫卵検査 年 2 回 (6 月、11 月)

エ 保 育

保育目標 (保育ブロック統一)

「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にする子ども」

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども

- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じ取り表現する子ども

各組の保育目標

ひまわり組（5歳児）の年間目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間にも認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・ しなやかな体で、のびのびとじぶんの体を動かして遊ぶ。
- ・ 人に話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手、あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 友だちと同じ目的に向かって活動するようになり、自分のやらなければならないことや、必要性がわかってくる。
- ・ 異年齢や様々な子ども達とのかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようになる。
- ・ 友だちと共通のイメージを持って、自分たちの遊びをより楽しいものにしていく。
- ・ 自分の持つ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり、感じたことや思ったこと、想像した事などを自由に工夫して表現する。

ひまわり組（4歳児）の年間目標

- ・ 友だちとの楽しい経験を重ねることで、自分のきもちに気づき、行動しようとする。
- ・ 意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 人の話を聞いたり、自分の思っていることを話したりして、言葉で伝え合う楽しさを味わう。
- ・ 友達と遊ぶことの喜びや楽しさをお互いに感じ、一緒に遊ぶ中で他の子ども達に考えかとも受け入れようとする。
- ・ 異年齢の子どもにも関心を持ち、関わりを広める。
- ・ 遊びの中から想像が豊かになり、それを表現する。
- ・ 自然の身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、その事を表現しようとする。

ちゅうりっぷ組（3歳児）の年間目標

- ・ 生活が自立してくることで自信を持ち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・ 色々な遊びをとして、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 自分の思ったことや感じたことを言葉に表現し、保育者や友達と遊ぶ中で言葉を楽しんで使う。
- ・ 気の合う仲間と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・ 友だちの事がわかるようになり、助けてあげたり手伝ってあげるようになる。
- ・ 体験したことをもとに色々なことを発想してごっこを作っていく。

- ・ 自然の中で身近な動植物に触れあいたくさん遊ぶ。

もも組（2歳児）の年間目標

- ・ たくさんの自己主張や思いの表出を保育者に受けとめてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちをきりかえられるようになる。
- ・ 体を動かすことが楽しくなり、体をいっぱい動かしてあそぶ。
- ・ 保育者に助けてもらうことで、自分の気持ちを言葉で伝えようとし、思いがぶつかった時も、“どうしようかな”と少しずつ考えようとする。
- ・ 他の子ども達と遊ぶことが楽しくなり、一緒に遊びたいと思う仲間ができてくる。
- ・ 保育者や周りのことに興味を持ち、みたて、ふり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。
- ・ 自然物や生き物を身近に感じ、喜んで触れ合う。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・ 「ジブンノ」「ジブンガ」の主張に見られるような自我が芽生え、その表出を保育者に受けとめてもらうことにより、安心して自分の思いを出す。
- ・ 歩くことを喜び、体が動くことを楽しむようになる。また、手指など自分の体をつかって、探索活動を十分に楽しむ。
- ・ 保育者と子どものゆったりした信頼関係の中で、ことばやしぐさで自分の思いを伝える。そして、その中で覚えた言葉を使うことを楽しむようになる。
- ・ 安心できる保育者に見守られる中で、他の子どもにも関心をもちかかわろうとする。
- ・ 身近な保育者の様子を真似しながら、みたて、ふり遊びを楽しむ。
- ・ 身近な自然とのふれあいを十分に体験する。また、小動物に対する興味や関心が育つ。

つくし組（0歳児）の年間目標

- ・ 一人ひとりの子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。また、一人ひとりの生活リズムを大切にして、食欲、睡眠、排泄などの生理欲求をもたし、生活の安定を図る。
- ・ 大好きな人や欲しいものに興味を示し、自分から近づいていこうと姿勢を変えたり、移動するなど体を十分に動かす。
- ・ 寝返り、おすわり、はいはい、伝い歩き、歩くなどそれぞれの状態にあった遊びを楽しむ。
- ・ 聞く、見る、握る、つまむ、たたく、ひっぱる、しゃぶるなどの遊びを楽しむ。
- ・ 嬉しい、悲しいなどの感情が育ち、泣く、笑う、表情、しぐさ、喃語、片言などでじぶんのきもちを表す。
- ・ 保育者が歌う唄を喜んで聞いたり、手足や体を動かして楽しむ。また、保育者の動作を見て、まねをする喜びを味わう。
- ・ 身近な自然とのふれあいを十分に体験する。

主な行事予定 (行事費用)	4月	入園式 (1万円)
	5月	日曜大工の日 (15万円)
	6月	親子遠足 (25万円) 花の日、子どもの日 (1万円)
	7月	夕涼み会 (6万円) 保育園キャンプ (30万円)
	9月	おじいちゃん、おばあちゃんと親しむ会 (2万円)
	10月	運動会 (5万円) いもほり遠足 (3～5歳児) (14万円)
	11月	しんあいまつり (5万円)
	12月	子ども会クリスマス会 (4万円) 親子クリスマス会 (12万円) 年長観劇 (5万円)
	1月	餅つき (3万円)
	3月	卒園遠足 (3万円)
	3月	お別れ会、卒園式 (10万円)
月例行事		誕生会 (8万円) リズム遊び講師謝礼 (6万円) 遊び道場謝礼 (25万円) 礼拝牧師謝礼(8万円) 園外保育 (3万円)

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年4回

栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成

季節の素材・安心できる素材（生協の利用・自然食品店・アレルギー食材店の利用）を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成

給食供給者としての諸管理

地域の親に向けた献立の紹介

カ 安全管理

- ・交通安全教育（11月）
- ・非常災害時の避難訓練（毎月1回）
- ・引き渡し訓練の実施（9月1日）

・BCPの遂行

・放射能については、引き続き安全な食材を納入し、保護者に産地を知らせていく。不安なことがあった時には、線量計を用いて計測するなどしていく。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
保育士	12名
調理員	3名（栄養士含む）
看護師	1名
嘱託医	2名（非常勤）
臨時職員、パート職員	13名

イ 健康管理

健康診断 年1回（11月）
細菌検査 年2回
給食、0歳児調乳担当のみ毎月1回

ウ 職員会議

定例会 毎月2回
行事前打合せ会（随時）
期別反省会（年2回）
園内研修（年4～5回）

エ 研修計画（研修費用）

- ・ 園内研修（10万円）
- ・ 法人内研修（10万円）
- ・ キ保連保育研修（10万円）
- ・ 保育総合研修（10万円）
- ・ 全私保連カウンセラー養成講座（10万円）
- ・ 全私保連全国研究大会（10万円）
- ・ その他（15万円）

オ 退職・福利厚生

独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
JTBえらべる倶楽部 加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・ 小口現金出納事務、・ 実費徴収事務

- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検（点検費用）

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新（点検・更新費用）

- 1、2階保育室のワックス塗り（25万円）
- 給食室の壁塗り（20万円）

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（購入予定費用）

- 2歳児クラスのトイレ（15万円）

イ 保育用品購入予定（購入予定費用）

- 各クラス遊具（60万円）
- 教材費（80万円）

ウ 給食用品購入予定（購入予定費用）

エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

- 1歳児室 サッシの取り換え（80万円）

(4) 災害対策

ア 避難訓練

- 毎月1回

イ 防災設備の点検委託

- 年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

- （全園児数＋全職員数）×3食×2日分

3 地域社会との連携

ネットワーク作りに力を入れ地域の各施設機関とつながることによって、子育て支援の輪を地域の中に広げ、人と人とをつないでいくことを引き続き目標にする。具体的にはひだまりボランティア、卒園児支援のあそび道場有償ボランティア、地域の人々の持つ文化を誕生会等の場等を用いて、園内に取り込ん

でいく。(地域のお年寄りの力を園内に吹き込んでもらう)

区内にある雲柱社の施設と連携を取り合い、利用者のニーズにそった支援をしていくためにも、改築に向けての地域の話し合いを続けていき、法人と力を合わせて実現に向かって努力していきたい。

これからも地域の民生委員、児童委員、その他みずべの運営協議会に参加している人たち、保育ママに子育てひろば『ひだまり』で発行している情報誌を送り、情報を発信していく。

また、小学・中学・高校生が地域の中であまり関わることのない乳幼児と触れ合う機会を作るためにも江東区のボランティアセンターと連絡をとったり、近隣の小、中学校との連携をとっているが、今後も大切に続けていく。

新保育所保育指針に義務付けられた地域の小学校との連携は、近くにある地域の3つの保育園と協働して学校に働きかけ、講演会や交流を形あるものしてきた。昨年度から幼稚園1園も加わり、さらにその活動を地域の協働が見える形にしたいと思う。学校側も意識を変えてきていることは、今後の私たちの励みともなっている。これからも子どもにとっての育ちの連続性を保障できるよう、さらに実のあるものにしていきたい。また、保育要録等を通じて情報交換も行う。

また、2010年に始めた「近隣地域の保育施設の勉強会」は6回を重ねた。公私立の認可保育園、認証保育園、保育ママさん、幼稚園等も含めた形で始め継続している。今後も仲間を増やししながら、引き続き深川北子ども家庭支援センターの協力のもと、勉強会をしていく中で交流もしていけたらと願っている。

4 人事・採用

異動職員 施設長鶴澤由記子(押上保育園から異動)
前施設長伊藤美代子(烏山保育園へ異動)
保育士 1名異動(虹のひかり保育園)
1名異動(墨田区押上保育園)
3名(墨田区押上保育園から異動)
1名(ともしび保育園から異動)
1名(児童館ブロックから異動)

退職 保育士 3名
栄養士 1名
採用 保育士 1名
栄養士 1名

5 その他

記入者 酒井真理子

法人の事業基本理念、保育事業目標を常に心にとめ、光の園保育学校が大切にしている「子どもたちの保育を通して、子ども達だけではなく親も家族も職員や地域もキリストの愛によって共に育ち合う保育」が日常の保育の中で実践できるようにしていく。2013年度は園長交代があり、異動してきた園長のもと職員として異動者1名、新規採用者3名、育児休暇からの復帰職員1名を含め今まで勤務してきた職員と共に、一人一人が互いに支え合い、チームワークを意識し基本的な報告、連絡、相談確認をし合いながら協働していくために一人一人が信頼関係を築きながら保育の向上を目指していきたい。そのためには、それぞれの役割や連携をしっかりと行いながら、各委員会の動き、働きや機能を明確にして組織的に動くよう努力していくことを常に心にとめていきたい。「わたしたち一人ひとは神様によって命を与えられ生かされていることを知り、一人ひとりを大切に保育を大切にしていきます。」

1. 今年度、新しい事業として、墨田区の要請を受けて、八広に「グループ型小規模保育事業」を立ち上げ開所する。
2. 職場環境や働き方を考え工夫し整えていく。*BCP計画の遂行
3. 昨年度受けた第三者評価の利用者アンケートを踏まえて、利用者にとっての最善の利益を探究する為に園内研修の中で、保育内容の検討、傾聴、受容、関わり方などを学ぶ。
4. 地域福祉を推進していく中で、衛生委員会を充実させ、産業医との定期的会議を深め、職員の心身の健康管理に力を注いでいく。また、地域と共に情報を共有し、広がっていく。そこから見えてくる課題や協働できる事柄を見出し、点から線へそして面へと繋がりが地域と持てるように学びと実践で繋いでいく。
 - 【・衛生委員会 ・地域連絡懇談会 ・幼、小、中連絡協議会
 - ・館運営委員会 ・みつばち園との連携など 】
5. 今年度も建物が老朽化してきていることもあり、清潔、安全面から園内環境の点検や補修を行っていくと共に、これからの事業内容等を見据えながら建物のことを考えていく。
6. 定期的に心理相談員から学び、気になる子どもたちの成長発達を見守り、支援していく。また、保育の中で、共に育ち合える環境《人的・カリキュラムの充実等》を築いていく。
7. 今年度も 地域活動の取り組みとして、「ぶどうの木保育室」「年長組と近隣小学校との連携」「ナースリールーム」「ぶどうの会」「園庭解放」「交流保育」「出前保育」「父母の会活動」等を行っていく。

1. 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：18名）

- ・産休明け保育実施（生後43日）
- ・延長保育実施（2時間延長）
- ・延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・障がい児保育事業実施
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・育児講座（調理講習会）年3回実施予定
- ・お年寄りとの交流 年26回実施予定
- ・退所児童との交流 年7回実施予定
- ・小中高生の育児体験受入れ 年10日間以上
- ・育児相談 随時実施
- ・保育所体験 年26回、370人受入れ実施予定
- ・調理講習会（離乳食・幼児食） 年3回
- ・外国人児童受入れ（2名受入れ在籍）
- ・出前保育 年6回
- ・年末保育

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	備考
つぼみ組	0歳	6名	18名	0名	
もも組 さくら組	1歳	4名	24名	0名	
たんぼぼ組 すみれ組	2歳	4名	24名	0名	
ちゅうりっぷ 組	3歳	2名	28名	0名	気になる子 2～4名
ばら組	4歳	2名	28名	0名	気になる子 3名
ゆり組	5歳	2名	28名	0名	気になる子 4名
	その他				
合計		20名	150名	0名	

*気になる子とは、区が認める子で心理相談にかけられる対象児

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 294日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	23日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

乳児	毎 月
幼児	年2回（ 5 月、10月）
歯科検診	年2回（ 5 月、10月）
蟻虫卵検査	年2回（ 6 月、11月）

エ 保 育

保育目標（保育ブロック統一）

「神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にする子ども」

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じ取り表現する子ども

各クラスの保育目標

ゆり組(5歳児)の保育目標

- ・ 様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・ しなやかな体でのびのびと自分の体を動かして遊ぶ。
- ・ 人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・ 友だちと同じ目的に向かって活動するようになり、自分のやらなければならないことや、必要性がわかってくる。
- ・ 異年齢や様々な子どもたちと関わる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようになる。
- ・ 友だちと共通のイメージを持って、自分たちの遊びをより楽しいものにしていく。
- ・ 自分の持つ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり、感じたことや思ったこと、想像した事などを自由に工夫して表現する。

ばら組（4歳児）の年間目標

- ・ 友だちとの楽しい経験を重ねることで、自分の気持ちに気付き、行動しようとする。
- ・ 意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・ 人の話を聞いたり、自分の思っていることを話したりして、言葉で伝え合うことの楽しさを味わう。
- ・ 友だちと遊ぶことの喜びや楽しさをお互いに感じ、一緒に遊ぶ中で他の子どもたちの考え方も受け入れようとする。
- ・ 異年齢の子どもにも関心を持ち、かかわりを広める。

- ・ 遊びの中から想像が豊かになり、それを表現する。
- ・ 自然の身近な事柄に触れ、驚いたり、感動したりして関心は深まる中で、その事を表現しようとする。

ちゅうりっぷ組（3歳児）の保育目標

- ・ 生活が自立してくることで自信を持ち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・ 色々な遊びを通して、体を動かして遊ぶことを喜ぶ。
- ・ 自分の思ったことや感じた事を言葉に表現し、保育者や友だちと遊ぶ中で言葉を楽しんで使う。
- ・ 友だちの事がわかるようになり、助けてあげたり手伝ってあげるようになる。
- ・ 体験したことをもとに色々な事を発想してごっこを作っていく。
- ・ 自然の中で身近な動植物に触れ合いたくさん遊ぶ。

すみれ、たんぽぽ組（2歳児）の保育目標

- ・ たくさんの自己主張や思いの表出を保育者に受けとめてもらうことで、安心して気持ちをだせるとともに、自分の気持ちをきりかえられるようになる。
- ・ 体を動かすことが楽しくなり、体をいっぱい動かして遊ぶ。
- ・ 保育者に助けてもらうことで、自分の気持ちを言葉で伝えようとし、思いがぶつかった時も、「どうしようかな」と少しずつ考えようとする。
- ・ 他の子どもたちと遊ぶことが楽しくなり、一緒に遊びたいと思う仲間ができてくる。
- ・ 保育者や周りのことに興味を持ち、みたて、ふり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。
- ・ 自然物や生き物を身近に感じ、喜んで触れ合う。

さくら、もも組（1歳児）の保育目標

- ・ 「ジブンノ」「ジブンノ」の主張に見られるような自我が芽生え、その表出を保育者に受けとめてもらうことにより安心して自分の思いをだす。
- ・ 歩くことを喜び、体が動くことを楽しむようになる。また、手指など自分の体を使って探索活動を十分に楽しむ。
- ・ 保育者と子どものゆったりした信頼関係の中で、言葉やしぐさが自分の思いを伝える。そして、その中で覚えた言葉を使うことを楽しむ。
- ・ 安心できる保育者に見守られる中で、他の子どもにも関心を持ち関わろうとする。
- ・ 身近な保育者の様子を真似しながら、みたて、ふり遊びを楽しむ。
- ・ 身近な自然との触れ合いを十分体験する。又、小動物に対する興味や関心が育つ。

つぼみ組（0歳児）の保育目標

- ・ 一人一人の子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。また、一人ひとりの生活リズムを大切にして、食欲、睡眠、排泄などの整理欲求をもたし、生活の安定を図る。
- ・ 大好きな人や欲しいものに興味を示し、自分から近づいていこうと姿勢を変えたり、移動するなど体を十分に動かす。
- ・ 寝返り、おすわり、はいはい、伝い歩き、歩くなどそれぞれの状態のあった遊びを楽しむ。
- ・ 聞く、見る、握る、つまむ、たたく、ひっぱる、しゃぶるなどの遊びを楽しむ。
- ・ 嬉しい、悲しいなどの感情が育ち、泣く、笑う、表現、しぐさ、喃語、片言などで自分の気持ちを表す。
- ・ 保育者が歌う唄を喜んで聞いたり、手足や体を動かして楽しむ。また、保育者の動作を見て、真似をする喜びを味わう。
- ・ 身近な自然との触れ合いを十分に体験する。

主な行事予定	4月	・ 入園式 (10 万円)	・ 家庭訪問
		・ イースター (3 万円)	
(行事費用)	5月	・ 4 歳児、5 歳児親子遠足 (3 0 万円)	・ 健康診断 ・ 乳児懇談会
	6月	・ 保育参加 (幼児)	・ 幼児懇談会 ・ 蟻虫卵検査
		・ プラネタリウム見学 (4~5 才児クラス)	
	7月	・ お泊まり保育 年長組 (3 0 万円)	・ プール開き (9 万円)
		・ 年中お泊り保育 (2 万円)	・ サマーキャンプ(10 万円) (小学 1・2・3 年生)
	9月	・ 祖父母招待会 (5 才児クラス)	
	1 0 月	・ ファミリーデー (1 0 万円)	・ 3 歳児親子遠足 (5 千円)
		・ 芋堀遠足 (5、4 歳児クラス) (15 万円)	・ 保育参加 (乳児)
		・ 健康診断	・ 歯科検診
	1 1 月	・ バザー、子ども劇場 (6 万円)	・ 祝福式 ・ 収穫感謝祭
		・ 料理パーティー	・ 蟻虫卵検査
	1 2 月	・ クリスマスお楽しみ会 (5 万円)	・ 1、2 年生クリスマス (3 万円)
		・ 餅つき (3 万円)	・ 年末保育 ・ 6 年生の会 (1 万円)
	2月	・ お別れ食事会 (5 歳児クラス)	・ 保育参加 ・ 保護者懇談会
		・ お店やさんごっこ	
	3月	・ 卒園式 (4 0 万円)	・ 5 歳児お別れ親子遠足 (1 5 万円)
	月例行事	誕生会お花代 (6 万円)	

オ 栄養管理

- ・ 集団給食施設栄養報告 年 2 回
- ・ 栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・ 季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成

- ・アレルギー児への代替食
- ・給食供給者としての諸管理
- ・放射線量を把握し安全な産地、安全な食材を取り入れている。

カ 安全管理

- ・安全委員会を立ち上げ安全チェックリストを用いて環境の点検をする。(月1回)
- ・非常災害時の避難訓練 (月1回)
- ・引き渡し訓練の実施 (9月3日)
- ・広域災害時に素早く確実に保護者に連絡をながすための訓練(かんたんメールを使用)年1回
- ・防犯訓練 年1回
- ・交通安全教育 年1回

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
保育士	24名
調理員	3名 (栄養士含む)
看護師	1名
嘱託医	2名 (非常勤)
産業医	1名
臨時職員、パート職員	29名

イ 健康管理

健康診断	職員	年1回
細菌検査		年6回
給食、0歳児調乳担当のみ		毎月1回

ウ 職員会議

定例会	毎月	1回
行事前打合せ会		(随時)
期別反省会	(年)	3回
0才、乳児、幼児、各カリキュラム会議	毎月	1回
食事カリキュラム会議	毎月	1回

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修 年7回 (10万円)
- ・法人内研修 (40万円)
- ・全国私立保育団体研修(東京私保連) (30万円)
- ・墨田区保育団体研修 (5万円)
- ・その他の研修 (30万円)

オ 退職・福利厚生

- 独立行政法人医療機構 退職共済制度加入
- 東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- JTB えらべる倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務
- ・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検（点検費用） （100万円）

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新（点検・更新費用）

- ・ネット整備 （50万円）

ウ 建物補修 （300万円）

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（購入予定費用）

- ・IT環境のため （30万円）
- ・遊具修理 （20万円）
- ・その他 修理（50万）

イ 保育用品購入予定（購入予定費用）

- ・2時間延長保育実施にあたり玩具をそろえる （3万円）
- ・分園地域活動用玩具をそろえる （2万円）
- ・午睡用布団クリーニング （10万円）

エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

なし

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

本園、分園 年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

○（全園児数＋全職員数）×3食×3日分

3 地域社会との連携（定期的に実施している）

- ・地域連絡懇談会（年2回）
- ・幼、小、中連絡協議会（年2回）
- ・みつばち園との連携（随時）
- ・東駒形教会、賀川記念館との連携
ぶどうの会（22回）おばあちゃんとの交流
- ・小学校とのつながりが義務化されたので、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 人事採用他

異動職員 施設長 三幣典子（ともしび保育園から異動）
保育士1名（虹のひかり保育園へ）
保育士1名（外手児童館から異動）
採用 保育士3名
退職 前施設長 酒井真理子

5 グループ保育型家庭的事業「ぶどうの木保育室」

2012年6月より、光の園保育園が実施園となり、グループ保育型家庭的保育事業を行っている。

保護者の方が就労等のために昼間子どもを保育できないときに、マンションの一階を活用し、複数の家庭的保育者（保育ママ）が保育園と連携して、生後10か月以上3歳未満の乳児を11名保育し、家庭的な雰囲気の中で、少人数保育の特徴を生かした保育を行っている。

また、2013年中旬には八広に「グループ型小規模保育事業」を立ち上げ開所し、15名の乳児を保育する予定である。

6 その他

墨田区指定管理

社会福祉法人 雲柱社 押上保育園 2013（平成25）年度 事業計画

記入者 松長 とも子

- ・ 公設民営の園としてキリスト教行事や礼拝などは行えないが、キリスト教保育を保育の基本に据え日々の中で実践していくことに努める。地域のつながりとして同法人の保育園や児童館、また地域の福祉保健センターや学校などとの関係をさらに深めていく。
- ・ 区の事業「安心ステーション」の実施園として、また「園庭開放」の充実をはかることで在宅の子育て支援を強める。
- ・ 民営化5年目、公立園の良さを継承していきながらも、雲柱社の保育園として子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう保育内容の見直しをしていく。また、年1回はセルフモニタリングを行い、そこでいただいたご意見を参考にしつつ、保育内容を変えるに当たっては事前に保護者に十分説明し、理解が得られるよう努力し信頼関係を構築していく。
- ・ 4時間延長保育の実施園として保護者の就労支援をはかりながら、子どもたちが豊かに過ごせるよう職員間で十分話し合い環境を整えていく。
- ・ 今年度から主任一人制とし、乳児リーダー、幼児リーダーの各1名が主任会を構成するようにして、役割分担を整理し昨年以上にクラスの枠をこえて、助け合える職員集団をめざしていく。特に新人職員へのOJTは3年目の職員が担当し相談に乗るようになっていく。看護師、栄養士も専門職として役割を自覚し、園の中で十分その力が発揮できるよう専門職会議を充実していく。
- ・ モラルサーベイの取り組みとして、職場がより働きやすい環境になる為に同年齢に近い人の会を持つたり、他クラスに入る機会を持つたりなどして、職員同士の信頼関係を深めていく。
- ・ 非常勤職員の職場内研修には、内容や時間を含め年間計画を立て行ない、職員の質の向上をはかる。

1 施設運営

（1）実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（4時間延長）
- ・ 延長保育事業（零歳児の受入れ）
- ・ 障がい児保育事業実施
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・ 一時保育 定員4名

イ 地域子育て推進

- ・ 退所児童との交流 年1回実施
- ・ 育児相談 随時実施
- ・ 外国人児童受入れ
- ・ 年末保育 12月29日（日）～30日（月） 実施予定（地域拠点園）

・子育て安心ステーション登録者とのつながりを強める。園庭開放

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障碍児数	備考
いるか組	0歳	4名	9名	0名	
りす組	1歳	4名	14名	0名	
うさぎ組	2歳	4名	18名	0名	
こあら組	3歳	2名	20名	0名	
ぱんだ組	4歳	2名	20名	0名	
らいおん組	5歳	2名	20名	0名	
	その他				
合計		18名	101名	0名	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 294日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	23日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

乳児 (0歳) 毎月 3回
 幼児 年2回 (6月、11月)
 歯科検診 年2回 (5月、2月)
 蟯虫卵検査 年2回 (6月、11月)

エ 保 育

保育目標 (保育ブロック統一)

神と人から愛されていることを知り、自分や周りの人を大切にする子ども

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切にし、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切にし、豊かに感じ取り表現する子ども

・各組の保育目標

<5歳クラス>

- ・何にでも意欲を持ち最後まで頑張れるたくましい身体と心を持つ子ども。

- ・仲間の中で、協力して出来た事を皆で喜び合える集団やお互いを尊重し合ったり時には失敗を許し合える関係を育てる。
- ・基本的な生活習慣の自立を目指し、見通しをもっていきいきと生活する。
- ・集団の中で自己主張をしたり相手の立場を考えながら行動できる。
- ・集団生活や遊びを通して協力しあう大切さを知り仲間意識を深める。

<4歳クラス>

- ・集団の中で自己発揮し、自己主張しぶつかり合いの中で共感したり、寛容になったりする中で自己コントロールする力を育てていく。
- ・自分の得意なもの、好きなものをみつけ、じっくり遊びこむ。
- ・友だちと関わり合っあそび遊びを大切に、協調性を持つ。
- ・様々な素材や遊具、用具と出会い、試したり、確かめたりするなどして、こだわりを持って遊ぶ。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、自分から気付いて行なっていく。

<3歳クラス>

- ・基本的な生活の仕方がわかり、自分からしようとする。
- ・自分の要求や思ったことを相手に言葉でつたえられるようになる。
- ・手指や身体全体をたくさん使って、いろいろなあそびを楽しむ。
- ・様々なものをみたり触れたりして、面白さ美しさなどに気づき、感性を豊かに持つ。

<2歳クラス>

- ・生活習慣が身につく・・・自分でやろうとする気持ちを大切にして（励ます、見守る、援助する）
- ・いろいろな経験を通して、自分の思いや要求を言葉やしぐさで表現していく。
- ・保育士との信頼関係をしっかりとむすび、一人ひとりの気持ちを受け止め、安心して自分の気持ちを出せるようにする。
- ・保育士や友だちと楽しく遊ぶ（保育園に来る事を楽しみにする）。
- ・一人遊びを十分楽しみながら保育士や友だちと関わることの喜びを十分に味わっていけるようにする。
- ・いろいろな遊びを通して友だちと共通のイメージを持って遊ぶ楽しさがわかるようにしていく。
- ・ごっこあそびを通して見立てる、なりきることを十分に楽しむ。

<1歳クラス>

- ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱などの活動を通し、自分でやろうとする
- ・歩行が安定し、身体を十分にうごかして遊ぶことを楽しむ。
- ・ひとりあそびを楽しむ。
- ・身近な事に興味を持ち、探索活動を十分に楽しむ。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、言葉のやりとりを楽しむ。
- ・いろいろな思いや要求を言葉や態度で表現しようとする。

<0歳クラス>

- ・よく寝て、よく食べ、よく飲み、機嫌良く過ごす。
- ・快、不快や欲求を泣いたり声を出したりして表現する。

- ・大人や友だちとの関わりを楽しむ。
- ・発達のだ筋に沿って身体を動かし、生き生きと遊ぶ。
- ・身の周りの事に興味関心をもてるよう、見る、聞く、触れる事の工夫をし、穏やかな刺激を与える。

主な行事予定	4月	進級入園おめでとうの会（3万円）
(行事費用)	5月	4・5歳春遠足（3万）
	7月	子ども夏祭り プール開き
	8月	一年生の会（1万円）
	9月	おじいちゃんおばあちゃん会（3万円） 親子遠足(5歳親子) 8万円
	10月	運動会（10万円） いもほり遠足（5、4歳児）（15万円）
	12月	お楽しみ会（1万円）、餅つき クリスマス会（1万円）
	2月	お茶会（1万円）、5歳親子バス遠足（15万円）
	3月	さよなら遠足3歳・4歳（1万） 卒園式、茶話会（13万円）

月例行事（お誕生日）

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年 4回
- ・栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
- ・季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
- ・アレルギー児への代替食
- ・給食供給者としての諸管理

カ 安全管理

- ・安全委員会を立ち上げ安全チェックリストを用いて環境の点検をする。（月1回）
- ・非常災害時の避難訓練 12回
- ・引き渡し訓練の実施（9月2日）
- ・防犯訓練 年3回
- ・BCPを作成し年1回は訓練をする

- ・定期的に食事検体や、砂場や植え込みの放射能物質の検査を行い（区による）子ども達の環境整備に努める。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
保育士	19名
調理員	2名（栄養士含む）
看護師	1名
嘱託医	2名（非常勤）
臨時職員、パート職員	19名

イ 健康管理

健康診断	年 1 回
細菌検査	年 1 2 回
給食担当	保育担当全員

ウ 職員会議

- ・定例会 毎月 1回
- ・行事前打合せ会（随時）
- ・年間反省会（年1回）
- ・乳児、幼児、各カリキュラム会議 毎月 1回
- ・食事カリキュラム会議 毎月 1回
- ・離乳食会議 毎月 1回
- ・献立会議（乳児・幼児それぞれ月1回）
- ・アレルギー会議 毎月 1回
- ・昼礼 毎日

エ 研修計画（研修費用）

- ・園内研修（3万円）
- ・園内パート研修
- ・法人内研修
- ・全国私立保育団体研修(東京私保連)
- ・墨田区保育団体研修（2万円）
- ・私保連カウンセラー養成講座（10万円）
- ・その他の研修（20万円）

オ 退職・福利厚生

独立行政法人医療医療機構 退職共済制度加入
東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
JTB えらべる倶楽部加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

職員による環境整備（月1回）

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新（点検・更新費用）

保育室床研磨（30万円）

ロ 維持管理

業務委託

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（購入予定費用）

保育室扇風機 1台（2万円）

イ 保育用品購入予定（購入予定費用）

なし

エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

なし

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防犯訓練 年3回

ウ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

エ 防災備蓄

○（全園児数＋全職員数）×3食×3日分

3 地域社会との連携

- ・ 東駒形教会、賀川記念館、光の園保育学校との連携として今年度から合同研修は全員出席。
- ・ 「どすこいくらぶ」のボランティアとの定期的な交流（墨田区在住のおじいちゃん）
- ・ 同法人運営の児童館との連携
- ・ 近隣の小学校との連携
- ・ 小学校とのつながりが義務化されたので、保育要録等を通じて情報交換を行う。
- ・ 福祉保健センターとの交流会
- ・ 認証保育園との交流会

4 人事採用他

異動職員 1名（神愛保育から）
2名（神愛保育園へ）
施設長として鶴沢由記子（神愛保育園へ異動）

新人職員 2名

育休中職員 3名（保育士1名、栄養士1名）

産休代替職員 1名

5 その他

- ・ 指定管理者制度の次期の5年の委託が決定したので、プロポーザルにて提案した「6年生の会」や「緊急一時保育の定員緩和」等実現にむけて話し合いを行っていく。
- ・ 調理室と調乳室との動きについて職員体制としてスムーズに対応するようにしていく。
- ・ 保育者採用が厳しい状況を伝え、区との話し合いの結果、実習生を法人として受け入れてもいいということが決まったので積極的に受け入れていく。

記入者 佐藤 いずみ

民営化委託の2年目の年となり、踏襲を基本とした昨年の運営から、今年度は次の点を念頭に保育園運営を行っていききたい。

- 1 保育課程、保育目標を雲柱社の保育課程、保育目標にする。
- 2 行事内容、日常の持ち物など、1年間踏襲したことで気付いたり、疑問に思ったことを検討し、職員の意見、思いを取り入れ、新しいやり方で進めていく。
- 3 地域に必要とされていることをひろいあげ、在園の保護者も含め、新しい地域活動の方法を模索する。
- 4 昨年度のあそびの研修を基盤に、大事にしたいことを話し合い、遊具の見直しを引き続き行い保育の充実をはかる。
- 5 わかりやすい組織作りを目指す。事案によって決定の場を明らかにし、運営会議、リーダー会議、職員会議等の役割をはっきりさせる。また、より職員間のコミュニケーションがとれるよう会議の持ち方、クラスにこだわらないお互いの支えあいを工夫していく。

保護者からは、委託2年目でさらなる期待が寄せられると思う。子どもが楽しく園生活を送れるように保育を充実していくこと、そして、きめ細かい保護者への関わり、ていねいな対応を続け、信頼関係を築くことを目標としたい。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・0歳児保育特別対策事業実施（0歳児取扱人員：10名）
- ・延長保育実施（2時間延長）
- ・障がい児保育事業実施
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・中高生の育児体験受入れ
- ・地域交流事業 年9回
- ・卒園生交流 年1回

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	備考
たんぽぽ組	0歳	4名	10名		看護師
ちゅうりっぷ組	1歳	5名	22名		パート2名
なのはな組	2歳	4名	22名	1名	パート1名
あさがお組	3歳	3名	22名	1名	パート1名
こすもす組	4歳	2名	22名		
ひまわり組	5歳	2名	22名		
	その他	主任1名	フリー2名		
合計		23名	120名	2名	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 295日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	24日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

- 乳児 毎月(1回)
- 幼児 年2回(5月、10月)
- 歯科検診 年1回(5月)
- 蛭虫卵検査 年1回(4月、11月)

エ 保育

保育方針

限りなく豊かに伸びていく子ども達の力を信じて、保護者とともに子どもたちが安全かつ情緒の安定した生活ができるような環境を整えます。

子ども、保護者や地域の方と協力し、子育ての喜びを伝えあい、共に育ちあえる優しく暖かい「保育園を目指します。

保育目標

- ① ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- ② のびのびとしなやかに、自分のからだを動かして遊ぶ子ども
- ③ 基本的な生活習慣が身につき、見通しをもってできることを自分でする子ども
- ④ さまざまな人との関わりを大切にし、思いやりをもって共に生きる子ども
- ⑤ 自然や命あるものとの出会いを大切にし、豊かに感じとり表現する子ども

各組の保育目標

ひまわり組（5歳児）の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しみ、新しい体験にチャレンジする。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・異年齢や様々な人々と関わる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探求心を動かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

こすもす組（4歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人に話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・自然や身近の事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

あさがお組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
- ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにもつ。

なのはな組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ・体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、みたて・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

ちゅうりっぷ組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・大人に見守られる中で、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・大人に見守られ中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

たんぽぽ（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を勧め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

2013年度実施行事

4月	入園式 保護者会 新入進級お祝い会 子どもの日お祝い会
6月	バス親子遠足（15万円） 保育参加 保育参観 プール開き
7月	七夕 夕涼み会（保護者の会主催）
8月	卒園生交流一年生の会（1万円）
9月	プールじまい おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう会（1万円）
10月	運動会（5万円） 秋の園外保育 おもいで遠足
11月	保護者会
12月	クリスマス会
1月	新年お祝い会
2月	節分 保護者会 春のつどい
3月	雛まつり 保護者会 卒園祝い会 お別れ散歩

オ 栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告 年 2 回
- ・練馬区の保育園献立を使用。
- ・区の栄養、調理マニュアルに基づき衛生管理をしっかりと行いながら、給食提供を行う。

- ・区の衛生マニュアルに基づいて、調理保育、クラス配膳を行う。
- ・区の栄養士会議に参加する。

カ 安全管理

- ・救命救急研修の開催
- ・非常災害時の避難訓練
- ・引き渡し訓練の実施（6月）
- ・伝言ダイヤル、ブロードバンド体験訓練
- ・不審者訓練
- ・起震車訓練

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
保育士	22名
看護師	1名
栄養士	3名
調理師	1名
用務	1名
パート職員（調理含む）	18名
嘱託医	2名

イ 健康管理

健康診断	年 1回
細菌検査	年 12回（給食、職員・非常勤毎月1回）

ウ 職員会議

(夜) 定例会	毎月1回
乳児、幼児、調理カリキュラム会議	毎月1回
(昼) 幼児打ち合わせ	毎月2回
乳児打ち合わせ	毎月1回
安全委員会	毎月1回
献立検討会	毎月1回
アレルギー打ち合わせ	毎月1回

エ 研修

- ・園内研修（中間、年間保育まとめを含む）（15万円）

- ・練馬区の研修
- ・法人内研修（40万円）
- ・自主研修（30万円）
- ・全国私立保育園連盟研修
- ・東京都社会福祉協議会研修

オ 退職・福利厚生

- ・独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
- ・JTBえらべる倶楽部 加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・仮払い現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新

ウ 地震対策

(3) 備品関係

ア 備品購入

- ・テレビ（事務室用）
- ・防犯カメラ設置
- ・プロジェクター
- ・デジタルカメラ

イ 保育用品購入

- ・0、1歳児用椅子、テーブル
- ・各年齢に即した遊具の充実

ウ 給食用品購入

- ・食器具（クラス配膳を始めるにあたって必要なもの）

- ・浄水器

エ 固定資産物品購入

- ・非常用備蓄倉庫
- ・園庭遊具棚

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1～2回

イ 防災設備の点検委託

年2回(内、届け出1回)

ウ 非常食糧の備蓄

(全園児数+全職員数) × 3食 × 3日分

エ BCPの作成

- ・昨年度まとめたBCPの内容をより具体化し細かいものを作成する

オ 放射能対策

- ・食材の放射能検査、ホットスポットの測定を区が行うので、それに準じ、結果報告を保護者に随時行っていく。
- ・砂場の砂の入れ替え、園庭排水溝の掃除などを適時行う。
- ・保護者からの情報を受け止め、園でできることを考える。

3 地域社会との連携

- ・家庭福祉員との連携(ふれあい給食の実施)
- ・地域の方に絵本読み聞かせ、お手玉などのボランティアをしていただく。
- ・光が丘子ども家庭支援センターとの連携
- ・光が丘地区子育ての輪に参加
- ・練馬区委託園交流に参加
- ・小学校とのつながりが義務化されたので、保育要録等を通じて情報交換を行う。

4 職員の異動・採用

異動	保育士	1名(小平子ども家庭支援センターに異動)
		1名(祖師谷保育園に異動)
採用		2名

5 その他

事業の内容と展開

2013年度の入園申込状況は、第一次募集で概ね定員を満たしている。今後、二次募集があるので、定員を少し超える程度と予測している。内容は、0歳児の希望者が少なく、1歳児が18名であるので、0-1歳児の混合保育を行い、希望者を全員受け入れ、それに伴う職員体制などは、その後整備をしていきたい。これは経営の安定を図る上で、必要な事だと思う。御殿場市内中で0歳児の希望者が60名不足であり、他の保育園では、定員に満たない所も出てきている。

子ども達が安心して安全に生活できるよう十分な配慮をする、とともに集団生活を通じて社会性をはぐくむ為様々な活動を展開する。日本文化であるお茶のお点前（22年間実施中）や、元保護者（英語のネイティブスピーカー）の協力を得て、英語で歌ったり遊んだり、また「体操教室」は、引き続き男性の指導者により実施していく。併せて、子ども達に大変評判の良かったネイチャープログラム（木登りなど自然に親しみながら野外で行う）を引き続きYMCAに依頼し、5歳児に加え4歳児も参加出来るようにする。これらの事業は、いずれも保護者から高い評価を得ている。

また、地域の子育て支援センターでは、利用者が再び増加傾向にある。これは、市が新たに中央施設を建設し利用者が移行したが、その後、当施設の支援内容や職員の対応が評価されたため、増加したと考えている。3年前より地区の地域福祉団体と連携をしながら出張型の支援活動をしており、感謝されている。今後もより積極的に地区に出かけ、支援活動を充実させていく。そして、これらの仕事をしていく為に、もっとも基本となる「神と人ともに仕える仕事」をするため、御殿場教会中島牧師を招いて賀川豊彦の思想実践（キリスト精神）を学んでいく。

1. 3歳未満児の希望者が多くなっている。この要望に応える為、本年度は受け入れ態勢を強化し保育の質と量を確保する。
2. 様々な文化に親しむ為、お茶のお点前を引き続き実施するとともに、元保護者（ネイティブスピーカー）の協力を得て「英語で遊ぼう」並びに、体操教室・ネイチャープログラムも実施する。
3. 子育て支援センターでは、体験保育・子育て講座・年齢別クラブ等を実施するとともに、妊婦を対象とした「ママの会」を実施する。また、地域と連携を密にして、引き続き2地区にて出前保育を行う。
4. 御殿場教会中島牧師を招いて、「神と人ともに仕える仕事」をする為、賀川豊彦の思想と実践（キリスト精神）を学んでいく。
5. 地区防災会議に出席し、防災計画の現状を聞く。園のBCPを作成し、職員間で共有しマニュアルを整備していく。
6. 昨年度、放射能測定を市で実施した。（グラウンドの中央、砂場、雨水ます）問題はなかったが、今後も市での測定をお願いしていく。食の安全にも配慮していく。

1 施設運営

（1）実施事業

ア 特別保育等

- ・産休明け保育実施

- ・延長保育実施（1時間延長）
- ・乳児保育促進保育事業（零歳児の受入れ）
- ・一時預かり事業
- ・アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て支援の推進

- ・子育て講座 年5回実施予定
- ・地域のお年寄りとの交流 年4回実施予定
- ・退所児童との交流 年4回実施予定
- ・小中高生の育児体験受入れ 年間約120名受入れ予定
- ・育児相談 随時実施
- ・保育所体験 年6回・18人受入れ実施予定
- ・子育てサークル支援 1才児クラブ14回、2才児クラブ14回
- ・子育て情報誌の発行 年12回発行予定
- ・出前保育（36回）

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	備考
ちゅうりっぷ	0歳	1	3		
たんぽぽ	1歳	3	18		
ひまわり2クラス	2歳	4	24		
もも	3歳	2	23		
すみれ	4歳	1	29		
ゆり	5歳	1	29		
	その他	4			子育て支援・延長保育・一時預かり
合計		16	126		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 294日
25	24	25	26	27	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	23	23	23	25	

ウ 健康管理

健康診断

乳児 年2回（5月、10月）

幼児 年2回（5月、10月）

歯科検診 年1回（5月）

蟯虫卵検査 年1回（6月）

エ 保 育

保育目標（保育ブロック統一）

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じ取り表現する子ども

各組の保育目標

ゆり組（5歳児）の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しみ、新しい体験にチャレンジする。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
- ・異年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

すみれ組（4歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝えることを楽しむ。
- ・自然や身近な事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

もも組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信をもち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で身体を動かすことを楽しむ。
- ・食事・排泄・睡眠・衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かに育む。

ひまわり組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるようになる。
- ・身体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味をもち、みため、つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

たんぽぽ組（1歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

ちゅうりっぷ組（0歳児）の年間目標

- ・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発音や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

主な行事予定

(行事費用)	4月	親子遠足 (10万円)
	6月	ネイチャープログラム (4万円)
	7月	プール開き (4万円)

9月	敬老の日 (3万円)	運動会 (11万円)
10月	秋の遠足 (5万円)	
11月	幼児祝福式 (2万円)	
11月	ネイチャープログラム (4万円)	
12月	クリスマス会 (12万円)	イブ礼拝 (1万円)
3月	ふれあいピクニック (2万円)	卒園式 (17万円)

オ 栄養管理

給食供給者としての諸管理

カ 安全管理

交通安全教育 (年3回) 7月、11月、2月

非常災害時の避難訓練

引き渡し訓練の実施 (9月 1日)

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任	1名
統括リーダー	1名
保育士	12名
保育士 (パート)	3名 (子育て支援センター・一時預かり)
調理員	2名
栄養士	1名
事務員	1名
看護師	0名
嘱託医	2名 (非常勤)

イ 健康管理

健康診断 年1回 (11月と1月に分かれて)

細菌検査 年24回

調理師、保育士 毎月2回

ウ 職員会議

定例会 毎月1回 (行事前打合せ会を含む)

期別反省会 (年3回)

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修（11万円）
- ・法人内研修（14万円）
- ・その他研修（11万円）

オ 退職・福利厚生

独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
 静岡県社会福祉協議会 従事者共済会加入
 JTBえらべる倶楽部 加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検（点検費用）

点検予定有り（無料）

イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新（点検・更新費用）

（今年度なし）

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（今年度なし）

イ 保育用品購入予定（今年度なし）

ウ 給食用品購入予定（今年度なし）

エ 固定資産物品購入予定（今年度なし）

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

○（全園児数＋全職員数）×3食×（1日～3日）分

3 地域社会との連携

○地域老人クラブとの交流 年4回

○地域の文化祭に参加（出場、絵の出展）

○小学校とのつながりが義務化されたので保育要録等を通じて情報交換を行う

4 その他

法人理念、保育目標を念頭におき、学童保育、一時保育、各事業との連携を取りつつ、地域のニーズに応える保育を展開していく。

園舎は修理やメンテナンスの必要箇所が年々増えてきている。2012年度には将来的な建て替えに向けて、本部、保育園、堀切教会との話し合いがスタートした。2013年度には制度の変化や地域のニーズを的確に捉え、保育園、学童クラブの場所も含めて、どのような事業を展開していくか、展開できるか、可能性を検討しながら具体的な方向性を探っていく。

第二期中期計画をふまえて、

(1) より質の高いサービスを提供することに取り組む。

子どもたちの心身に豊かな育ちを支援できているか、保護者に寄り添う支援ができているか、日々の保育の見直し、園内研修、SDS などを通して園全体の保育を見直し、職員の育成、保育の質の向上を図る。2012年度の園内研修ではテーマを決めた話し合いの研修を多く実施したことで一人ひとりの保育、黎明の保育を見直すことができた。2013年度も継続していく。

(2) 働きやすく魅力ある職場づくりをすすめる。

職員同士支えあう職場が形成できているか、OJTを中心に人材育成に努める。

勤務形態が多様化していく現状の中で保育園、一時保育、学童保育が職務の援助をしあい、連携をしっかりととっていく。また、職員の健康管理の充実に取り組み、心身ともに健康で意欲を持って働き続けられるよう必要な職場環境を整備していく。

(3) 防災の備えを整え、安全な環境づくりを行う。

BCPの作成、職員間での共有、理解を進めていく。必要なマニュアルを整備していく。

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児人員：10名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育実施（1時間延長）
- ・ 障がい児保育事業実施
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施
- ・ 一時保育事業

イ 地域子育て推進

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| ・ お年寄りとの交流 年10回 | ・ 小学生との交流 年6回 |
| ・ 小中高生の育児体験受入れ 年10日間 | ・ 出前保育 年6回 |
| ・ 子育て情報誌の発行 年10回発行予定 | ・ 子育て講座 年6回 |
| ・ 年末保育 12/30 実施予定 | ・ 出産を迎える親の体験学習 年6回 |
| ・ 家庭で子育てをおこなっている保護者との連携 年10回 | |

(2) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障がい児数	備考
ひよこ	0歳	3	10		
うさぎ	1歳	3	15		
こあら	2歳	3	18		
ひつじ	3歳	2	21		
ぱんだ	4歳	1	19	2	
きりん	5歳	1	19		
一時保育		2	10/日		
合計		15	102		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 294 日
25日	24日	25日	26日	27日	23日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	23日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

乳児（0歳児）	毎月
0歳以外の乳幼児	年2回（5月、11月）
歯科検診	年2回（6月、11月）
蟯虫卵検査	年1回（6月）

エ 保 育

保育目標（保育ブロック統一）

- 1 ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- 2 のびのびとしなやかに、体を動かして遊ぶ子ども
- 3 基本的生活習慣が身につき、見通しをもってできることを自分でする子ども
- 4 さまざまな人との関わりを大切にし、思いやりをもって共に生きる子ども
- 5 自然や命あるものとの出会いを大切にし、豊かに感じ取り表現する子ども

各組の保育目標

きりん組（5歳児）の年間目標

- ・様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しみ、新しい体験にチャレンジする。
- ・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。

- ・異年齢や様々な人と関わるなかでそれぞれの違いを認め合っていけるようにする。
- ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ・自分のもつ好奇心や知的探究心を働かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かになり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

ばんだ組（4歳児）の年間目標

- ・ひとり一人の子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ・友だちと遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
- ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝えることを楽しむ。
- ・自然や身近な事柄にふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

ひつじ組（3歳児）の年間目標

- ・生活が自立してくることで自信を持ち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ・外遊びを十分にするなど遊びの中で身体を動かす楽しさを知る。
- ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ、美しさなどに気づき感性を豊かにしていく。

こあら組（2歳児）の年間目標

- ・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるようになる。
- ・身体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ・大人やまわりのことに興味を持ち、みため、つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

うさぎ組（1歳児）の年間目標

- ・ひとり一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分にいき、身体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・安心できる大人に見守られる中で、他の子どもにも関心を持ち、関わろうとする。
- ・身のまわりの様々なものを見たり触れたりし、自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

ひよこ組（0歳児）の年間目標

- ・ひとり一人の甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。

- ・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ・保健的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快適な生活ができるようにする。
- ・ひとり一人の子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ、幼児食への移行を図る。
- ・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能の発達を促す。
- ・安心できる人的、物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを見たり、触れたりする機会を通して、身のまわりのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

こぶた組（一時保育）の年間目標

- ・ひとり一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・保育士に見守られながら、様々な生活、遊びを通して探索活動を十分に行い、身体を動かすことを楽しむ。
- ・安心できる大人に見守られる中で他の子に関心を持ち、関わろうとする。
- ・身のまわりの自然や事象に関心を持つ。

〈主な行事予定〉	4月	入園式（2万円）	・イースター礼拝（3万円）
（行事費用）	5月	ファミリーデー（1万円）	
	6月	こどもの日花の日礼拝・訪問（3万円）	
	7月	宿泊保育（年長児）（13万円）	・1年生の会（3万円）
	9月	おじいちゃん・おばあちゃん遊ぼう会（5万円）	
	10月	運動会（10万円）	・いもほり遠足（3～5歳児）（15万円）
	11月	おまつり広場（13万円）	・収穫感謝祭礼拝・訪問（2万円）
	12月	クリスマス・一時保育クリスマス（20万円）	
	1月	餅つき（3万円）	・年長、年中観劇（5万円）
	3月	お別れ遠足（13万円）	・卒園式（15万円）
	月例行事	誕生会（3万円）	

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年 2 回

栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成

季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成

給食供給者としての諸管理・食育の指導

アレルギー対応食実施

食材の放射能汚染への対応に万全を期していく。

カ 安全管理

安全点検（毎月1日）

非常災害時の避難訓練（月1回）

引き渡し訓練の実施・かんたんメール配信（9月1日）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名	
主任	1名	
保育士	6名	
調理員	2名（栄養士含む）	
看護師	1名	
嘱託医	1名（非常勤）	パート職員 18名

イ 健康管理

健康診断	年 1 回
細菌検査	毎月（全職員）

ウ 職員会議

職員会議	毎月1回
乳児、幼児カリキュラム会議	毎月1回
リーダー会	毎月1回
各クラスカリキュラム会議	毎月1回
食事カリキュラム会議	毎月1回
献立会議	毎月1回
期別保育振り返り	年2回
行事前打合せ会（随時）	

エ 研修計画（研修費用）

- ・園内研修（20万円）
- ・法人内研修
- ・葛飾区・東京都・全国私立保育園連盟・厚生労働省・その他（50万円）

オ 退職・福利厚生

独立行政法人福祉医療機構 退職共済制度加入
 東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
 JTBえらべる倶楽部 加入

カ 「マタニティヨガ」「親子リトミック」「ファミリーコンサート」「和太鼓演奏」
 「手芸」「離乳食」など地域活動（30万円）

2 施設管理

(1) 事務関係

- ア 会計事務、管理事務
 - ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
 - ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）
- イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）
 - ・保育指導計画等の作成
 - ・給食献立表等の作成
 - ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

- ア 固定遊具の設備点検（点検費用） 20万円
- イ 老朽設備の点検、老朽箇所の更新（点検・更新費用） 100万円
- ウ 設備保守点検 50万円

(3) 備品関係

- ア 備品購入予定（購入予定費用） 50万円
- イ 保育用品購入予定（購入予定費用） 80万円
- ウ 給食用品購入予定（購入予定費用） 30万円
- エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）
 - ・テラステント張替 50万円
 - ・エアコン 50万円
 - ・避難用散歩車 15万円

(4) 災害対策

- ア 避難訓練 毎月1回
- イ 防災設備の点検委託 年2回（内、届け出1回）
- ウ 非常食糧の備蓄 $(\text{全園児数} + \text{全職員数}) \times 3 \text{食} \times 3 \text{日分}$ 20万円

3 地域社会との連携

- ・おまつり広場・もちつき・一時保育・お楽しみ会・出前保育・子育て講座などの地域活動の実施
- ・区立小菅東保育園との交流（年3回）
- ・高齢者施設訪問（年2回）
- ・京南町会との連携：お祭り（9月）ロードレース（11月）もちつき会（12月）
- ・堀切教会との連携：職員交流会・収穫感謝祭・豚汁パーティー・アドベント礼拝・もちつき教会との連絡会（毎月1回）
- ・幼保小中学校連絡会等を通して情報交換を行う。
- ・小学校とのつながりが義務化されたので保育要録等を通じて情報交換を行っていく。

4 人事採用

- 異動職員 保育士1名（烏山保育園）
- 保育士1名（練馬区立光が丘児童館）
- 採用 保育士2名、看護師1名
- 育児休業1名

5 その他

2013(平成25)年度 雲柱社 保育ブロック事業計画

	<p>私たちは所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組みます。</p>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。 ・私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。 ・私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を発揮できる学童クラブを目指します。 ・私たちは、自由と規律を大切に学童クラブを目指します。 ・私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。 ・私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

施設名 れいめい宝学童保育クラブ

記入者 上松 恵子

< 2 > 職員構成

・児童指導員 2名

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中・高校生を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・親同士のピアカウンセリングの場となり、多くの子育て上の悩みを解消する場とする。 ・地域の中に親子の居場所を確保する。 ・専門家の相談を受ける場があり、子育ての支えの場とする。 ・子育て中のお母さんと乳幼児が、家から出て気分転換できるきっかけの場とする。 ・子育て中の親同士が交流の場となり、仲間作りの場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教、日本の伝統的行事を体験し様々な文化に触れる学童クラブにする。 ・異年齢交流を通して、多様な体験や触れ合いを大切にする。 ・放課後の子どもたちにとって第三の居場所となる学童クラブにする。 ・ハンディキャップを持った子も、そうでない子も、共に生活できる学童クラブにする。 ・家庭と学童と保育園が協力し合って、子ども達にとってより良い保育環境を提供する。 ・地域の人たちにとって必要とされる、開かれた学童クラブにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流を活性化する場とする。 ・家庭や地域、保育園との連携の中で幅広い子ども達の育ちを支援する場とする。 ・自然体験、ボランティア活動などを体験する場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭とは異なった居場所や学童児との交流を通して、地域参加やボランティア活動の大切さを学べる場とする。
活動の内容・行事等	<p><出前保育事業> 時間：11：00～11：30 年8回 場所：渋江公園 *活動内容 ・季節の行事（こいのぼり、七夕、運動会、縁日、クリスマス、節分） ・紙芝居、ふれあい遊び、体操</p> <p><保育園行事> ・運動会、おまつり広場への参加</p>	<p><定員>30名 <受け入れ人数>31名 (育成時間) 通常下校時間～18：00 学校休校日8：00～18：00 延長保育18：00～19：00 土曜保育（堀切学童との合同保育時）8：00～17：00</p> <p>*活動内容 ・自由活動、宿題、グループ活動などの日常活動を基盤に、以下のような年間行事も取り組む。 <年間行事> 1学期 ・新入生歓迎会・イースター礼拝・子どもの日・花の日礼拝・ありがとう製作（母の日・父の日製作） 夏休み ・サマーキャンプ・堀切と合同保育 2学期 ・敬老の日製作・ハロウィンパーティー ・収穫感謝祭・クリスマス会 3学期 ・お別れプログラム お別れパーティー <保育園行事> ・黎明保育園運動会、おまつり広場への参加 <その他> ・防犯訓練、手作りおやつ、昼食会、誕生会など</p>	<p><高学年プログラム活動> ・学童クラブ卒所児を対象に、高学年プログラムとして年に数回、単独及び堀切学童クラブとの合同プログラムとして以下の活動に取り組む。 *活動内容 ・談話タイム ・工作タイム ・クッキング ・お楽しみイベント（3月）など ・ボランティア活動</p> <p><高学年ボランティア活動> ・学童クラブ卒所児を対象に、日々の保育でのボランティア体験や以下の活動に取り組む。 *活動内容 ・キャンプ ・おまつり広場 ・クリスマス会 など *日常の活動 ・遊びの手伝いを通して、指導や交流を行う。</p>	<p><中高生プログラム活動> ・中高生を対象に、中高生プログラムとして年に数回、単独及び堀切学童クラブとの合同プログラムとして以下の活動に取り組む。 *活動内容 ・談話タイム ・工作タイム ・クッキング ・お楽しみイベント（3月）など ・ボランティア活動</p> <p><中高生ボランティア活動> ・中高生を対象に、日々の保育や行事などでのボランティア活動に取り組む。 *活動内容 ・遊びの手伝いを通して、指導や交流を行う。 ・保育園行事、地域行事への参加。 ・高学年プログラムの参加、手伝い。</p>

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

2013 (平成25) 年度 雲柱社 保育ブロック事業計画

	<p>私たちは所属する各自自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組みます。</p>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> 私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。 私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。 私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を發揮できる学童クラブを目指します。 私たちは、自由と規律を大切にす学童クラブを目指します。 私たちは、保護者のニーズ(就労支援、子育て不安など)に応える学童クラブを目指します。 私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

施設名 れいめい堀切学童保育クラブ

記入者 上松 恵子

< 2 > 職員構成

- ・児童厚生員 2名

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動(乳幼児・親)	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中・高校生を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 親同士のピアカウンセリングの場となり、多くの子育て上の悩みを解消する場とする。 地域の中に親子の居場所を確保する。 専門家の相談を受ける場があり、子育ての支えの場とする。 子育て中のお母さんと乳幼児が、家から出て気分転換できるきっかけの場とする。 子育て中の親同士が交流の場となり、仲間作りの場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教、日本の伝統的行事を体験し様々な文化に触れる学童クラブにする。 異年齢交流を通して、多様な体験や触れ合いを大切にする。 放課後の子どもたちにとって第三の居場所となる学童クラブにする。 ハンディキャップを持った子ども、そうでない子ども、共に生活できる学童クラブにする。 家庭と学童と保育園が協力し合って、子ども達にとってより良い保育環境を提供する。 地域の人たちにとって必要とされる、開かれた学童クラブにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢交流を活性化する場とする。 家庭や地域、保育園との連携の中で幅広い子ども達の育ちを支援する場とする。 自然体験、ボランティア活動などを体験する場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭とは異なった居場所や学童児との交流を通して、地域参加やボランティア活動の大切さを学べる場とする。
活動の内容・行事等	<p><出前保育事業> 時間：11:00~11:30 年8回 場所：渋江公園 *活動内容 ・季節の行事(こいのぼり、七夕、運動会、縁日、クリスマス、節分) ・紙芝居、ふれあい遊び、体操</p> <p><保育園行事> ・運動会、おまつり広場への参加</p>	<p><定員>55名 <受け入れ人数>57名 (育成時間) 通常下校時間~18:00 学校休校日 8:00~18:00 延長保育 18:00~19:00 土曜保育(堀切学童との合同保育時) 8:00~17:00</p> <p>*活動内容 ・自由活動、宿題、グループ活動などの日常活動を基盤に、以下のような年間行事にも取り組む。</p> <p><年間行事> 1学期 ・新入生歓迎会・イースター礼拝・子どもの日・花の日礼拝・ありがとう製作(母の日・父の日製作) 夏休み ・サマーキャンプ・堀切と合同保育 2学期 ・敬老の日製作・ハロウィンパーティー ・収穫感謝祭・クリスマス会 3学期 ・お別れプログラム お別れパーティー</p> <p><保育園行事> ・黎明保育園運動会、おまつり広場への参加</p> <p><その他> ・防犯訓練、手作りおやつ、昼食会、誕生会など</p>	<p><高学年プログラム活動> ・学童クラブ卒所児を対象に、高学年プログラムとして年に数回、単独及び堀切学童クラブとの合同プログラムとして以下の活動に取り組む。</p> <p>*活動内容 ・談話タイム ・工作タイム ・クッキング ・お楽しみイベント(3月)など ・ボランティア活動</p> <p><高学年ボランティア活動> ・学童クラブ卒所児を対象に、日々の保育でのボランティア体験や以下の活動に取り組む。</p> <p>*活動内容 ・キャンプ ・おまつり広場 ・クリスマス会 など</p> <p>*日常の活動 ・遊びの手伝いを通して、指導や交流を行う。</p>	<p><中高生プログラム活動> ・中高生を対象に、中高生プログラムとして年に数回、単独及び堀切学童クラブとの合同プログラムとして以下の活動に取り組む。</p> <p>*活動内容 ・談話タイム ・工作タイム ・クッキング ・お楽しみイベント(3月)など ・ボランティア活動</p> <p><中高生ボランティア活動> ・中高生を対象に、日々の保育や行事などでのボランティア活動に取り組む。</p> <p>*活動内容 ・遊びの手伝いを通して、指導や交流を行う。 ・保育園行事、地域行事への参加。 ・高学年プログラムの参加、手伝い。</p>

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへ参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	---

施設名 さくら橋コミュニティセンター

記入者 柴田 克子

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中・高校生を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での子育て支援の拠点となるよう、活動を展開していく。 ・乳幼児とお母さんのつどいの活動を中心に在宅で子育てをしているお母さん同士が気軽に日常の中で情報交換や友達作りができる場を設ける。 ・乳児だけでなく、マタニティ、幼児、父親参加の活動にも目を向け、様々な形の子育て支援プログラムを行うとともに、いつでもほっとして立ち寄れるような居場所作りや環境整備を行う。 ・親子で参加できる行事作りを心がけ、仲間とともに楽しく育児ができるよう支援していく。 ・お母さんのための七宝焼教室の継続、ボランティア講師との連携でその他も講座を展開。 ・子育てをしている親子を対象(主に0・1歳児)にサークル作りを支援していく。 ・地域の子育てをしているお母さんに、講師をしていただき、「子育て体験講座」を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって家庭にかわる、安心・安全な生活の場として活動を行なう。 ・ひとり一人が、充実した毎日を過ごせるように、見守り、援助していく。 ・学童クラブの仲間として、集団としての遊び、友達関係の輪を広げる等生活経験を豊かにする。 ・保護者が安心して働けるよう支援していく。 ・地域の方との交流、イベントへの参加 ・墨田区学童クラブ条例に基き、家庭にかわる安全で楽しい生活の場としての役割を担う。 ・言問小学校内で分室の実施（定員40名）。 ・本館学童クラブは児童館併設。分室は学校の協力の下でのよさを生かしていく。（両クラブ同士で連携し育成） ・合同プログラムの実施で交流を図る。 ・特別支援学校に通う児童も、区の移動支援を利用しセンターへ来館。放課後を地域の友達と過ごす。 ・生活不安・心理的不安などかかっている児童・家庭への支援。（他施設との連携） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや日常のグループ活動を中心としてたくさんの方と知り合い、友達関係を広げ、生活経験を豊かにしていく。 ・子どもたちひとり一人が自分の力を発揮できるような活動を展開する。 ・友達と力を合わせて取り組む楽しさを、経験していく。 ・生活スキルの向上 ・体力増進活動の展開 ・保護者ととともに子どもたちの居場所づくりに努める。（安心・安全対策を始めた交流。それに加え、体験事業などの実施の中で学ぶ。） ・ボランティア活動への取り組み(世界の様々な出来事、人々に関心を持つ) ・児童文化に触れる機会を作り、子どもたちが情操を深める場とする。 ・身近なエコ活動への取り組み ・学習支援への取り組み <p>※地域ボランティアの方との協力の元、本物の活動や地域の活動の理解。体験にて具現化する。</p>	<p>活動目標</p> <p><健全な余暇活動の場を提供する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの声を聴きながら話し合いの機会を持ち、仲間同士の利用を中心としたプログラムを展開する。 ・活動を通して他者を思いやる気持ちを育む、またスポーツ、学習、遊び、イベントを通して仲間の大切さや関わりを深める。 ・夜間の利用が主となるため、常に家庭との関わりを持ち子どもたちが充実して過ごせるようなプログラム作りを展開していく。（18：00～21：00） ・同じ目的を持った仲間との交流（音楽室活動・キャンプ） ・コンサートの実施（7月、12月、3月） ・体験キャンプ ・学習支援活動の時間を設け、自由に学習のできる体制をとる。学習会：火、木 ・体育館の自由利用(夜間利用名簿あり) ・障児の受け入れ ・ボランティア活動に参加
活動の内容・行事等	<p><乳幼児とお母さんのつどい> (10:30-11:30) 0歳児(ばんだ)・毎週金曜日 ※年度後半には低月齢のクラス(こばんだ)も実施</p> <p>1歳児(うさぎ)・毎週木曜日 2歳児(りす)・毎週火曜日 3歳児(こあら)・毎週月曜日 ※幼稚園2年保育の方の支援クラス</p> <p><幼児クラス> (14:30-15:30) 3歳児クラス・4歳、5歳児クラス</p> <p><日常の部屋利用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児室の安全衛生面などの整備に努める。 9:00-18:00の自由利用 ・プレイルーム・広い体育室を利用した活動遊具を準備し、交流の場として開放 水、土の午前中・午前クラス活動終了後ランチタイム・11:45-13:00 <p><年間行事>遠足、うんどう会、劇団公演、よみかかせ、クリスマス会、子育て講座・講演会</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各機関との連携(保健師、子育て相談員、保健センター、女性センター、民生委員、看護師、栄養士) <p>・子ども服リサイクル ・6月、10月実施</p> <p>・子育てサークルへの支援 ・乳幼児一時保育の実施</p> <p>2010年度より施設整備として1階のトイレを「誰でもトイレ」に改修し、オストメイト対応や幼児用便座・車椅子対応用便座となっている。 ※区の子育てマップやバリアフリーマップに掲載し区民の方に利用していただく。</p>	<p><定員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館(さくら橋コミュニティセンター内) 40名 (障がい児含む) ・分室(言問小学校内) 40名 (障がい児含む) <p><対象>1年-3年</p> <p><育成時間></p> <p>通常 下校時間-18:00 延長 18:00-19:00 (本館のみ) 学校休業日 8:30- 早朝延長 8:00- (本館のみ)</p> <p><土曜日育成> 本館のみ育成 4月 入会式 8月 おでかけ(言問) 9月 キャンプ 12月 クリスマス会 3月 お別れ会・3年生送る会・ハイキング</p> <p><日常活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園あそび ・学童クラブレクリエーション 買い物体験 誕生日会 季節のイベント ・観劇 ・グループ活動 ・手作りおやつ <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 ・父母会活動(共催事業 他) ※年度によりないときもある ・個人面接・保護者会 <p>アンケート(区作成)実施 毎年1月予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区のイベントへ参加 6月 環境フェスティバル・ヤゴ救出作戦 12月 ふれあいフェスティバルにミュージックベルにて参加。手話や盲導犬体験 <p>※その他・・・さくらパートナーシップへの参加(菜の花・コスモス)</p> <p>◎時には一般来館の子や利用者の方とも一緒に活動をしていく。</p>	<p><利用時間>下校時(9:00-) 18:00まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動 <低学年コミュニティクラブ 1年生-3年生> ・学年別の定例活動 週1回 期ごと ・毎週 火、木、金曜日 ・内容:スポーツ、手作り、生活技術体験、野外活動、ハイキング、キャンプ他 ・自主事業「クオレ」(ショートステイ事業)の実施※在宅で子育てをしている家庭への支援として(小1-小6まで) <高学年コミュニティクラブ 4年生-6年生> ・学年を越えての活動 ・週2回程度 水、土曜日 ・内容:スポーツ、レクリエーション、おかしづくり、イベントへの準備、ボランティア活動、学習、野外活動キャンプ、ハイキング 映画鑑賞、講座(しゃべり場)等 ・地域の福祉施設との交流 ・法人内児童館との交流イベント自由利用 <p><日常プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動 ・設定スポーツ、自由遊び ・文化活動・・・映画、工作、手芸、うた、よみかかせ、おかしづくり、料理、伝承遊び 他 ・自分自身を見つめる機会や創造力を養う体験をする。 ・レクリエーション ・体力増進活動 ・子どもたちの成長に合わせた交流プログラムや体力増進の活動をおこなう。 ・体力の向上を養う。 <p><年間行事>こどもの日フェスタ、えんにち、ハイキング、キャンプ、クリスマス、もちつき、コミュニティ(ポイント)ラリー、ひろば(子どもまつり)</p> <p>その他:地域のお祭り、各町会の集まりほか 墨田区育成委員会との共催 ※東京芸術大学とのワークショップ(9月)</p>	<p><利用時間></p> <p>下校時(9:00-)</p> <p>月、火、水、木、金 20:00まで 土、日、祝 19:00まで</p> <p><中学生コミュニティクラブ></p> <p><高校生コミュニティクラブ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館を利用してのスポーツ活動 設定スポーツ、他館とのスポーツ交流 ・文化活動 ・ボランティア活動 ・学習会 火、木 19:00-20:00 ・中高生タイム 18:00-19:00、20:00 ・イベント ・体験学習キャンプ「ワークキャンプ」実施 <p><音楽室活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンド活動 ・音楽室の利用貸し出し、機材の整備、技術講習会、音楽室利用者会議 ・年3回コンサートの実施 7月サマー・12月クリスマス・3月スプリング(センター内体育館) <p><ボランティア登録></p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター行事のお手伝いをはじめ、各種プログラムの計画、実施を行う <p>※現在では中学生から一般成人までの幅広い登録がある</p> <p><学校との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生実習、奉仕活動 ・高校生実習、奉仕活動 ・特別支援学校実習 ・大学・保育、教育専門学校実習受け入れ ・区役所 夏ボランティア ほか

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 9名
(統括リーダー含、非正規常勤1名含)
- 内 児童館担当 5名
- 本館学童担当 2名
- 言問分室担当 2名
- ・上記以外に非正規常勤 1名
(今年度より、学童クラブの延長及び土曜育成に対応して)

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・東京都児童館連絡協議会の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・お母さんのための七宝焼き教室(毎月第3金曜)
- ・地域(町会、墨中地区育成委員会との共催事業)
- ・子育て支援サークルの講座実施
- ・育児サークルへの支援
- ・サポートセンターとの連携
- ・「さくらの樹」
- ・思春期(児童含む)のお子さんを持つ保護者の会との共催事業
- ・親子映画会の実施
- ・よみかかせボランティアによるお話の会の実施
- ・運営協議会の開催(年2回)

自主事業

- ・待機児童対策 学童クラブの待機児を受け入れ育成する。
費用 1日200円(1月最高4,000円とする)
- ・乳幼児一時預かり 1歳から3歳のお子さんをお預かりする。平日の9:00から12:00まで。
費用1時間500円

児童館ブロック

さくら橋(指定管理)

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへ参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	---

施設名 フレンドリープラザ 墨田児童会館

記入者 山口 修

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	幼稚園児を対象とした活動	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中高生を対象とした活動
活動目標	子育て中のお母さんたちが、子育ての喜びや不安と向き合い、子育てを通してウェルビーイングが達成されることを目指す。 そのため、以下の点に留意をする。 ○子育ての負担が軽減される場となる。 ○子育ての負担が、喜びに変化する場となる。 ○仲間をつくる場となる。 ○子どもの育ちを共感共有できる場となる。 ○子育てに有効な情報を提供する。 提供型から、参画型への転換を図る。	幼稚園児の心身の発達を促す諸活動を行う。特に、心身の調節機能を高めるためのカリキュラムや、情操を高めるための音楽活動の導入を念頭に置いた活動を行う。	子どもたちが、楽しく、安全に過ごし、保護者が安心して就労できるように援助する。また、学童に関わる人たちが協力してクラブの活動を展開する。 そのため、以下の点に留意をする。 ○子どもたちにとって、家庭に代わる安全な場となる。 ○子どもたちが安心して、楽しく過ごすことのできる場となる。 ○ひとつの集団として、遊び、友達の間をを広げ、生活体験を豊かにする。 ○困難状況にある子どもや家庭に必要な援助を行う。	子どもたちにとって、居心地のよい環境を土台にしつつ、小学生にとって必要な体験の機会を設け、心身の発達と情操の育み及び仲間作りを支援する。特に、体力の増進と社会性の涵養を促す。 そのため、以下の点に留意する。 ○子どもたちが創意工夫できるような活動を運動、文化の両面で展開する。 ○体育室活動を活性化させる。 ○役割を通して、社会的有用感を育む。 ○野外活動を積極的に展開する。 ○地域における子ども社会の再生を目指し、縦のつながりを意識した活動を展開する。	思春期の子どもたちにとって必要である、人格的な交流ができる場を目指す。また、中高生の生活に即した支援を行なう。 そのため、以下の点に留意する。 ○健全な余暇活動の実施。 ○中・高生同士の交流を広げ、進める。 ○自己発揮の機会を作る。 ○ボランティア活動を通して、社会参加の機会を作る。 ○イベント作りなどを通して、協働の機会を作る。 ○ワークショップを通して、様々な職業や趣味を知る機会を作る。 ○補習を行なう。(主に英・数)
活動の内容・行事等	<グループ活動> ・0歳児（ぱんだクラス）… 毎週金曜日（参加者に応じて、2クラスに分ける） ・1歳児（うさぎクラス）… 毎週火曜日 ・2歳児（こあらクラス）… 毎週木曜日 活動時間… 10:20～11:20 <子育て講座> ・年間6回以上 育児の参考となる講演やワークショップを行う。内容は、利用者の要望を集めて検討する。 <乳幼児一時預かり> ・保護者のレスパイト（休息・息抜き）のために、乳幼児の一時預かりの実施。 <日常活動> ・幼児室…安全、衛生面等の環境整備に努める。 <年間行事> ・ファミリーデー・劇団公演・クリスマス会 ・乳幼児ふゆまつり 他	<設定活動> ・未就園3歳児… 毎週木曜日 13:30～14:30 ・幼稚園児年少… 毎週木曜日 15:00～16:00 ・幼稚園児年中、年長… 毎週火曜日 15:00～16:00 内容：運動遊び、集団遊び、スポーツ等 <年間行事> ・ファミリーデー・遠足・クリスマス会	<定員> 定員第1…70名、第2…30名、二寺分室…60名、隅田分室…60名、梅若分室…40名 <育成時間> ・通常… 下校時間～18:00 ・学校休業日… 8:30～18:00 ・延長… 朝8:00～8:30 夕18:00～19:00 ・土曜育成… 8:00～19:00 <年間行事> ・入会式 ・親子遠足、ハイキング ・お出かけ ・お別れ会 ・誕生会 <その他> ・お便りの発行（月1回） 保護者との連携 ・父母会活動 ・個人面接・保護者会 アンケート（区作成） 実施	<すみだあそび塾 3～6年> ・活動日… 毎週水曜日 下校時～18:00 スポーツ、お菓子作り、イベントの準備、テーマに沿った話し合い等を行う ・ボランティア活動 ・キャンプ、ハイキング、デイキャンプ <スポーツ活動> ・設定スポーツ 週2回 ・スポーツ大会 月1回 <文化部門> 映画会、工作、手芸、お話の時間 他 <将棋教室> 土曜日 <囲碁教室> 土曜日 <お料理クラブ> 土曜日 <フットサルクラブ> 金曜日 <各種講座、ワークショップ> ボランティアに協力を依頼し、数回の講座を行なう <食育事業> 田植え、稲刈り体験、野菜栽培、地域との協力事業 <学習会> ・算数補習 週1回 <年間行事> こどもの日、えんにち、クリスマス、餅つき、ポイントラリー、合宿 他	自由来館とプログラム ・各種スポーツ ・トーキングタイム ・お菓子作り ・スポーツ大会 ・体験学習キャンプ ・キャンプ、デイキャンプ、ハイキング等の野外活動 <学習会> ・数学補習 週1回 ・英語補習 週1回 ・算数教室 週1回 <音楽室活動> ・中高生のバンド活動の支援 …音楽室の貸出し、機材の整備 ・年6回ライブの開催

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 19名（統括リーダー含）
 （内 児童館担当 6名）
 （内、コミュニティーワーカー3名）
 本館学童担当 5名
 二寺分室担当 3名
 隅田分室担当 3名
 梅若分室担当 2名
- ・非正規常勤 4名
 （2013年度より、学童クラブの延長及び土曜育成に対応して3名、本館オーバー対応として1名）

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
 防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・現3F図書室と幼児室（サンルーム）の入れ替え
- ・運営協議会の開催（年2回）

自主事業

- ・待機児童対策 学童クラブの待機児を受け入れ育成する。
 費用 1日200円（1月最高4,000円とする）
- ・乳幼児一時預かり 1歳から3歳のお子さんをお預かりする。平日の9:00から12:00まで。
 費用1時間500円

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	・私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへ参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	---

施設名 フレンドリープラザ 文花児童館

記入者 野口 啓子

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	幼稚園児を対象とした活動	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中学生を対象とした活動
活動目標	子育て中のお母さんたちが、子育ての喜びや不安と向き合い、子育てを通してウェルビーイングが達成されることを目指す。そのため、以下の点に留意をする。 ○お母さん同士が気兼ねなく話せる空間や情報を交換できる場となる。 ○友だちづくりができる場となる。 ○子どもたちの成長を喜び合う場となる。 ○地域に子育ての共助の輪を広げる。 ○子育てに有効な情報を提供する。 ○地域内で利用できるサービスの情報提供の充実。	幼稚園児の心身の発達を促す諸活動を行う。特に、心身の調節機能を高めるためのカリキュラムや、情操を高めるための音楽活動の導入を念頭に置いた活動を行う。	子どもたちが、楽しく、安全に過ごし、保護者が安心して就労できるように援助する。また、学童に関わる人たちが協力してクラブの活動を充実させていく。そのため、以下の点に留意をする。 ○子どもたちにとって、家庭に代わる安全な場となる。 ○子どもたちが安心して、楽しく過ごすことのできる場となる。 ○ひとつの集団として、遊び、友達との関係を広げ、生活体験を豊かにする。 ○困難状況にある子どもや家庭に必要な援助を行う。	子どもたちにとって、居心地のよい環境づくりを基本にしつつ、小学生にとって必要な体験の機会を設け、心身の発達と情操の育ち及び仲間作りを支援する。特に、体力の増進と社会性の涵養を促す。 ※そのため、以下の点に留意する。 ○子どもたちが創意工夫できるような活動を運動、文化の両面で展開する。 ○体育室活動を活性化する。 ○役割を通して、社会的有用感を育む。 ○野外活動を積極的に展開する。 ○地域における子ども社会の再生を目指し縦のつながりを中心とした活動を展開する。	思春期中にある中・高校生たちにとって必要である人格的な交流ができる場を目指す。また、中学生の生活に即した支援を行なう。 ※そのため、以下の点に留意して活動を展開していく。 ○健全な余暇活動の実施。 ○子ども同士の交流を広げ、進める。 ○自己発揮の機会を作る。 ○ボランティア活動を通して、社会参加の機会を作る。 ○イベント作りなどを通して、協働の機会を作る。 ○読書会などを通して、世界の出来事や歴史を知る機会を作る。 ○教科（主に英・数）の補習を行なう。
活動の内容・行事等	<グループ活動> ・0歳児（パンダクラス）… 毎週火曜日（参加者に応じて、2クラスに分ける） ・1歳児（うさぎクラス）… 毎週木曜日 ・2、3歳児（こあらクラス）… 毎週木曜日 活動時間…10:30～11:30 クラス終了後、13:00まで2Fを開放 <子育てグループの活動支援> ・妊婦を対象にグループ作りと活動を支援する。 … 毎月1回 10:30～11:30 <乳幼児一時預かり> ・保護者のレスパイト（休息・息抜き）のために、乳幼児の一時預かりの実施。 <子育て講座> ・年間6回 育児の参考となる講演やワークショップを行う。 <日常活動> ・乳幼児室…安全、衛生面等の環境整備に努める。 <年間行事> ・各クラス遠足 ・運動会 ・劇団公演 ・クリスマス会 ・すいかわり・やきいも会 ・乳幼児まつり ・子育て講座 ・子ども服リサイクル <その他> ・おたより発行（月1回）	<設定活動> ・ちびっこミュージックタイム ○毎週木曜日（3歳児対象） 14:30～15:30 ○毎週金曜日（4、5歳児） 14:30～15:30 ・ちびっこトランポリン（月1回） ○火曜日 14:30～15:45 ・公園での出前保育（月1～2回） ○10:00～12:00 <年間行事> ・遠足 ・クリスマス会 ・運動会 ・やきいも会	<定員> 定員第1…50名、第2…30名 押上分室…40名 <育成時間> ・通常…下校時間～18:00 ・夜間延長…18:00～19:00 ・学校休業日…8:30～ ・早朝延長…8:00～ ・土曜日育成…8:30～18:00 <年間行事> ・入会式 ・親子遠足、ハイキング ・お出かけ ・お別れ会 ・誕生会 ・クリスマス ・館内合宿 ・ハロウィン <その他> ・保護者との連携 父母会活動 個人面接・保護者会 ・アンケート（区作成）実施 ・お便りの発行（月1回）	<クラブ活動> ・ドッジボールクラブ 週1回 ・園芸クラブ 隔週 ・手芸クラブ 隔週 ・音楽クラブ 隔週 ・演劇クラブ 隔週 ・フットサルクラブ 隔週 ・木工クラブ 隔週 ・縄とびクラブ 隔週 ・木工クラブ 隔週 ・お料理クラブ 月1回 <スポーツ活動> ・設定スポーツ 週4回 ・スポーツ大会 月1回 <文化部門> ・映画会・工作・お話の時間・うたの時間、 ・ふれあいクッキング・将棋教室（月1回） ・交流将棋 <各種講座、ワークショップ> 講師のボランティアに協力を依頼し、数回の講座を行なう <年間行事> こどもの日、えんにち、クリスマス、餅つき、ポイントラリー、合宿、都民の日スペシャル、交流フェスタ参加、やきいも会、雪国体験、サマーキャンプ、キッズニアIN文花（冬祭り）、パークランドフェスティバル（夏祭り）	自由来館とプログラム ・各種スポーツ ・中、高生トーキングタイム ・クッキング、食育活動 ・スポーツ大会 ・合宿 ・体験学習キャンプ ・キャンプ、デイキャンプ、ハイキング等の野外活動 <学習会> ・数学補習 週1回 ・英語補習 週1回 ・算数教室 週1回 <音楽室活動> ・中学生のバンド活動の支援 …音楽室の貸出し、機材の整備 ・年2回コンサートの開催 ・乳幼児一時預かり 1歳から3歳のお子さんをお預かりする。平日の9:00から12:00まで。 費用1時間500円

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
 - ・総括リーダー 1名
 - ・児童厚生員 10名（統括リーダー含）
 - 内 児童館担当 4名
 - 本館学童担当 4名
 - 押上分室担当 2名
 - ・上記以外に非正規常勤 1名
- （2013年度より、学童クラブの延長及び土曜育成に対応するため）

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・運営協議会の開催（年2回）

自主事業
 ・待機児童対策 学童クラブの待機児を受け入れ育成する。
 費用 1日200円（1月最高4,000円とする）

・乳幼児一時預かり 1歳から3歳のお子さんをお預かりする。平日の9:00から12:00まで。
 費用1時間500円

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	・私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへ参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	---

施設名 フレンドリープラザ 外手児童館

記入者 森 裕樹

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中・高校生を対象とした活動
活動目標	①親と子の居場所環境の整備 ②子育て中の親子の交流の場の拡大 ③子どもの育ちに配慮したグループ活動の展開 ④子育てに関する情報の提供 ⑤相談窓口としての機能の充実を図る。（専門・行政との連携） ⑥幼児を中心に家族でも楽しめる行事の実施 ⑦子育て中の母親を対象としたプログラムの実施	①放課後、安全に生活できる居場所とする。 ②友達との交流を広げる。 ③遊びを通して、心身を鍛え合う場となる。 ④野外活動などを通して、自然体験を深めていく。 ⑤諸活動の中で、生活のスキルを体得していく。 ⑥多様な人たちとふれあう中で、社会化を促していく。 ⑦グループ活動を通して、協調性を育む。 ⑧困難状況にある子どもや家庭に必要な援助を行う。 ⑨保護者が安心して働けるよう支援していく。	①地域における第3の居場所となる。 ②地域における異年齢集団形成の場となる。 ③活動を通して心身の健康を増進していく。 ④地域の人たちや、友達との協力を通して社会性を育てていく。 ⑤野外活動を通して自然に親しみ、体験を広げていく。 ⑥ボランティア活動を通し、『共に生きる』ことを学び体験していく。	①中・高校生の余暇活動の場となる。 ②中・高校生の自立を支援する場となる。 ③中・高校生の人間関係を広げる場となる。 ④中・高校生の表現活動を展開する場となる。 ⑤中・高校生のボランティア活動の場となる。 ⑥中学生の障がい児受け入れ（中高生ルーム） ⑦高校を卒業した青年を対象とした活動の場となる。
活動の内容・行事等	①妊婦（安定期前後で分けて）を対象とした行事を行う。（月1回） ②乳幼児室に玩具・絵本・親用の情報雑誌や子育てのための専門誌を置くなど、子育て中の親と子の居場所を提供する。 ③新生児0歳から2歳までの乳幼児を対象とした、グループ活動を展開する。 ④保健師・子育て相談員の方々の協力を得て、相談活動を行う。 ⑤幼稚園児（3～5歳）を対象とした、放課後対策活動を展開する。 ⑥地域の乳幼児を対象とした出前保育を、法人の認可保育園である光の園保育学校と共催し、公園や館内体育室で月1回行う。 ⑦保護者のレスパイト（休息・息抜き）のために、乳幼児の一時預かりの実施。 ⑧お母さんリフレッシュタイムを企画。 ⑨お子さんの身体計測の場を提供。（すくすく測定） ⑩年間行事 ・親子えんそく・こどもの日スペシャル ・夏祭り・親子運動会・都民の日スペシャル ・ハロウィンパーティー・外手合同クリスマス・親子スポーツ大会・もちつき他	①定員 ・本館…60名・外手分室…40名 ・業平…44名 ②遊び 子どもの自主性と意欲を育むように支援する。 ③おやつ 栄養のバランス等に気をつける。子どもにとって楽しいおやつを心がける。また季節のくだものや行事食もつけ加える。 3つの学童クラブのメニューを統一していく。また、一週間ごとメニューを連絡帳で知らせる。 ④育成時間 ・通常…下校時間～18:00 ・学校休業日…8:30～18:00 ・延長…朝8:00～8:30 夕18:00～19:00 ・土曜育成…8:00～19:00 ⑤年間行事 誕生会（月1回）、買い物おやつ（月1回）、手作りおやつ、工作、手芸、野外活動、クリスマス、長寿会参加（二葉）他 ⑥外手分室、業平分室は本館学童クラブと環境が異なるため、その場所にある玩具類を整備する。	①日常の活動 スポーツ活動（体育室）、学習や読書及び創作活動（図書室） ②グループ・スポーツ活動 ドッジボール、ユニホック、キックベース、インドアサッカー、ポートボール 他 ③週間行事 一輪車検定、ビデオシアター、レクタイム（低・高） 他 ④月間行事 映画会、各種スポーツ大会、読み聞かせ、手作り教室、手芸教室、工作教室、パン作り 外手農園他 ⑤学年別グループ活動 1、2、3年及び高学年（4～6年）の4クラブ（週1回） ⑥年間行事 一年生歓迎会、子どもの日 SP、夏祭り、野外活動、都民の日 SP、赤い羽根共同募金（街頭）、オーバーナイトハイク、ハロウィン、ユニセフハウス、クリスマス、ミニ縁日、合宿、七福神めぐり（高学年サイクリング）田植え、稲刈り体験、エコクラブ、国際交流、墨田家庭の日、幼児とふれあい事業、その他 新規事業…すみだ家庭の日クッキング、国際交流	①地域の中の中高生の居場所として機能するために夜間開館する。 ②スポーツを中心とした活動 ドッジボール、バレーボール、バドミントン、卓球、サッカー、ゴルフ 他 ③ボランティア活動の展開 児童館事業にボランティアとして参加 ④各種のスポーツ大会の実施（屋内） ⑤区内グラウンドで軟式野球大会の実施（年3回） ⑥中学生クラブ、高校生クラブ活動の実施 ⑦月間行事 映画会、クッキング、中・高校生活動定例会 他 ⑧年間行事 夏祭り、キャンプ、合宿、ハイキング、サイクリング 他 ⑨高校卒業後の地域の青年たちの交流諸活動の展開

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 11名（統括リーダー含む）
 - 内 児童館担当 4名
 - 本館学童担当 3名
 - 業平分室担当 2名
 - 分室担当 2名
- ・上記以外に非正規常勤 1名
 （2013年度より、学童クラブの延長及び土曜育成に対応するため）

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・運営協議会の開催（年2回）

自主事業

- ・待機児童対策 学童クラブの待機児を受け入れ育成する。
 費用 1日200円（1月最高4,000円とする）
- ・乳幼児一時預かり 1歳から3歳のお子さんをお預かりする。平日の9:00から12:00まで。
 費用1時間500円

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへ参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	---

施設名 フレンドリープラザ 江東橋児童館

記入者 片淵 淳子

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	幼稚園児を対象とした活動	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中高生を対象とした活動
活動 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○お母さん方が気兼ねなく話をしたり、情報を交換したり、友だち作りの場となる。 ○子どもたちの成長を共に見守り、喜び合う場となる。 ○地域の子育ての拠点として、子育てに関わる人たちの協働を支援する。 ○子育てに有効な情報を提供する。 ○保健センターなどの諸機関と連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園児の身体調整能力及び関係調整能力（コミュニケーションスキルや協調性）の向上を図るための諸活動を行う。 ○創作活動や、視聴覚活動、音楽活動を通して、情操の発達を図る。 ○親子参加型のプログラムを通して、幼児支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちにとって、家庭に代わる安全な場となる。 ○子どもたちが安心して、楽しく過ごすことのできる場となる。 ○ひとつの集団として、遊び、友達の間をを広げ、生活体験を豊かにする。 ○自分を見つめ、他者を思いやる力を育む。 ○困難状況にある子ども、家庭に必要な援助を行う。 ○保護者が安心して働けるよう支援していく 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの家庭、学校に次ぐ、第3の居場所として機能する。 ○三間（仲間・空間・時間）の醸成の場となり子どもたちの育ちを支援する。 ○多様な人々との関わりの中で、人間関係を養い、幅広い子どもたちの育ちを支援する場とする。 ○優れた児童文化に触れる機会を作り子どもたちが情操を深める場とする。 ○子どもたちの体力増進を図る。 ○現代の子どもたちに不足している生活体験の機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健全な余暇活動の実施。 ○子ども同士の交流を広げ、進める。 ○自己発揮の機会を作る。 ○ボランティア活動を通して、社会参加の機会を作る。 ○イベント作りなどを通して、協働の機会を作る。
活 動 の 内 容 ・ 行 事 等	<p><グループ活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児（びよびよパーク）…毎週火曜日（10月から、2クラスに分ける） ・1歳児（にこにこスマイル）…毎週木曜日 ・2、3歳児（ミラクルパワー）…毎週金曜日 *活動時間…11:00～11:45 クラス終了後、12:00まで3Fを開放 <p><子育て講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、支援総合センターと連携して、育児の参考となる講演やワークショップを行う。 <p><リフレッシュヨガ、マタニティヨガ></p> <p>ボランティア講師と連携し、月1回実施。（マタニティのみ実費として500円徴収）</p> <p><チャイルドパーク></p> <p>3階に動きのある遊具を設置し、開放する。</p> <p>毎週月、水曜 10:00～13:00</p> <p><日常活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児室…安全、衛生面等の環境整備に努める。 <p><年間行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・クリスマス会 ・えんいち ・子育て講座 ・もちつき ・ハロウィン ・水遊び ・すいかわり <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたより発行（月1回） ・2階図書室内にランチスペースを設置 	<p><設定活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園生集まれ 第2水曜日 14:00～14:45 内容：運動遊び、集団遊び、スポーツ等 <p><乳幼児室、図書室の開放></p> <p>いつでも使える部屋として、幼稚園生も楽しめるよう、整備する。</p> <p><年間行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・クリスマス会 ・えんいち ・子育て講座 ・もちつき ・ハロウィン ・すいかわり 	<p><定員></p> <p>本館 40名 菊川分室 60名 *障害児の受け入れ有り</p> <p><育成時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常…下校時間～18:00 ・延長…18:00～19:00（本館のみ実施）8:00～（本館のみ実施） ・学校休業日…8:30～18:00 <p><年間行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会式 ・お出かけ ・お別れ会 ・誕生会 ・クリスマス ・館内合宿 ・ハロウィン <p><その他></p> <p>保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父母会活動 ・個人面接・保護者会アンケート（区作成）実施 ・お便りの発行（月1回） 	<p><施設利用></p> <p>体育室、図書室、工作室、1階ロビーなどを開放する。</p> <p><スポーツを中心とした活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定スポーツ 毎週1回 16:00～16:50 ・ゴーゴータイム 月2回木曜日 16:00～17:00 <p>様々なレクを提供。公園なども利用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくサタデー 月1回土曜日 14:00～15:00 <p>一つの枠にとらわれないプログラムを提供。国際交流の要素を取り入れる。</p> <p><制作活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸教室 毎月第2水曜、木曜 16:00～17:00 ・工作教室 毎月第4水曜、木曜 16:00～17:00 ・折り紙であそぼう 毎月第1月曜 15:30～16:30 <p>ボランティア講師によるプログラム</p> <p><視聴覚および図書活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなしのじかん 毎月第2、4水曜日 ・ビデオシアター 毎月第2、4日曜日 ・ドレミファワールド 毎月第2、4月曜日 <p>楽器や、歌を行う。</p> <p><登録制活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールクラブ 毎月第1、3水曜日 ・将棋クラブ 毎月第2土曜日 <p><年間行事></p> <p>こどもの日、えんいち、クリスマス、ハロウィン、デイキャンプ、餅つき、合宿</p>	<p><自由来館活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツや、手芸、学習など必要に応じて行う。 <p><プログラム活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生サークル 毎月第4土曜日 ニーズを探り、共に活動を作り上げていく。 内容：スポーツ、料理、製作、おでかけ

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
 - ・総括リーダー 1名
 - ・児童厚生員 10名
- （統括リーダー含、非正規常勤4名含）
- 児童館担当 3名
 - 本館学童担当 3名
 - 菊川分室担当 3名
- ・上記以外に非正規常勤 1名
- （2013度より、学童クラブの延長及び土曜育成に対応するため）

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急、等

< 4 > その他

- ・地域活動推進事業
1. 子どもボランティア育成支援事業
クリーン作戦（公園や町中の清掃）、共同募金（街頭募金）をグループ活動の中で行う。
 2. 年長児童等来館促進事業
中学生トーキングタイムを中心に、イベント等の自主的開催を促し、それを支援する。
 3. 地域行事への参加
・地域のお祭りや、防災訓練などに子ども達を連れて、積極的に参加する。
- ・運営協議会の開催（年2回）

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	--

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	幼稚園児を対象とした活動	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中・高校生/その他を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てをしている親同士の憩いと交流の場を設け、子育ての喜びや楽しさを共に分かち合える環境作りを目指す。 ○子育て講演会など育児に関わる知識を得る機会を積極的に設けると同時に、保護者の育児に対する悩みや不安を気軽に話してもらえよう雰囲気を作っていく。 ○わが子とのふれあいの時間を楽しく過ごせるようなプログラムやイベントを考案し、随時実施していく。 ○児童館から地域に出向き、地域の保育の課題やニーズをとらえたり、児童館の活動をお知らせする工夫をする。 ○近隣保育園（無認可保育園含む）、幼稚園や子ども家庭支援センターと連携し、共に活動をしたり、育成の支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てをしている親同士の憩いと交流の場を設け、子育ての喜びや楽しさを共に分かち合える環境作りを目指す。 ○小学校入学へ向け、子どもたちの自立心を促すような関わりをしていく。 ○保護者、子ども共に積極的に関わり、関係作りをすることで、小学生期へつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達にとって家庭と同じように、安全かつ安らかな気持ちで過ごせるような居場所作りを目指す。 ○それぞれ年齢が異なる集団の中での生活や遊びを通じて、人間関係を前向きに築いていこうとする意欲や社会性、他人を思いやる心を育てていく。 ○保護者との連絡を密に取り、子ども達のクラブ内での生活の様子を積極的に伝え、親子関係や家庭における育児機能の維持と向上をサポートする。 ○保護者が安心して働けるよう支援していく。 ○生活不安・心理的不安などかかえている児童・家庭へ支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に住む子ども達が自由に遊びに来れる安全な居場所作りを目指す。 ○毎日の遊びや人間関係の中で起こる様々な経験を通じて、子ども達の心身の成長を支えていく。 ○子ども達が自分の気持ちを気軽に打ち明けられ、日々を楽しく過ごせる支えとなるための信頼関係を築く。 ○同世代のみならず、様々な立場や年齢層の人々と交わることで、視野をひろげられる様に様々な体験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中・高校生が放課後の時間を健全に過ごせる余暇活動の場とする。 ○勉強や進路相談、人間関係の悩みなどについても親身になって対応し、共に考えながらも本人が自ら結論を導けるような関わりを作っていく。 ○家庭環境に様々な問題を抱えている中・高校生に対し、学校やその他協力機関と連携を取りながら個別の支援をしていく。
活動の内容・行事等	<p>乳幼児・年齢別グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆0歳児（ばんだ） 毎週火曜 前半 10:00～10:30 後半 10:45～11:15 ☆1歳児（うさぎ） 毎週木曜 前半 10:00～10:45 後半 11:00～11:45 ☆2歳児（こあら） 毎週金曜 前半 10:00～10:45 後半 11:00～11:45 ☆3歳児（りす） 毎週月曜 10:00～11:00 <p>一般利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊戯室の利用 ・いつでも利用できる乳幼児専用の部屋 ・乳児専用スペースも設置。 ・安心して利用できるように、飲食、授乳、おむつ交換、午睡等ができる場所も確保。 ・集会室の開放（プレイルーム） ・毎週水曜日の9:00～13:00に設定。 ・遊具や巧技台を使って、親子で自由に遊べる時間とする。 ○育成室の開放（プレイルームひよこ） ・月1回、月曜日の10:15～10:35に設定。 ・マタニティーママ ・0歳児とその保護者の憩いと交流の場。 ○ティールームじじママばば ・月1回、月曜日 10:45～11:30 地域の民生委員や高齢者との交流の場。 ○ランチルームの開放 ・毎日 11:30～13:00 育成室を飲食スペースとして場所を提供 ○幼児の運動スペース ・毎日 13:00～14:00 集会室を一輪車や卓球・ボールあそびの場として開放 ・屋上ひろば 毎週水曜日 13:00～14:00 児童館でボールなどの遊具を用意し、屋上で遊べるように開放 ○出前保育 ・月1回、11:00～11:45に実施。 ・児童館前の公園（清澄児童遊園）にて、主に乳幼児親子対象のプログラムを展開する。加えて様々な地域住民の参加や、民生委員の協力も募る。 ・子育てプログラムの機能や効果をより多くの親子に体験してもらおうと共に、親子と地域住民が良い関係を築くことで、育児や保育に対する地域の理解を高める場とする。 ○おもちゃ病院 ・月1回、水曜日 10:00～11:00 壊れたおもちゃをボランティアのおもちゃのドクターに直してもらい、物を大事にする心を親子共に学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ランチルームの開放 ・毎日 11:30～13:00 育成室を飲食スペースとして場所を提供 ○幼児の運動スペース ・毎日 13:00～14:00 集会室を一輪車や卓球・ボールあそびの場として開放 ・屋上ひろば 毎週水曜日 13:00～14:00 児童館でボールなどの遊具で遊べるように開放 ・幼児一輪車タイム 毎週水曜日 12:00～13:15 ○幼稚園の母子との集いの場（貸し部屋や行事とのコラボレーション） ○3、4、5歳児クラス「みちくさ」 ・毎週木曜日 14:30～15:30 	<p>(定員) 109名</p> <p>(育成時間)</p> <p>通常 : 下校時～17:00 延長～18:00 学校休校日 : 8:30～17:00 延長～18:00</p> <p>(1日の活動)</p> <p>来室→宿題→遊び→おやつ→休憩→あそび→帰りの会・帰宅(延長保育)</p> <p>(学校休校時の活動)</p> <p>8:30 来室→1時間勉強→遊び→昼食→休憩→遊び→おやつ→以降は(1日の活動)と同じ</p> <p>(あそび)</p> <p>けん玉・こま・わなげなどの昔遊びをはじめ、育成室ではままごと・レゴブロック・粘土遊び・お絵かき・読書・工作・パズルゲームなどが自由に遊べるよう、それらの器具を室内に常時設置。</p> <p>また併設されている児童館の設備や遊具を使用し、上記の遊びに加えて各種スポーツや一輪車・ボードゲームなども楽しめるよう設定している。</p> <p>(行事)</p> <p>入会式・館内合宿・クッキング・遠足(年2回)・ハロウィンパーティー・水遊び・クリスマス会・節分・深川北部ドッジボール大会・お別れ遠足</p> <p>(毎月のプログラム)</p> <p>誕生日会・キングコンテスト(ゲーム会)・おたのしみおやつ・手づくりおやつ・避難訓練</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規入会児童対象説明会 (3月) ・保護者会 (5月・7月・3月) ・個人面談 (11月～12月) ・クラブだより (毎月1回発行) ・父母会主催の交流会 (年2回) 	<p>月間活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸タイム ・わなげ大会 ・一輪車検定 ・おはなし会 ・ビデオシアター ・わくわくひろば <p>手づくり工作 映画会 スポーツ大会 避難訓練 将棋の会</p> <p>週間活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツタイム(5つの種目を日替わりで展開) ・1年生スマイルクラブ ・2、3年生スマイルクラブ ・高学年スマイルクラブ ・習字の会 <p>年間行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの日スペシャル(地域めぐりラリー) ・相撲大会 ・夏まつり ・キャンプ(2～6年生) ・秋まつり ・いもほり遠足(低学年) ・1年生合宿(1年生) ・おでかけ合宿(高学年) ・クリスマス会 ・冬まつり ・雲柱社交流ドッジフェスタ参加 ・深川北部ドッジボール大会(低学年)参加 ・国際交流まつり参加 ・親子遠足 ・出前児童館 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたよりの発行 (月1回) 	<p>日常利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間 月曜日～土曜日 9:00～19:00 第1、3、5日曜日 9:00～18:00 ・中高生専用時間(中高生タイム) 18:00～19:00 <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会 ・クッキング ・手芸教室 ・クリスマスパーティー ・木工工作 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピリヤードセットの設置 ・ダーツの設置 ・中学生用雑誌 ・おたよりの発行 (月1回)

施設名 江東区平野児童館

記入者 松原 万紀子

児童館ブロック

平野(指定管理)

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 6名
- (統括リーダー含、非正規常勤1名含む)
- 内 児童館担当 3名
- 学童担当 3名

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
- 防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・土曜江東きつずクラブ平野
- 安全で安心な土曜日の居場所を提供する。
- (主に、明治小学校と元加賀小学校の子ども達を対象としている)
- ・地域連絡会の開催(年2回)

2013(平成25)年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	--

施設名 江東区亀戸児童館
 記入者 永澤 和男

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動(乳幼児・親)	幼稚園児を対象とした活動	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中・高校生/その他を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の関わりを通して、子育てを楽しみ喜び合う場となる ・親子同士の交流の場、乳幼児家族の居場所となる。 ・安心して話ができる関係を築き、問題の予防や相談などを支援する。 ・他機関と連携し地域での子育てを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の仲間遊びを中心にグループ活動を取り入れ小学校入学への準備の場とする。 ・保護者同士の交流を促す場となる。 ・幼稚園児も利用しやすい環境や活動を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後並びに学校休業日、保護者が就労その他の理由でいない家庭の児童を対象に、生活の安全と楽しい遊び、様々な体験の場を提供し、その発達を支援する。 ・江東区学童クラブ条例に沿って事業を行う。 ・保護者と協力し、円滑なクラブ運営を行い、子どもたちの成長発達に必要な支援をしていく。 ・地域の人との交流や協力により、地域に根ざした学童クラブを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちが自由に来館し、安心して過ごせる居場所となる。 ・子どもたちと積極的に関わり、心の開かれた関係づくりを目指す。 ・身体、運動機能発達、体力増進を図る。 ・遊びと様々な人間関係や体験を通して心身の育ちを支援する。 ・地域、社会、世界に関心を持ち、他者理解、思いやりの心を育てる場となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツや遊びの充実、息抜きができる身近な居場所となる。 ・中学生、高校生との信頼関係を築きながら、職員や地域の方、中高生同士の協働により活動を展開する。 ・中高生が持つ諸問題に誠実に対応し非行防止、学習支援、自立を支援をする場となる。 ・学校や地域と連携し、子どもたちの成長を共に見守る。 ・遊びやボランティアを通して自他を認める関わり合いや自己実現を図る。
活動の内容・行事等	<ul style="list-style-type: none"> ◆年齢別グループ活動 ・0歳児低月齢クラス(赤ちゃんぱんだクラス) 毎週金曜日 10:00~10:45 ・0歳児高月齢クラス(ぱんだクラス) 毎週金曜日 11:00~11:45 ・1歳児クラス(うさぎクラス) 毎週火曜日 10:30~11:15 ・2歳児クラス(こあらクラス) 毎週木曜日 10:30~11:15 ・3歳児クラス(りすクラス) 毎週火曜日 14:15~15:00 ◆日常活動 ・プレイルーム、ソファと遊ぼう、歌とお話ほか月例活動 ・小学生との交流 ・1階フロアと2階集会室をランチスペースとして開放 ・絵本の貸出 ◆子育て講座(年3回以上) ◆年間行事 子ども服リサイクル、リフレッシュ企画、乳幼児運動会、夏休み特別活動(水遊び等)、親子遠足、劇団公演、クリスマス会(全館行事) こどもの日、なつまつり、ふれあいまつり ◆その他 おもちゃ病院 	<ul style="list-style-type: none"> ◆幼稚園児(親子)向け活動 ・集会室の開放(平日午後) ・ランチスペースの開放 ・幼児親子向け活動(3歳以上、週1回) 幼児の体力作り、親子遊び ・夏休み特別活動(水遊び、絵の具遊びなど) ・小学生との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆育成時間 ・通常時間 下校後~17:00 ・延長育成 17:00~18:00 ・学校休業日(振替休日、長期学校休業期間等) 8:30~18:00 (保護者の就労状況により8:00~) ◆定員 73名 ◆年間行事 入会式、交通安全運動、季節の製作活動、観劇会、亀戸レストラン(昼食会)、遠足、引き渡し訓練、クリスマス会、大掃除、思い出行事、地域の施設訪問、乳幼児との交流 ◆月例 誕生日会、布芝居制作、防災訓練 乳幼児との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童館の施設利用 利用時間 9:00~18:00 ◆学年別グループ活動『かめっ子』 ・「遊ぶ・学ぶ・ボランティア」を活動の柱とする ・学年別の定例活動。各グループ毎週1回、通年。 (1・2年生、3・4年生、5・6年生) ◆スポーツ活動 設定スポーツ、一輪車タイム、卓球クラブ、各種大会 ◆文化活動 創作活動、おはなし会、クッキングなど ◆年間行事 1年生歓迎会、こどもの日、なつまつり、江東こどもまつり、亀戸地区まつり、交流フェスタ、クリスマス会、交流ドッジフェスタ、ふゆまつり、日帰り外出、館内合宿、キャンプ等 ◆その他 地域清掃、エコキャップ収集、使用済み古切手収集 ◆水神小学校出前児童館 	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用時間 月~土曜日 9:00~19:00 日曜日 9:00~18:00 集会室専用時間帯 17:00~19:00 小学生活動と棲み分けを行う ◆日常活動 ・スポーツ、ビリヤード、カードゲームほか ・学習部屋 ・中高生たちの自主活動を支援する。(場所提供、用具、その他) ◆年間行事 ・中高生が企画したイベントを行う。 ・企画会議(自由に話したり意見を企画にしていく) ◆その他 ・ボランティア活動、体験学習活動 ・近隣の中学校から職場体験学習受け入れ

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 7名
- (統括リーダー含、非正規常勤3名含)
- 内 児童館担当 4名
- 学童担当 3名

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・土曜江東きつずクラブの実施
安全で安心な土曜日の居場所を提供する。
(学習・児童館遊び・自由遊びなど)
- ・地域連絡会(年2回)

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

私たちは所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組みます。

- | | |
|-------|--|
| 学童クラブ | <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。 ・私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。 |
| 事業目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。 ・私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を發揮できる学童クラブを目指します。 ・私たちは、自由と規律を大切にする学童クラブを目指します。 ・私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。 ・私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。 |

施設名 江東区大島四丁目学童クラブ

記入者 永澤 和男

児童館ブロック

大島四丁目（委託）

< 1 > 事業計画

	学童クラブ
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭に代わる放課後の生活基盤となり、子ども達の個性を尊重し、安心して過ごすことができる場所となる。 ・異年齢集団の中での生活や遊びを通して協調性を養い、仲間を思いやる気持ちを育てる。 ・行事などを通して考える力を培い、自主的に判断し、行動できるようにする。 ・子どもたちの健康を促進し、安全を守る環境をつくる。 ・保護者、学校、地域、関係機関とのネットワークを築き、円滑なクラブ運営につとめる。 ・他の学童クラブや地域の子ども達との交流を大切にし、人間関係を広げていく。 ・保護者とのコミュニケーションを密にし、その就労を支援しつつ、子どもの成長について共に考えていく。 ・地域の人たちの理解・協力を得て、地域に根ざした学童クラブを目指す。
活動の内容	<p>育成時間 〈通常〉 下校時～17：00 （延長 ～18：00） 〈学校休業日〉 8：30～17：00 （延長 ～18：00）</p> <p>定員 70名</p> <p>年間行事 オリエンテーション、入会を祝う会、春・秋の交通安全運動、ぬりえコンテスト、オセロ大会、世界のカブトムシ観察、夏休み遠足、近隣児童館の行事への参加、江東区夏休み観劇会、引取り訓練、近隣学童との水遊び交流、夕涼み会、駄菓子屋さん、手芸・工作、合同ゲーム会（大島みずべとの交流）、ハロウィンパーティー、大掃除、地域のゴミ拾い、クリスマス会、節分お楽しみ会、ドッジボール交流練習、卒室・進級を祝う会、サイン帳作り、お別れ遠足、城東地区学童ドッジボール大会</p>
行事等	<p>月例行事 誕生日会、買い物おやつ、誕生日のリクエストおやつ、みずべボランティア、おたのしみおやつ、英語であそぼう、栄養士ボランティアによる食育講座、ロッカー・部屋の掃除</p> <p>保護者会の実施（年3回） 学童クラブだよりの発行（毎月）</p>

< 2 > 職員構成

- ・リーダー 1名
- ・児童指導員 2名（リーダー含）

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
 防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

私たちは所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組みます。

学童クラブ

- ・私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。
- ・私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。

事業目標

- ・私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。
- ・私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を發揮できる学童クラブを目指します。
- ・私たちは、自由と規律を大切にする学童クラブを目指します。
- ・私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。
- ・私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

施設名 江東区大島八丁目学童クラブ

記入者 永澤 和男

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	学童クラブ
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の乳幼児、その保護者を対象に、地域に密着したひろば活動を行う。 ・障害を持つ子どもや、他の施設での活動に参加できない子どもも参加できるひろば活動を目指す。 ・保護者同士が地域での友人や仲間を作れるような、「つなぎ」の役割となり地域での子育ての基盤づくりの一助となる。 ・地域の施設と連携し、子育ての悩み・不安等を抱える保護者の支援や不安の軽減の場となる。 ・地域の乳幼児とその保護者にとって安全で安心して利用できる居場所を目指す。 ・利用者にとって必要な情報提供を行い、場合によっては他機関に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭に代わる放課後の生活基盤となり、子ども達の個性を尊重し、安心して過ごすことができる場所となる。 ・集団遊び・行事を通して、子ども達の社会性・協調性・主体性を養う。 ・子どもが困難や葛藤を抱えている時に、共に考え導きながら自己解決能力を養う。 ・保護者とコミュニケーションを密にし、その就労を支援しつつ、子どもの成長について共に考えていく。また、必要であれば家族の相談に応じ、他機関へ繋げる。 ・地域の人たちの協力を得て、地域に根ざした学童クラブを目指す。 ・他の学童クラブや子育てひろば、地域の子供達との交流を大切にし、人間関係を広げていく。 ・他機関と連携し、見守りが必要な子ども・家庭の支援を行う。 ・ひろばの乳幼児や地域の高齢者と関わることで他者への思いやりや、他者を受け入れる気持ちを養う。
活動の内容	<p>子育てひろば ※活動は学童クラブ職員が午前中の時間を利用して実施する</p> <p>開設時間 毎週 月・金 10時～11時半 (自由来館型子育てひろば)</p> <p>手遊び・紙芝居・体操</p>	<p>育成時間 (通常) 下校時～17時 (延長 ～18時)</p> <p>(学校休業日) 8時30分～17時 (延長 ～18時)</p> <p>年間行事 オリエンテーション、入学・進級おめでとう会、行事製作、春・秋の交通安全運動、ミニ遠足、オヤツ釣り大会、スポーツスタッキング大会・将棋大会(自由参加)、世界のカブトムシ観察、遠足、お楽しみ昼食会、近隣児童館の行事への参加、江東区観劇会、大八なつまつり、引取り訓練、ハロウィンパーティー、駄菓子屋さん、大八ひろばとの交流会、大掃除、クリスマス会、お正月遊び、けん玉検定、コマ検定、節分、お別れ会、文集作り、お別れ遠足、大島四丁目学童クラブ・亀戸学童クラブ計画的交流、江東区ドッジボール大会、道徳教育プログラム、地域の見守りをして下さっている方々との関係作り</p>
行事等	<p>行事</p> <p>月間行事 音楽遊び・読み聞かせ 子育て講座（ベビーマッサージ・幼児特別活動） 学童クラブ児との交流会 地域の民生委員さんとの交流</p>	<p>月例行事 誕生会・ゲーム会・避難訓練・学年別グループ活動・手芸・工作</p> <p>保護者会の実施（年3回） 月の便りの発行（毎月）</p>

< 2 > 職員構成

- ・リーダー 1名
- ・児童指導員 2名（リーダー含）

< 3 > 研修

- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急等

< 4 > その他

- ・子育てひろばの開催
週2回午前中（1日育成のない日）

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

放課後子ども教室	・子どもの人格を尊重し、その自己実現を果たすための遊び、学習、体験等を展開していく。 ・子どもたちからの意見（ニーズ）を受け止め、それを具体化していくために共同活動（共に活動を楽しみ創っていく）を展開していく。
事業目標	・子どもたちの居場所になると共に子どもたちの成長を支援していく活動を展開していく。 ・子どもたちに社会や世界で起こっている問題を投げかけ、学習や体験、ボランティア活動等を通して理解を深めていく。 ・問題を抱えている子どもたちや家庭の現実を受け止め、相談の窓口となり、問題解決のために協力していく。 ・学校、関係団体、公共機関と連携し、地域の人たちと協力して、より良い事業の展開と問題解決のための協力関係を形成していく。

施設名 江東きつずクラブ明治

記入者 山田 英

< 1 > 事業計画

	江東きつずクラブ明治 A登録 (放課後子どもプラン事業・(放課後児童活動支援))	江東きつずクラブ明治 B登録 (放課後子どもプラン事業・(学童クラブ機能))
活動目標	子どもたちに対し、放課後等の安全で安心な居場所やあそびの機会を提供し、心身の健全な育成を促す。 1. 放課後等に子どもたちが安心して安全に過ごすことのできる居場所をつくる。 2. 異年齢集団でのあそびを通して社会性と豊かな心を育てる。 3. 児童館、学校、地域と連携し、子どもたちを支援していく。 4. 保護者と協力し、円滑なクラブ運営を行なう。	子どもたちに対し、放課後等の家庭に替わる安全で安心な生活の場を提供し、心身の健全な育成を促す。 1. 放課後等の子どもたちに家庭に替わる安全で安心な生活の場をつくる。 2. 異年齢集団での生活やあそびを通して社会性と豊かな心を育てる。 3. 児童館、学校、地域と連携し、子どもたちを支援していく。 4. 保護者と協力し、円滑なクラブ運営を行なう。
活動の内容	(定員) B登録以外の明治小学校全児童が登録可能 (育成時間) 4月～9月：下校時～17:00 (延長～18:00) 10月～3月：下校時～16:30 (希望により～17:00、延長～18:00) 学校休校日：8:30～終了時刻は学校運営日と同じ (通常の流れ) 来室→宿題→遊び・交流→帰りの会・帰宅 (延長保育) (あそび) 学校の施設を利用して学習や遊びを行なう。地域や外部の方を講師として招いたプログラムや、集団あそびを取り入れる。B登録児童との交流を積極的に図る。	(定員) 63名 (育成時間) 通常：下校時～17:00 (延長～18:00、19:00) 学校休校日：8:30～17:00 (延長～18:00、19:00) (通常の流れ) 来室→宿題→遊び・交流→おやつ→あそび→帰りの会・帰宅 (延長保育) (あそび) クラブ室他学校の施設を利用して生活する。地域や外部の方を講師として招いたプログラムや、集団あそび、班活動を取り入れる。A登録児童との交流を積極的に図る。
行事等	(行事) 入会式、公園遊び、七夕、水遊び、敬老の日、クリスマス会、サッカー教室、節分、ひなまつり、お別れ会 等 (その他) ・毎月のプログラム (ゲーム会、スポーツ大会、コーディネーション運動、手作り工作、お話し会、ビデオシアター、避難訓練等) ・アトリエめいじ (絵画系グループ活動) ・ぬりえコンクール ・保護者会 ・きつずクラブだよりの毎月1回発行	(行事) 入会式、観劇会、お出かけ、七夕、水遊び、敬老の日、クリスマス会、サッカー教室、節分、ひなまつり、深川北部ドッジボール大会、お別れ会 等 (その他) ・毎月のプログラム (誕生日会、ゲーム会、わなげ大会、手作り工作、ビデオシアター、避難訓練等) ・ぬりえコンクール ・深川北部ドッジボール大会 ・保護者会 ・個人面談 ・おたよりの毎月1回発行

< 2 > 職員構成

- ・主事 1名
- ・児童指導員 6名
内 放課後子どもプラン担当 3名
学童担当 3名
- ・その他パート職員

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・法人間の合同プログラム

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

放課後子ども教室	・子どもの人格を尊重し、その自己実現を果たすための遊び、学習、体験等を展開していく。 ・子どもたちからの意見（ニーズ）を受け止め、それを具体化していくために共同活動（共に活動を楽しみ創っていく）を展開していく。
事業目標	・子どもたちの居場所になると共に子どもたちの成長を支援していく活動を展開していく。 ・子どもたちに社会や世界で起こっている問題を投げかけ、学習や体験、ボランティア活動等を通して理解を深めていく。 ・問題を抱えている子どもたちや家庭の現実を受け止め、相談の窓口となり、問題解決のために協力していく。 ・学校、関係団体、公共機関と連携し、地域の人たちと協力して、より良い事業の展開と問題解決のための協力関係を形成していく。

施設名 江東きつずクラブ深川

記入者 山口 修

< 1 > 事業計画

< 2 > 職員構成

- ・主事 1名
- ・児童指導員 4名
- 内 放課後子どもプラン担当 2名
- 学童担当 2名
- ・その他パート職員

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・法人間の合同プログラム
- ・土曜江東きつずクラブ事業
運営日 土曜日（2013年度50日）
運営時間 8:30～19:00
職員2名で対応

	江東きつずクラブ深川 A登録 (放課後子どもプラン事業・(放課後児童活動支援))	江東きつずクラブ深川 B登録 (放課後子どもプラン事業・(学童クラブ機能))
活動目標	子どもたちに対し、放課後等の安全で安心な居場所やあそびの機会を提供し、心身の健全な育成を促す。 1. 放課後等に子どもたちが安心して安全に過ごすことのできる居場所をつくる。 2. 異年齢集団でのあそびを通して社会性と豊かな心を育てる。 3. 児童館、学校、地域と連携し、子どもたちを支援していく。 4. 保護者と協力し、円滑なクラブ運営を行なう。	子どもたちに対し、放課後等の家庭に替わる安全で安心な生活の場を提供し、心身の健全な育成を促す。 1. 放課後等の子どもたちに家庭に替わる安全で安心な生活の場をつくる。 2. 異年齢集団での生活やあそびを通して社会性と豊かな心を育てる。 3. 児童館、学校、地域と連携し、子どもたちを支援していく。 4. 保護者と協力し、円滑なクラブ運営を行なう。
活動の内容	(定員) B登録以外の深川小学校全児童が登録可能 (育成時間) 4月～9月：下校時～17:00(延長～18:00) 10月～3月：下校時～16:30(希望により～17:00、延長～18:00) 学校休校日：8:30～終了時刻は学校運営日と同じ (通常の流れ) 来室→宿題→遊び・交流→帰りの会・帰宅(延長保育) (あそび) 学校の施設を利用して学習や遊びを行なう。地域や外部の方を講師として招いたプログラムや、集団あそびを取り入れる。B登録児童との交流を積極的に図る。	(定員) 52名 (育成時間) 通常：下校時～17:00(延長～18:00、19:00) 学校休校日：8:30～17:00(延長～18:00、19:00) (通常の流れ) 来室→宿題→遊び・交流→おやつ→あそび→帰りの会・帰宅(延長保育) (あそび) クラブ室他学校の施設を利用して生活する。地域や外部の方を講師として招いたプログラムや、集団あそび、班活動を取り入れる。A登録児童との交流を積極的に図る。
行事等	(行事) 入会式、公園遊び、七夕、水遊び、敬老の日、クリスマス会、サッカー教室、節分、ひなまつり、お別れ会 等 (その他) ・毎月のプログラム(ゲーム会、スポーツ大会、コーディネーション運動、手作り工作、お話し会、ビデオシアター、避難訓練等) ・アトリエふかがわ(絵画系グループ活動) ・ぬりえコンクール ・保護者会 ・きつずクラブだよりの毎月1回発行	(行事) 入会式、観劇会、お出かけ、七夕、水遊び、敬老の日、クリスマス会、サッカー教室、節分、ひなまつり、深川北部ドッジボール大会、お別れ会 等 (その他) ・毎月のプログラム(誕生日会、ゲーム会、わなげ大会、手作り工作、ビデオシアター、避難訓練等) ・ぬりえコンクール ・深川北部ドッジボール大会 ・保護者会 ・個人面談 ・おたよりの毎月1回発行

2013(平成25)年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック	・私たちは、子どもたちの居場所となる児童館を目指します。
事業目標	・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。

施設名 汐入ふれあい館

記入者 鶴澤 陽

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動(乳幼児・親)	小学生	中学生・高校生	成人・高齢者(高齢者)	貸室・貸館
活動目標	地域で乳幼児の子育てをしているお母さんたちが集い・交流し、子どもとの関わりを楽しみ、子育ての情報交換や悩みを相談できる場と活動を提供して子育て支援をしていく。	学校とは異なる環境で、異年齢の交流を大切にしつつ、遊びやグループ活動を通し、子どもの生きる力や社会力を培っていく。	学校や家庭とは異なった他者との関係や友人関係を広げながら、その関わりの中で自立への力を積み重ねるようになっていく。	地域の成人・高齢者(高齢者)の方々の居場所・交流の拠点として、プログラムや自主的な活動の支援を企画展開していく。日常生活を豊かにし、楽しめる活動を提供していく。	地域の方々の、自主的な活動の拠点を提供する。
活動の内容・行事等	<p>クラス活動(予定)</p> <p>0歳児〔毎月曜日〕 ひよこクラス(10:15～10:45) こぼんだクラス(10:15～10:45) ぼんだクラス(11:15～11:45)</p> <p>1歳児〔毎火曜日〕 こうさぎクラス(10:10～10:50) うさぎクラス(11:10～11:50)</p> <p>2歳児〔毎木曜日〕 りすクラス(10:30～11:30) 2歳児〔毎金曜日〕 こあらクラス(10:30～11:30)</p> <p>3歳児〔毎水曜日〕 ひつじクラス(14:00～14:45)</p> <p>4,5歳児〔毎木曜日〕 きりんクラス(15:00～15:45)</p> <p>子育て講座 救急法、歯の話、講演会等</p> <p>その他行事等 観劇、ハロウィン、クリスマス等 こども服リサイクル等</p> <p>育児相談〔保健所共催〕 プレイルーム開放 プレイパーク(多目的室開放)等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多目的室 設定スポーツを実施する ドッジボール、バスケットボール、サッカー等 自由遊び 一輪車、縄跳び、レクリエーションゲーム等 一年生タイム(一年生の時間) 創作室 自由工作、折り紙タイム、絵手紙タイム、絵手紙教室(講師)、木工製作、手芸タイム等 図書室 お話し会：素喃、パネルシアター、紙芝居、読み聞かせ、手話と歌等 サロン 百人一首、オセロ、他ゲーム等 和室 映画会等 年間行事 夏祭り、ふれあい祭り(秋祭り)、クリスマス等 小学生クラブ(登録制)ソルティークラブ(高学年組織活動) スポーツ、料理、ボランティア等 	<p>※区の区分時間帯が変動するため、新年度の時間帯詳細等については未定。予定としては15～30分程度変動。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生タイム 月～金曜 18:00～18:45 主に多目的室 バスケット、卓球等 設定スポーツ大会 水、土曜日 17:00～18:45 土曜日 18時まで高学年と合同 サロン 月～日曜日 18:00～19:00 雑誌、ゲーム類、手芸等 図書室〔不定期〕 手芸、学習等 洋室 第2水曜日 リトルキッチン おやつ作りと交流 行事 クリスマス会 新年会 他館合同スポーツ大会 館活動の手伝い体験、ボランティア体験、各種ボランティア活動等 	<ul style="list-style-type: none"> 大人のピラティス (通称ママトレのピラティス) 毎月曜日 13:00～13:45 原則 大人のエアロビクス (通称ママトレのエアロビ) 毎月曜日 14:00～14:45 原則 大人のスポーツタイム 毎火曜日 14:00～15:00 卓球 各種スポーツ等 卓球タイム 毎木曜日 13:00～14:30 健康体操 毎火曜日 13:00～14:00 ストレッチ、基礎的な運動 その他 踊り、わなげ、パソコン体験(文字入力等の基本的な操作、インターネット体験、等)、書道タイム、絵手紙教室、カラオケ、大人の映画会、等 ふれあい寄席(年1回) ころばん体操(原則、週1回、毎週)等の実施〔区規定〕 サロン：マッサージ機、血圧計、広報紙や雑誌等の利用 	<p>荒川区規定による。</p> <p>原則 平日 19:00～22:00 日祝祭日 9:00～22:00 に貸し出しを行なう。</p> <p>※2013年度は、全体時間は変わらないものの、区分時間帯が変動する可能性がある。</p> <p>図書室、創作室、和室、多目的室等が貸し出し対象の部屋であるが、館の事業等が優先で、事業を行っていない時間帯に貸し出しを行う。</p> <p>貸し出しに伴う業務等(予約業務、確認業務、清掃業務、利用料の收受、等)を、区の指示の基に行う。</p> <p>※おあずかりした利用料(使用料)は、即日区に納入</p> <p>※館の備品等の貸し出し等に協力。</p> <p>※公務(区の業務)による使用、準公務(区の指示の業務)の貸し出し利用の協力も行なう。 (例：選挙関係等)</p>

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・リーダー 1名
- ・職員 5名(リーダー含む)

< 3 > 研修

- ・法人研修
- ・児童館ブロック研修
- ・施設内研修
- ・荒川区(所属する自治体)の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・原則、年末年始以外は、全日開館。(8:30～22:00)

- ・関連する事業
学童クラブの統括管理
○館内(3階学童クラブ室)
汐入学童クラブ
定数(定員)60名
○館外(隣接している汐入小学校内、敷地は共通)
汐入小学童クラブ
定数(定員)80名

- 区・地域 公的行事 への参加
○南千住地域演芸会(6月予定) ○ふれあい館街中避暑地(夏季期間予定)
○南千住地域街中ウォークラリー(9月予定) ○南千住地域なかよし祭り(10月予定)
○汐入町会文化祭(11月予定、会場：産業技術高専) ○ふれあい館街中ほつとサロン(冬季期間予定) ○南千住地域新春たこあげ大会(1月予定)
○南千住地域ふれあい祭り(2月予定)
○荒川区ふれあい館ひろば館交流フェスタ(3月予定) 等
- ※以上の公的行事で、汐入ふれあい館は実施協力もしくは共催施設であると規定されていて、企画・準備・運営・実施、等を担う。

児童館ブロック

汐入(指定管理)

2013(平成25)年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	--

施設名 町屋ふれあい館

記入者 植松 牧人

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動(乳幼児・親)	小学生	中学生・高校生	成人・高年者(高齢者)	貸室・貸館
活動目標	地域で乳幼児の子育てをしているお母さんたちが集い・交流し、子どもとの関わりを楽しみ、子育ての情報交換や悩みを相談できる場と活動を提供して子育て支援をしていく。	学校とは異なる環境で、異年齢の交流を大切にしつつ、遊びやグループ活動を通し、子どもの生きる力や社会力を培っていく。	学校や家庭とは異なった他者との関係や友人関係を広げながら、その関わりの中で自立への力を育むように支援していく。	地域の成人・高年者(高齢者)の方々の居場所・交流の拠点として、プログラムや自主的な活動の支援をしていく。日常生活を豊かにし、楽しめる場としての在り方を利用者の方と相談しながら作っていく。	地域の方々の、自主的な活動の場を提供する。
活動の内容・行事等	クラス活動(予定) 0歳児〔火曜日〕 1歳児〔水曜日〕 2歳以上児〔木・金曜日〕 幼稚園児〔月曜日〕 子育て講座 救急法、歯の話、講演会等 その他行事等 観劇、ハロウィン、クリスマス等 育児相談(保健所共催) プレイルーム開放 プレイパーク(多目的室開放)等	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室 設定スポーツを実施する ドッジボール、バスケットボール、サッカー等 ・自由遊び 一輪車、縄跳び、レクリエーションゲーム等 ・一年生タイム(一年生の時間) ・創作室 自由工作、折り紙タイム、絵手紙タイム、絵手紙教室(講師)、木工製作、手芸タイム等 ・サロン 将棋、オセロ、ゲーム ・年間行事 忍者屋敷 クリスマス等 	<ul style="list-style-type: none"> ※区の区分時間帯が変動するため、新年度の時間帯詳細等については未定。予定としては15~30分程度変動。 ・中学生タイム 月~金曜 18:00~18:30 主に多目的室 バスケット、卓球等 土曜日 17:00~18:45 ・サロン 月~日曜日 18:00~19:00 雑誌、ゲーム類、手芸等 学習場所の提供 ・行事 クリスマス会 新年会 他館合同スポーツ大会 館活動の手伝い体験、ボランティア体験等 	<ul style="list-style-type: none"> ・マットピラティス ・五十歳からのヨガ ・健康体操 ストレッチ、基礎的な運動 ・民謡 ・ギター ・カラオケ ・カラオケ大会(桜まつり・クリスマス) ・ふれあい寄席(年1回) 	荒川区規定による。 原則 平日 19:00~22:00 日祝祭日 9:00~22:00 に貸し出しを行なう。 ※2013年度は、全体時間は変わらないものの、区分時間帯が変動する可能性がある。 図書室、創作室、和室、多目的室等が貸し出し対象の部屋であるが、館の事業等が優先で、事業を行っていない時間帯に貸し出しを行う。 貸し出しに伴う業務等(予約業務、確認業務、清掃業務、利用料の収受、等)を、区の指示の基に行う。 ※おあずかりした利用料(使用料)は、即日区に納入 ※館の備品等の貸し出し等に協力。 ※公務(区の業務)による使用、準公務(区の指示の業務)の貸し出し利用の協力も行なう。 (例:選挙関係等)

< 2 > 職員構成

- ・ 館長 1名
- ・ リーダー 1名
- ・ 職員 6名

< 3 > 研修

- ・ 法人研修
- ・ 児童館ブロック研修
- ・ 施設内研修
- ・ 荒川区(所属する自治体)の研修
- ・ その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・ 原則、年末年始以外は、全日開館。
(8:30~22:00)

区・地域 公的行事への参加

- 町屋こども祭り(10月予定)
- ふれあい館街中避暑地(夏季期間予定) 街中ほっとサロン(冬季期間予定)
- 夕涼み会(町屋1丁目南町会主催)
- 町屋ふれあい文化祭(荒木田ふれあい館 町屋2丁目ひろば館共催)
- 荒川区ふれあい館ひろば館交流フェスタ(3月予定)等
- ※以上の公的行事で、汐入ふれあい館は実施協力もしくは共催施設であると規定されていて、企画・準備・運営・実施、等を担う。

児童館ブロック

町屋(指定管理)

2013(平成25)年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

学童クラブ 事業目標	私たちは所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。 ・私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。 ・私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。 ・私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を發揮できる学童クラブを目指します。 ・私たちは、自由と規律を大切にする学童クラブを目指します。 ・私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。 ・私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。
---------------	---

< 1 > 事業計画

	学童クラブ	
活 動 目 標		*家庭に代わり安全で安心して過ごせる居場所となる。 *友達との交流、遊び、集団での活動を通し、社会性を育てていく。 *いろいろな活動に取り組み生活経験を豊かにしていく。 *保護者が安心して働けるような対応をしていく。
活 動 の 内 容 ・ 行 事 等		育成時間 通常：下校時間～18:00、学校休業日：8:30～18:00 行事 新入会者歓迎会 毎月：誕生会、お店屋さん（自由選択のおやつ） 日常活動 手芸、製作・工作、折り紙、各種ゲーム、読書、宿題、屋外遊び（近隣公園等）、運動遊び（ふれあい館多目的室等）、等 手作りおやつ 1ヶ月に1回程度を予定 毎月の発行物(印刷物) 学童クラブ便り、おやつ献立表 保護者会 年3回程度（予定） 個人面談 希望者には随時、実施する。必要性の高い家庭には声をかける。 その他 ふれあい館の「手話の時間」への参加を呼びかける（汐入文化祭、区の交流フェスタ等の公的行事への参加も含む）

施設名 汐入学童クラブ

記入者 鶴沢 陽

< 2 > 職員構成

- ・リーダー 1名
- ・児童指導員 3名
(リーダー含、非正規常勤1名含)
(予定)
- その他
障がい児加配等のパート職員
(障がい児の在籍人数等により変動する)

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

○汐入ふれあい館内、3階の学童クラブ室で実施

汐入学童クラブ
定数(定員) 60名

※荒川区は待機児を出さないという方針。
申請があれば、定数(定員)を超えても原則受け入れる。どの程度まで受け入れるかは、区が決定をする。
2013年度の人数は未定。

※学童クラブは、障がい児を受け入れている。
2013年度の人数は未定。

※荒川区は、条例上、学童クラブは、ふれあい館とは別個の施設と規定されている。

児童館ブロック

汐入学童(委託)

2013(平成25)年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

私たちは所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組みます。

学童クラブ
事業目標

- ・私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。
- ・私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。
- ・私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。
- ・私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を發揮できる学童クラブを目指します。
- ・私たちは、自由と規律を大切にす学童クラブを目指します。
- ・私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。
- ・私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

施設名 汐入小学童クラブ

記入者 鶴沢 陽

< 2 > 職員構成

- ・リーダー 1名
 - ・児童指導員 4名
- (リーダー含、非正規常勤1名含)
(予定)
- その他
障がい児加配等のパート職員
(障がい児の在籍人数等により変動する)

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

○館外、隣接小学校敷地内の学童クラブ室にて運営実施
(汐入小学校敷地内、校舎横、1,2階)

汐入小学童クラブ
定数(定員)80名

※荒川区は待機児を出さなという方針。
申請があれば、定数(定員)を超えても原則受け入れる。どの程度まで受け入れるかは、区が決定をする。
2013年度の人数は未定。

※学童クラブは、障がい児を受け入れている。
2013年度の人数は未定。

※荒川区は、条例上、学童クラブは、ふれあい館とは別個の施設と規定されている。

< 1 > 事業計画

	学童クラブ
活動目標	<p>*家庭に代わり安全で安心して過ごせる居場所となる。</p> <p>*友達との交流、遊び、集団での活動を通し、社会性を育てていく。</p> <p>*いろいろな活動に取り組み生活経験を豊かにしていく。</p> <p>*保護者が安心して働けるような対応をしていく。</p>
活動の内容・行事等	<p>育成時間 通常：下校時間～18:00、学校休業日：8:30～18:00</p> <p>行事 新入会者歓迎会 毎月：誕生会、お店屋さん(自由選択のおやつ)</p> <p>日常活動 手芸、製作・工作、折り紙、各種ゲーム、読書、宿題、屋外遊び(汐入小学校校庭、等)、運動遊び(同・小学校校庭、汐入ふれあい館多目的室、等)等</p> <p>手作りおやつ 1ヶ月に1回程度を予定</p> <p>毎月の発行物(印刷物) 学童クラブ便り、おやつ献立表</p> <p>保護者会 年3回程度(予定)</p> <p>個人面談 希望者には随時、実施する。必要性の高い家庭には声をかける。</p> <p>その他 ふれあい館の「手話の時間」への参加を呼びかける(汐入文化祭、区の交流フェスタ等の公的行事への参加も含む)</p>

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

私たちは所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組めます。

学童クラブ
事業目標

- ・私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。
- ・私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。
- ・私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。
- ・私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を發揮できる学童クラブを目指します。
- ・私たちは、自由と規律を大切にす学童クラブを目指します。
- ・私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。
- ・私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

施設名 七峡小学童クラブ

記入者 山口 修

< 2 > 職員構成

- ・リーダー 1名
- ・児童指導員 3名
(リーダー含)
(予定)
- その他
障がい児加配等のパート職員
(障がい児の在籍人数等により変動する)

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

< 4 > その他

- ・定数（定員）60名
- ・開所時間
(通常) 学校下校時から18:00まで
(学校休業日) 9:00~18:00まで
※荒川区は待機児を出さないという方針。
申請があれば、定数（定員）を超えても原則受け入れる。どの程度まで受け入れるかは、区が決定をする。
2013年度の人数は未定。
(2012年度実績は62名)
※七峡小学童クラブでは、障がい児を受け入れている。
2013年度の人数は未定。
(2012年度実績は1名)
※荒川区は、条例上、学童クラブは、ふれあい館とは別個の施設と規定されている。

< 1 > 事業計画

	学童クラブ
活動目標	<p>*家庭に代わり安全で安心して過ごせる居場所となる。</p> <p>*友達との交流 遊び、集団での活動を通し、社会性を育てていく。</p> <p>*いろいろな活動に取り組み生活経験を豊かにしていく。</p> <p>*保護者が安心して働けるよう支援を行っていく。</p> <p>*生活不安・心理的不安などかかっている児童・家庭へ他施設との連携しての支援を行う。</p>
活動内容・行事等	<p>行事 新入会者歓迎会 毎月：誕生会、お店屋さん（自由選択のおやつ）</p> <p>日常活動 手芸、製作・工作、折り紙、各種ゲーム、読書、宿題、屋外遊び（七峡小学校校庭等）等</p> <p>手作りおやつ 1ヶ月に1回程度を予定</p> <p>毎月の発行物(印刷物) 学童クラブ便り、おやつ献立表</p> <p>保護者会 年3回程度（予定）</p> <p>個人面談 希望時には随時、実施する。気になる子のご家族には声をかける。</p> <p>その他 ふれあい館の行事への参加を呼びかける（区の交流フェスタ等の公的行事への参加も含む）</p>

2013(平成25)年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

施設名 汐入東小にこにこすくーる

記入者 玉谷 真吾

放課後子ども教室 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人格を尊重し、その自己実現を果たすための遊び、学習、体験等を展開していく。 ・子どもたちからの意見（ニーズ）を受け止め、それを具体化していくために共同活動（共に活動を楽しみ創っていく）を展開していく。 ・子どもたちの居場所になると共に子どもたちの成長を支援していく活動を展開していく。 ・子どもたちに社会や世界で起こっている問題を投げかけ、学習や体験、ボランティア活動等を通して理解を深めていく。 ・問題を抱えている子どもたちや家庭の現実を受け止め、相談の窓口となり、問題解決のために協力していく。 ・学校、関係団体、公共機関と連携し、地域の人たちと協力して、より良い事業の展開と問題解決のための協力関係を形成していく。
------------------	--

< 1 > 事業計画

放課後子どもプラン	
活動目標	<p>①今年度は利用者の増加が見込まれるので、より安全な受け入れに力を注いでいく。</p> <p>②子どもたちのニーズが多様化してきているので、それに対応していく。</p> <p>③地域の力を活動の中に取り入れ、地域に根付いた施設を目指していく。</p>
活動の内容・行事等	<p>(定員) 汐入東小学校に在籍する全児童が登録可能 利用者人数（見込み） 登録児 517名(2013年1月末現在) 利用児童 135名程度/日</p> <p>(育成時間) 学校授業日 放課後～18:00（土曜日～17:00） 学校休校日 9:00～18:00（土曜日～17:00） ※一部 8:30 より受入</p> <p>①日常活動 2013年度は一年間をかけて現在の専用室を建て直す予定のため、活動場所は未定である。 汐入東小学校の施設（校庭・体育館・図書館等）を、学校行事や授業の妨げにならないよう配慮しながら利用する。</p> <p>②プログラム活動 活動場所が定まらず、どのような方法で育成を行っていくのが未定のため、現在のところ月間のプログラム活動は未定である。</p> <p>③特別行事 日帰り外出 □赤い羽根募金活動 □東日本大震災復興支援募金活動</p> <p>④その他 運営委員会（行政関係者・学校関係者・地域関係者で構成） 年3回実施</p> <p>活動場所について ・専用室の建て直しを予定しているため、一時的に活動場所を移動して行う。 引越しの時期・期間等の詳細は未定である。 [現在の活動場所] 荒川区南千住 8-10-1 第三中学校敷地内 [引越し先] 荒川区南千住 8-9-3 汐入東小学校内</p>

< 2 > 職員構成

- ・主事 1名
- ・児童指導員 5名（主事含）
内 放課後子どもプラン担当 5名

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急 等

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへ参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	---

施設名 岩戸児童センター
 記入者 日下 美恵子

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動	小学生クラブ（学童）	小学生を対象とした活動	中高生を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者の安心した居場所となる。 ・保護者が保護者同士や異世代間の交流を持ち、視野を広げる場となる。 ・地域に存在する子ども家庭支援システムとの有機的な協力体制を構築し、ソーシャルワークの視点に立つ相談、支援サービス実施する。 ・支援センターとして関係機関とのネットワークを形成し、虐待の予防・防止対策に取り組んでいく。 ・利用者との関わりや、相談事業を充実させる（お母さんの自主プログラム実施、グループ懇談や参加型講座） 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな生活背景を持つ子どもを受け止めながら、児童が安心して過ごせる場所となる。 ・自由な遊びの時間を通じて児童の心と身体の成長を促す。 ・学習の場を設け、声かけとともに宿題などのサポートをする。 ・児童と児童、児童と職員間の交流を通じて学年や世代を超えた交流をもつ。 ・児童センターとの併設を活かし、異年齢 集団での人間関係を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由来館児童を積極的に受け入れる。 ・日常活動を大切にし、地域の子どもの居場所となるよう丁寧な受け入れをする。 ・児童センターを中心とした異年齢、異世代間の交流をはかる。 ・スポーツ・児童文化等に親しむ場、生活スキルを学ぶ場となる。 ・地域交流活動を積極的に取り入れ、地域に根差した児童館を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生来館を積極的に受け入れる。 ・中高生ボランティア活動の促進。 ・近隣中学の職場体験を受け入れる。 ・スポーツ活動の推進をする。
活動の内容・行事等	子育て相談事業 プレイルーム開放 9:00～18:00 つどいの場提供事業 ・はいはいクラブ（0才親子活動） ・よちよちクラブ（1才親子活動） ・とっこクラブ（2才親子活動） ・ねんね赤ちゃんプレイルーム ・プレイルーム 子育て啓発事業 ・たんぽぽ thinking ～親向け講座～ ・Nobody's Perfect～市担当課との共催事業～ その他併設する子ども家庭支援センターとの共催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・班活動を通じての生活体験 ・学童児独自の活動実施（誕生日会、遠足、調理など） ・親子参加の活動や保護者向け活動 保護者会（年2回） 行事の保護者ボランティア募集 ○定員 概ね50名 内障がい児 7名 ○育成時間 通常下校時～19:00 ○休校日 8:00～19:00 ○延長保育 19:00～20:00 ○対象 小学1年生～6年生 	《日常プログラム》 スポーツタイム、スポーツ大会、ロッキーシネマズ、おはなし会、アトリエタイム、ワークタイム、料理タイム、折り紙教室、スタッフタイム、夏休みプログラム 《組織活動》 ・1年生ロッキークラブ ・2、3年生ロッキークラブ ・高学年ロッキークラブ 《行事》 1年生歓迎会、センター合宿、えんにち、狛江市川口キャンプ、親子キャンプ、ファミリーデー、春まつり、遠足、法人交流ドッジフェスタ、法人交流フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生スポーツタイム（月～土曜日18:00～19:00） ・中高生スペシャルタイム（隔月1回） ※スポーツ大会やクッキングなど

< 2 > 職員構成

- ・センター長 1名
- ・主事 1名
- ・児童厚生員 5名（主事含）
- 内 児童館担当 3名
- 学童クラブ 2名

< 3 > 研修

- ・事業所内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・外部研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急等

< 4 > その他

- 狛江市関係機関との連携
 運営協議会の開催（年2回）
 全体業務・行事
 図書室開放、図書貸出、ロッキーえんにち、ロッキークリスマス、岩戸フレンドパーク、他
- 【重要課題】
- ①「利用者のニーズに丁寧に応えることのできる、専門性をもった職員集団を目指す。
 - ②他機関との連携とともに、センターの独自性を活かし地域にあって喜ばれる施設となる。
 - ③各事業の目的をはっきりと持ち、内容の充実をはかり、日常活動を活性化させる。利用者との共感関係をもち、センターから地域の子どもの文化や子育て情報を発信する。

2013（平成25）年度 事業計画書

施設名：狛江市子ども家庭支援センター

記入者 日下美恵子

事業目標	<p>子ども家庭支援センターブロック事業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、地域の子どものとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実に基づいて、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どものとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どものとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 	ネットワークと機関連携	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童相談を担う機関として、地域における子ども家庭支援システムと協力体制を構築し、ケースマネジメント手法により、子どもと家庭の問題に適切に対応する。 2. 子育て相談、虐待に関する相談・通告等に対して、市担当課との密な連携の下、役割分担・連絡調整を明確化し、必要に応じて関係機関を召集して個別ケア会議を行う。 3. 狛江市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）において、調整機関である市担当課と共に各会議の企画・準備・開催や子ども虐待防止対策事業等、支援センターの役割を果たす。 4. 市内の雲柱社各施設との協力・連携
方針と展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひろば事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 乳児と幼児がそれぞれ安全に過ごせるような環境を設定し、来所する親子が安心して過ごせる居場所となるようにスタッフが配慮していく。 (2) センター内のひろば活動だけでなく、市内の遊びのひろばや地域センターなどへの出張ひろばを展開し、センターの利用促進のための広報活動を充実させる。また、遠くセンターまで来所できない家庭との繋がりをつくる工夫をする。 (3) 近隣小学校・中学校保護者のママさん保育ボランティアをはじめ、手づくりおもちゃグループなどのボランティア活動を定着・拡大させていくとともに、利用者が講師となるような趣味や特技を活かしたプログラムの企画を実現していく。 2. 相談事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) スーパービジョン会議には、非常勤職員も出席し、要支援ケースだけでなく、ひろばや電話相談などでの対応が難しいケースもスーパービジョンを受けていく。また、職員会議等にも、状況に応じて保健師や他の専門機関を招き、ケースの情報共有をしていく。 (2) 3・4ヶ月健診への出張事業や必要に応じて新生児訪問に同行するなど、保健師・助産師との連携を強化し、相談やサービス提供に繋げていく。 3. サービス事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 申請のためにセンターに来所できない家庭、または今後センターの支援が必要とされる家庭に対しては、センター職員が訪問をし申請書類を記入してもらうなど、きめ細かい配慮をしていく。また、受け入れ先の保育ママやヘルパー、児童養護施設などとの連携を強化し、利用前後のフォローを心掛ける。 4. 先駆型子ども家庭支援センター事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 狛江市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）において、関係機関と日常的に「顔の見える」連携のもと、虐待予防対応に努める。 (2) 虐待防止対策において、市担当課と協働のもと、通年「オレンジリボン」の普及・啓発活動について取組みを行う。併設の岩戸児童センター高学年組織活動時に作成した、貼り絵のオレンジリボンポスターを、市内関係機関にリレー方式で掲示する。また、職場体験の中学生や児童センター利用者と共に作成した手づくりオレンジリボンを要保護児童対策地域協議会及び市民に配付する等、普及啓発活動に努める。 (3) 在宅サービス整備基盤事業で、養育家庭体験発表会のみならず、関係機関に向けた学習会の開催や里親月間時の啓発活動等にも力を入れていく。 	環境整備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明るく清潔で、来館した親子が安心して過ごせるような環境づくりを心掛ける。また安全面についても配慮した環境づくりを行う。 2. 0から3歳の子どもの遊び、好きな遊びを見つけて、充分に楽しめるような環境設定をしていく。 3. ボランティアや利用者参加による環境整備の充実（フェルトの手づくりおもちゃ・遊具の消毒など） 4. 玩具・絵本・大人向け図書の実施 5. 赤ちゃんコーナー・授乳コーナーの環境整備や充実 6. 誤飲やけがを防ぐため、床の落下物や玩具・遊具の破損等の確認をしていく。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども虐待防止対策事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 虐待通告・相談の窓口：市担当課と共に第一の窓口を担う。必要に応じて情報収集し、協議のうえ、関係機関を召集・サービス提供・指導・訪問などを適宜行う。 (2) 見守りサポート事業：児童相談所と連携し、虐待家庭等に対して、訪問・サービスの活用等の支援を行う。 (3) 虐待防止支援訪問事業：健康支援課・保健所等の関係機関と連携し、虐待等を未然に防止するため訪問等を行う。 (4) 育児支援ヘルパー事業：要支援家庭のための産前・産後支援ヘルパー派遣 (5) 在宅サービス基盤整備事業：養育家庭の普及に努め、体験発表会等を開催する 2. 地域組織化事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) たんぽぽタイム (2) リフレッシュ mama (3) Daddy's Kitchen（父親の料理企画 年間3回） (4) たんぽぽスタート（年6回） (5) たんぽぽほっと room（4回連続講座 年間2回） (6) Nobody's perfect ～市担当課との共催事業 年間2クール実施～ (7) コモンセンス・ペアレンティング ～市担当課との共催事業 年間1クール実施～ (8) 野川たんぽぽひろば～出張「子ども家庭支援センター」～（月1回） (9) 子ども服リサイクル (10) 季節の行事（すいとん・えんにち・ハロウィン・クリスマス） 【児童館連携事業】 <ol style="list-style-type: none"> (1) ねんね赤ちゃんプレイルーム・はいはいクラブ・よちよちクラブ・とっこクラブ (2) すくすく測定（月2回） (3) たんぽぽThinking（年4回） 3. 子育て相談事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) ひろば相談 (2) 面接相談 (3) 電話相談 (4) FAX・メール相談 (5) 専門相談（心理発達） (6) あいとびあ出張育児相談（健康支援課による測定、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士による相談） 4. サービス提供事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 一時保育 (2) ショートステイ (3) 育児支援ヘルパー 5. 情報提供 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域子育て情報の提供 (2) 法人ホームページでの情報発信 (3) リサイクル情報 (4) たんぽぽ通信 (5) 意見箱設置・センターからの返答掲示板 (6) 利用者同士のおすすめ情報掲示板 (7) こまえ子育てねっとの活用 6. ネットワーク・人材育成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各専門機関の担当者との連携強化 ○母親学級や3・4ヶ月健診などへの出張 (2) 運営協議会開催 ○近隣小学校・中学校へのボランティアの募集 (3) スーパービジョン会議 ○ボランティア講座の講師 	職員構成	<p>常勤（正規） 4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設長 1名（岩戸児童センター長との兼務） ○支援ワーカー 2名 ○虐待対策ワーカー 1名 <p>非常勤 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支援ワーカー 2名 ○地域活動ワーカー 1名 <p>スーパーバイザー 1名</p>
		主な研修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 2. 外部研修（SDSを含む） <ol style="list-style-type: none"> (1) 東京都子ども家庭支援センター自主研究会 (2) 子どもの虐待防止センター主催研修会 (3) 東京都主催研修各種 (4) 東京都精神福祉保健センター研修 (5) 子育てセンター実践研究会実践交流セミナー (6) こころの健康財団精神保健講座 3. 職場内研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) ケース検討会

支援センターブロック

狛江支援センター（指定管理）

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、みんなの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへ参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	---

施設名 和泉児童館
記入者 松元 新

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動	小学生クラブ（学童）	小学生を対象とした活動	中高生を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者が安心して過ごせる居場所とする。 ・子育て中の保護者同士が交流し、友好の輪を広げる場とする。 ・利用者との関わりを積極的に行い、顕在的・潜在的なニーズの把握と、そのニーズに対応するサービスの充実に努める。 ・地域の子ども家庭支援機関との有機的な連携をもった協働関係を構築し、ソーシャルワークの視点に立った支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の存在が大切にされ安心して過ごせる場所とする。 ・遊びを通じて心身の成長を促すとともに、交友関係の輪を広げる。 ・子ども同士、子どもとスタッフ間の交流を通じて人間的な関わりを幅を広げる。 ・児童館との併設を活かし、異年齢交流を通じて人間関係を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子ども達にとって居場所となり、一人ひとりが安心して過ごせるよう丁寧な対応をする。 ・日常活動を基盤に、魅力ある活動を行い、自由来館児童を積極的に受入れる。 ・色々な体験と出会いができる場とする。 ・地域資源を有効に活用し、また、地域活動にも積極的に参加することで地域により根差した児童館を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生来館を積極的に受け入れる。 ・中高生来館に繋げる魅力的な遊び環境の充実に努める。 ・中高生のボランティア活動の促進をし社会参加の場とする。 ・近隣中学校の職場体験を積極的に受れる。
活動の内容・行事等	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て相談事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりルームの開放 ・わんぱくタイム（屋内外） ・相談員による子育て相談 ■子育てクラブ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦クラス カンガルー ・0歳児クラス こぼんだ ・0歳児クラス ぼんだ ・1歳児クラス うさぎ ・2・3歳クラス こあら ■その他の日常活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりリトミック ・ベビーダンス ・ベビーオイルマッサージ ・すくすく測定（月の身体測定） ・わらべ唄と絵本の会 ・お母さんの折紙教室 ・お母さんの手作りタイム ・お母さんのリフレッシュ託児つき企画 ■その他の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーデー（運動会） ・離乳食、幼児食教室 ・こども服リサイクル ・ひまわりコンサート ・親子遠足 ・食育プログラム ・人形劇 ・乳幼児クリスマス会 ・その他親子プログラム ・その他児童館との共催事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■小学生クラブ概要 <ul style="list-style-type: none"> 定員：概ね50名（内障がい児11名） 対象：全学年（小学1～6年生） 時間：通常 下校時～19：00 休校日 8：00～19：00 延長 19：00～20：00 ■日常（月）プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・班活動 ・わなげ大会 ・ロッカー掃除 ・買い物おやつ ・手作りおやつ ■その他のプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスサークル（ポップキッズ） ・ランチ会 ・おでかけ ・工作タイム ・縁日ごっこ ・水鉄砲大会 ■子どもと保護者対象のプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・入室式 ・個人面談 ・保護者会 ・懇談会（食事会） ■その他年間プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・市内イベント参加 ・児童館と共済事業 ■危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・防犯訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ■日常活動 <ul style="list-style-type: none"> スポーツタイム、スポーツ大会、一輪車検定、折紙教室、映画会、低学年タイム、クッキング、低学年特別プログラム、高学年特別プログラム等 ■グループ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生いざみクラブ ・2、3年生いざみクラブ ・野人王国 ・チームD ■年間行事 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生歓迎会 ・2、3年生デイキャンプ ・1年生デイキャンプ ・高学年キャンプ ・ノーベンバーフェスト ・クリスマス活動 ・低学年館内合宿 ・高学年館内合宿 ■その他行事 <ul style="list-style-type: none"> ・三味線教室 ・体験学習ワークキャンプ ・市民祭り出場 ・渋谷交歓フェア出場 ・法人交流フェスタ ・法人ドッジフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ■日常活動 <ul style="list-style-type: none"> ・中高生タイム（月～土曜日 18:00～19:00） ・学習スペースの提供（育成室） ■その他プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・中高生スペシャルタイム ・体験学習ワークキャンプ ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受入れ ・職場体験の受入れ

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 4名（統括リーダー含）
- 内 児童館担当 2名
- 学童クラブ 2名

< 3 > 研修

- ・職場内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・外部研修
 - 防犯、安全管理、救急等

< 4 > その他

- ・狛江市関係機関との連携
- ・運営協議会の開催（年2回）

2013（平成 25）年度事業計画書

施設名 狛江市ファミリー・サポート・センター
 記入者 松元 新

事業の内容と展開	<p>【事業概要】 「育児のお手伝いをしてほしい方（利用会員）」と「育児のお手伝いをしたい方（サポート会員）」をお互い引き合わせコーディネートすることで、地域で子どもたちを共に育てていく関係を広げていき、市民の方々の仕事と育児の両立支援を充実させる。 また、地域に福祉の心を根付かせ、互いに助け合える相互援助活動の輪を広げていくことで、児童と地域の福祉の向上を目指していく。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1) 通常事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート会員と援助会員のそれぞれの募集 ・事業説明会の開催 ・会員同士の事前説明会の実施 ・会員の登録 ・会員の啓発 ・会員の援助活動の調整 ・サポート会員の講習 ・会員同士の交流会の開催 ・会員のトラブルへの助言 ・ステップアップ講習会の企画 ・AED講習会 ・お母さんのリフレッシュのための託児つき企画 <p>2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信の発行 ・児童館（子育てひろば事業）活動に伴う託児の手配 ・小金井・小平などの近隣他地域とのファミサポ連絡会 <p>【事業活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園、学校（以下「保育所等」という。）の開始時まで児童を預かる ・保育所等の終了後児童を預かる ・保育所等までの送迎を行う ・保育所等が休みの時児童を預かる ・児童が軽度の病気の場合等臨時的突発的に終日児童を預かる ・冠婚葬祭や他の児童の行事等により児童を預かる ・買い物等の外出の際児童を預かる ・病後児の児童を預かる ・病児の子どもを病児保育室までの送迎を行う ・その他アドバイザーとサポート会員及び利用会員と協議のうえ決定する援助活動を行う ＊病後児の預かりはサポート会員宅で行う。 	<p>目 標 <共に生きる・共に育てる></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実によって事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるように日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、よりよい解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 	
		<p>事業目標</p>	<p>職員構成</p> <p>センター長 1名 ＊和泉児童館長との兼務</p> <p>アドバイザー 3名</p>
		<p>主な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人研修 ・所属する自治体の研修 ・その他の研修 ・ミッション研修 	

支援センターブロック

狛江ファミサポ（指定管理）

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

児童館ブロック事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-------------	--

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	小学生を対象とした活動	中・高校生を対象とした活動
活動目標	<input type="checkbox"/> 乳幼児と保護者（妊婦含む）が安心して過ごすことのできる居場所となる。 <input type="checkbox"/> 出会いの場、交流(子ども・保護者・家族)の場となる <input type="checkbox"/> 地域との連携・協働を通しての「子育て支援」と「子育て支援」の実施	<input type="checkbox"/> 多くの他者との出会い・交流を通し子どもたち一人ひとりが感じ、考え、実行することのできる活動を目指す。 <input type="checkbox"/> 子どもたちが平和を創り出す力を育む活動とする。 <input type="checkbox"/> ボランティア活動を通し「受ける喜びよりも与える喜びを」の実践を目指す。 <input type="checkbox"/> 「人と共に生きる力」を伝え続ける実践 【居場所として】 <input type="checkbox"/> 利用しやすい環境の整備 【共に創る】 <input type="checkbox"/> 調理技術体験の実施 <input type="checkbox"/> クリスマス活動	<input type="checkbox"/> 〈中・高校生の心の糧となる活動を目指す〉 <input type="checkbox"/> 出会いの場、交流の場、自己表現の場として <input type="checkbox"/> 中学生、高校生と職員の交流の充実 <input type="checkbox"/> 居場所としての機能の充実 <input type="checkbox"/> 「人と共に生きる力」を伝え続ける実践 【居場所として】 <input type="checkbox"/> 事業内容の充実 <input type="checkbox"/> 職員との交流の充実 【共に創る】 <input type="checkbox"/> 中、高生活動行事への参加、企画、運営 <input type="checkbox"/> ボランティアとして ※日々の交流の充実に図りそこから彼らと共に活動という一つの形を創りあげていく。
活動の内容・行事等	【活動】 ◆月1回の年齢別（0、1、2、3）自由参加型活動を実施し親子同志の交流の拡大を図る。 ◆月2回の公園児童館（近隣の公園に職員が出向き公園利用者との交流を通し児童館をアピールする時とする） ◆地域活動団体との協力体制の構築より地域に根ざした活動を展開する。 ◆測定日（身長・体重測定や手形をとる）隔月 【日常】 乳児と幼児がそれぞれ安心して過ごすことのできる環境を設定していく。 ◆乳幼児ルームの開放 9:30～19:00 体育室の開放 火曜日～金曜日 土曜日、日曜日 10:00～15:00 10:00～13:00 ◆工作室の開放（遊び場と0・1歳児の居場所の拡大） 火曜日～金曜日：0・1歳児優先ルーム 13:00～17:00 【その他の活動】 保育付講座（年2回）、親子遠足（年2回） 夕涼み会、餅つき、親子ファミリーディ、クッキング パパママスポーツタイム <input type="checkbox"/> 父親参加型活動の展開 <input type="checkbox"/> 「母子健康手帳」交付受付事務 <input type="checkbox"/> 「おむつ袋」交付受付事務	【低学年活動】 ◆低学年優先タイム（毎週水曜日） ◆親子クッキング（年2回） ◆ワークタイム（月2回） ◆スポーツタイム（月2回） ※年間行事：キャンプ、館内合宿等 【高学年活動】 ◆高学年優先タイム（毎週水曜日） ◆登録制クッキング（月1回） ◆子ども実行委員会企画 ◆児童館ブロック体験学習キャンプ（5年生以上） ※年間行事：ハイキング、キャンプ、館内合宿等 【全体】 ◆クリスマス活動 ◆5月子どもの日スペシャル（基幹型共催） ◆基幹型合同スポーツ大会 ◆手をつなごうこどもまつり（市内児童館合同） ◆被爆体験証言会 ◆餅つき・伝承遊び ◆スポーツタイム（月2回）、映画会（月1回） 【地域】 ◆豊田駅北口商店連合会「ハロウィン祭」 ◆育成会「三世代の集い」 ◆小学校行事、授業への協力 ◆日野市放課後子どもプラン「ひのっち」への出向（五小・六小） ◆日野ペーゴマクラブとの共催事業 ※雲柱社児童館ブロック合同行事への参加 ※保護者参加型活動を積極的に取り入れる。 ※子どもたちが企画・運営する行事を積極的に取り入れる。 ※ボランティア体験の充実	【スポーツ活動】 火曜日～金曜日：18:00～19:00 土曜日、日曜日：17:00～19:00 における体育室の開放 ◆3ON3大会（年4回） ◆卓球大会（年3回） ◆ダンス大会（講習も兼ねて）（年2回） 【文化活動】 ◆映画会（月1回） ◆クッキング ◆音楽室（スタジオ）の開放 ◆E-69（市内児童館合同ロックコンサート） 【その他】 ◆基幹型児童館との合宿（年1回） ◆あさひ福祉作業所体験学習キャンプ ◆スポーツ交流（年1回） ◆地域のボランティアリーダーとの連携（青少年育成） ※小学生活動・地域行事におけるボランティア活動の展開

施設名 たまだいら児童館ふれっしゅ

記入者 八重田 裕一郎

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・児童厚生員 2名

< 3 > 研修

- ・施設内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・所属する自治体の研修
- ・その他の研修（SDS、防犯、安全管理、救急等）

< 4 > その他

- ◇ 児童館評議委員会の開催（年2回）
- ◇ 地域行事（商店会・育成会等）への参加
- ◇ 日野市基幹型児童館の実施に伴うサービスの充実
 「日野市基幹型児童館構想」
 日野市を5つのブロックに分け、10館ある児童館を5館は基幹型、5館は地域型に分けペア館を作り、子育て環境を支援している。
 たまだいら児童館ふれっしゅは地域型に属し、基幹型の「あそびれっどあさひがおか児童館」と連携し、あさひがおか児童館ブロックの子育て・子育て支援を行っている。
- ◇ 子ども家庭支援センターとの連携・協働
- ◇ 市内各機関主催の連絡会への出席
- ◇ 利用者アンケートの実施

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

施設名 上池台児童館

記入者 秋山 幸美

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	--

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児）	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中学生を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児を持つお母さん方の悩みや不安を共有しサポートしていく。 ○子ども達の成長を共に見守り、喜ぶ。 ○親子で楽しみ、共に作り上げる参加型の活動を展開する。 ○お母さん、子どもたちがほっと過ごせる場となる。 ○保健センターなど地域の社会資源と、連携をはかる。 ○地域の乳幼児親子の交流の場となる様つなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を見つめ、他者を思いやる力を育む。 ○グループ活動、行事（自然体験）、日常活動を3本の柱として事業を展開する。 ○集団生活の中で挨拶や言葉遣いなどの社会性を身につける。 ○ひとりひとりの個性をみつけ、受け入れ、共に成長する。 ○保護者の就労支援と共に、子ども達にとって安全で安心な場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を見つめ、他者を思いやる力を育む ○グループ活動、行事（自然体験）、日常活動を3本の柱として事業を展開する。 ○集団遊びを通じて、子ども達が色々な体験の場を重ねる場となる。 ○社会性、協調性を活動の中で育む。 ○学年別グループ活動を行うことで、グループ内の所属意識を高め、積極的、自主的に活動を展開する場となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中・高生の居場所となる。 ○中・高生の自立支援の場となる。 ○人生や社会問題を考える場となる。 ○ボランティアの養成と実践の場となる。
活動の内容・行事等	<p><グループ活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちごクラス（0歳児）A/B 毎週火曜日 ・さくらんぼクラス（1歳児）A/B…毎週木曜日 ・りんごクラス（2, 3歳児）…毎週金曜日 ・こいちごクラス（0歳児低月齢）…10月より開始毎週火曜日（午後） <p><日常生活活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとルーム…環境整備に努める ・わいわいルーム <p>…3階をお母さん方、子どもたちの交流の場として開放する。</p> <p>未就園児…月、土曜日 10:00～14:00 水曜日 10:00～11:30 幼稚園児…水曜日 11:30～14:00</p> <p><その他プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館まつり ・夏休みプログラム ・わんぱく運動会（乳幼児） ・子ども服リサイクル（年2回） ・お父さんと遊ぼう ・お母さん向け講座の開催（バランスボール） ・幼稚園生プログラム（運動講座） ・ウインターパーティー（12月） ・母親向けプログラム（託児付） ・交流遠足 <p>○2013年度も引き続き、他機関との連携を深め母親講座等を、計画的に行なう。</p> <p>○地域に出て行き、地域のニーズを探る。</p> <p>○商店街おまつりの手伝い、小池親父の会まつり・小池まつり・もちつきの手伝い</p>	<p><定員> 90名</p> <p><育成時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常…下校時間～17:00 ・延長…17:00～19:00 ・学校休業日…8:30～ ・延長スポット利用 18:00～19:00 (2013年度より実施) <p><年間行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月…入室式 5月…夕食会 ・6月…個人面談 ・7, 8月…夏やすみプログラム ・10月…外出（館外活動） ・11月…個人面談 12月クリスマス会 ・1月…たこあげ ・3月…遠足 避難訓練（毎月） ・卒室式 保護者会（年4回） <p><その他プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生会・大会・工作タイム・レクリエーションタイム ・駄菓子屋さん ・お楽しみ会 ・お店屋さんごっこ ・ロッカー掃除 ・お楽しみ・リクエストおやつの実施 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お便りの発行（月1回）さくらなみき ・縦割りのグループ活動と共に、同学年横のつながりも大切にする。 ・保護者との関係、保護者同士の関係を深めるため、夕食会を行なう。 ・保護者同士の関係を深める、バーベキュー会など行う。 <p>※区の方針で手作りおやつ提供はしていない。</p>	<p><低学年活動 だいだらぼっち 1～3年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別、グループ活動 ・ハイキング、キャンプ ・ドッジボール <p><高学年活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度もひきつづきグループ活動を開始する。 ・月に4回ほど活動日を設定し、幅広い体験の場を子どもたちに提供する。 ・デイキャンプ・サマーキャンプ等の野外活動を行う。 <p><スポーツ活動></p> <p>ドッジボールフェスタ</p> <p><文化部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 手芸教室、手作り教室、お話し会 図書活動の充実、折り紙教室（民生委員による） <p><年間行事></p> <ul style="list-style-type: none"> こどもの日、児童館まつり、クリスマス、冬まつり <p>○2013年度は更に高学年活動に重点を置く。低学年から事業のつながりを持たせる。</p> <p>○児童館ならではのプログラムを企画し、子ども時代の体験の場を提供する。</p> <p>○世界の子どもたちについて学ぶ「STEP」活動は、各グループ活動の中で継続して行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年度小6の来館が多くこれを活かし中学校入学後も2013年度、さらに子どもたちとの関係を深め、中・高生とプログラムを充実する方向に向かっていきたい。 ・中高生タイムを設ける。18:00～19:00 ・2013年度プログラム バーベキュー（8月）野外活動（11月）クリスマス会（12月）慰労会（3月） ・児童館プログラムへのボランティアとしての参加を呼びかける。 ・中高生区民センター月1回中学生（20:00）高校生（21:00）

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 6名
（統括リーダー含、非正規常勤1名含）
内 児童館担当 3名
学童担当 3名

< 3 > 研修

- ・事業所内職員研修（自己啓発含む）
- ・ブロック内研修
- ・法人研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急等

< 4 > その他

- ・大田区子ども支援センター（キッズな洗足池との連携）
- ・その他機関との連携
- ・上池台すくすくネット運営委員会2回目。主要メンバー、民生委員、主任児童委員、町会長、学校・学童保護者、学校教員など、児童館に関わる方との協働ネットワーク

2013（平成25）年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

施設名 目黒区立中央町児童館

記入者 小暮 緑

児童館ブロック 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちの居場所となる児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが多くの人と出会い、遊びや行事などへの参加を通して社会力を培う児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちやその家族が抱えている問題を受け止め、共に担う児童館を目指します。 ・私たちは、世界の人たちと共に生きるための学習や異文化体験、ボランティア活動などに取り組む児童館を目指します。 ・私たちは、子どもたちが平和を愛し、差別や偏見に立ち向かう力を育む児童館を目指します。
-----------------	--

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児）	学童クラブ	小学生を対象とした活動	中学生を対象とした活動
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者が安心して過ごすことのできる児童館を目指す。 ・乳幼児と保護者が児童館を利用することで、保護者同士が繋がりを育てるようになる。 ・保護者の声に耳を傾け、悩みや不安を共有し、それに対する援助を行う。 ・子どもたちの成長を見守り、共に喜び合える場となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが仲間意識を深め、互いに認め合い、思い合える集団を作る。 ・職員と信頼関係を築き、家庭に代わる場として、安全で安心できる居場所となる。 ・職員が子どもの遊びにはいり、遊びや仲間作りのサポートを行い、子どもたちが互いに遊ぶ楽しさを知る場とする。 ・行事や生活において子どもたちの実態に合った取り組みを行う。 ・保護者と信頼関係を築き、深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な遊び場を提供する。 ・日常の遊びや、行事を通して子どもたちの成長を援助する。 ・豊かで多様な体験ができるように援助をする。 ・遊びを通して、子どもたちが仲間関係を広げられるように援助する。 ・こども達の思いを形にできるように援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能をいかした事業を展開し、中高生の思いを実現できる児童館を目指す。 ・中高生の放課後、休みの日の居場所となる。 ・中高生が興味を持って参加できる事業を展開する。 ・中高生の声をいかした事業を中高生と共に展開する。
活動の内容・行事等	<p><乳幼児クラブ> 0歳児クラス・・・火曜日 10:30～11:15 1歳児クラス・・・木曜日 10:30～11:15 2、3歳児クラス・・・金曜日 10:30～11:30 ※5月より開始 ※定員ありの登録制</p> <p><乳幼児のつどい> 毎月1回開催 (講師プログラム、父参加プログラムなど)</p> <p><ベビー活動> 0歳児クラス (H25.4.2以降生まれ) ※9月より活動開始 ※自由参加</p> <p><ワイワイルーム> 乳幼児の親子の遊び場としてプレイルームを開放 毎週日、月、水、土曜日 10:00～14:00 ※乳幼児クラブ活動期間以外は毎日行う。 ※水曜日12時からは幼稚園児優先タイム。</p> <p><夏休みプログラム> 夏休み中週1回、年齢別のプログラムを行う。</p> <p><子育て講座> 講師を招いて、食育、離乳食等の講座を行う。</p> <p><ふらっとネットワーク> 乳幼児の保護者と地域とを結び付けるために行う。 子ども家庭支援センター、主任児童委員、民生児童委員など。</p>	<p><定員> 40名</p> <p><育成時間> ・通常…下校時間～18:15 ・休校日…8:15～18:15 但し土曜日は8:30～18:00</p> <p><年間行事> ・4月…歓迎会、保護者会 ・6月…個人面談 ・7月…保護者会、父母会主催キャンプ ・7、8月…夏休みプログラム ・9月…連合スポーツ大会の向けの取り組み ・10月…ハロウィン、目黒区連合スポーツ大会 ・11月…個人面談、お楽しみ会準備 ・12月…お楽しみ会、保護者会、羽子板制作 ・1月…交流はねつき大会 ・2月…卒所に向けての取り組み ・3月…卒所式、保護者会、お別れ遠足</p> <p><その他プログラム> ・誕生会 ・手作りおやつ ・ロッカー掃除 ・外遊び 他</p> <p><その他> ・お便りの発行 (月1回) ・縦割りのグループ活動 (前期、後期で班替え)</p>	<p><低学年活動> ・スマイルクラブ…学年別グループ活動</p> <p><高学年活動> ・高学年グループ活動</p> <p><スポーツ活動> ・各種スポーツ大会 (年9回) ・設定時間 (ドッジ、めっちゃ等)</p> <p><文化部門> ・テーマ工作 (月1回) ・おはなしの時間 (月1回) ・おりがみで遊ぼう (月1回) ・エンジョイクッキング (年3回)</p> <p><障がい児対応事業> ・あそびのつどい (年12回)</p> <p><年間行事> ・こどもの日 ・平和祈念事業 ・ハロウィン ・お楽しみ会 ・児童館まつり</p> <p><その他> ・こどもスタッフ (まつりへの参加) ・世界の子どもたちに目を向ける活動 ・ランドセル来館</p>	<p><音楽スタジオ> ・スタジオの貸し出し ・コンサートの開催 (年2回) ・音楽スタジオ利用者ミーティング (月1回)</p> <p>・ワークショップ ・利用者間の交流会 ・他区との交流 (品川区イベントへの参加)</p> <p><屋外ボールコート> ・屋外ボールコートの貸し出し ・スポーツ大会 ・ワークショップ</p> <p><その他> ・スマイルカフェ (週1回) (参加者の意見を取り入れたプログラム、自主的なプログラム、児童館行事の準備) ・スポーツコンディショニング ・夕涼み会、デイキャンプなどのプログラム ・目黒区ティーンズフェスタへの協力 ・目黒区中高生紙「めぐろう」編集への協力</p>

< 2 > 職員構成

- ・館長 1名
- ・統括リーダー 1名
- ・児童厚生員 8名
(統括リーダー含、非正規常勤3名含)
内 児童館担当 6名
学童担当 2名

< 3 > 研修

- ・事業所内研修
- ・児童館ブロック研修
- ・法人研修
- ・その他の研修
防犯、安全管理、救急等

< 4 > その他

- ・目黒区関係機関との連携

児童館
ブロック

中央町
(委託)

2013(平成25)年度 雲柱社 児童館ブロック事業計画

<p>私たちは所属する各自治体の方針を尊重し、子どもたち、保護者、地域の方々と力を合わせて、楽しく充実した学童クラブ活動を展開していくために、次のような目標を掲げて事業に取り組みます。</p>	
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、放課後の子どもたちにとって居場所となる学童クラブを目指します。 ・私たちは、危機管理を十全にして、安心と安全が保障された学童クラブを目指します。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子どもたちが多様な体験を通して、生きる力を育むことが出来る学童クラブを目指します。 ・私たちは、子どもたちが、それぞれの個性と能力を発揮できる学童クラブを目指します。 ・私たちは、自由と規律を大切にす学童クラブを目指します。 ・私たちは、保護者のニーズ（就労支援、子育て不安など）に応える学童クラブを目指します。 ・私たちは、地域との交流を深め、地域の人たちから愛され支えられる学童クラブを目指します。

< 1 > 事業計画

	子育て支援活動（乳幼児・親）	学童クラブ
活動目標	<p>子育て中の親同士の交流、仲間作りの場として、学童クラブ室の午前中の児童のいない時間帯を「にこにこ」と名付け開放する。</p>	<p>*家庭に代わり安全で安心して過ごせる居場所となる。 *友達との交流 遊び、集団での活動を通し、社会性を育てていく。 *いろいろな活動に取り組み生活経験を豊かにしていく。 *保護者が安心して働けるような対応をしていく。</p>
活動内容・行事等	<p>開催日：毎週月、火、木、金 時間：午前10時～12時</p> <p>基本的には自由利用であるが、曜日や時間帯を決めて職員主導の簡単なプログラム（体操や読み聞かせ）などを行う。</p> <p>※月に一度、プログラムを実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦粉ねんど ・水あそび ・新聞遊び ・フィンガーペインティング ・クリスマス会 ・豆まき ・子ども家庭支援センターの職員による「スポット」など 	<p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子プログラム（5月） 夏のお出かけ（8月） ハロウィンパーティー（10月） おたのしみ会（12月） 正月遊び（1月） 節分遊び（2月） お別れ遠足（3月） <p>定例活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 誕生会・学年タイム おやつ作り・だがしやさん 各種検定や大会 おやつ作り <p>クラブ便り： 毎月発行</p> <p>保護者会： 年4回</p> <p>個人面談：6月と10月</p> <p>ひろば、高松地区区民館学童クラブとの交流</p>

児童館名 高松小学童クラブ
記入者 青木 郁夫

< 2 > 職員構成

- ・ 主事 1名
- ・ 児童指導員 2名
- ・ 非常勤職員 5名

< 3 > 研修

- ・ 施設内研修
- ・ 児童館ブロック研修
- ・ 法人研修
- ・ 所属する自治体の研修
- ・ その他の研修

< 4 > その他

* 定員 40名

練馬区では区立民営学童クラブの場合、定員を超えて60人までは弾力的に受け入れていく。

障がい児の受け入れは最大3名まで。(区立民営学童クラブの場合)

2013（平成25）年度 事業計画

施設名：江東区東陽子ども家庭支援センター

記入者 早川貴美子

事業目標	<p>子ども家庭支援センターブロック事業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実を立て、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目ざします。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 	ネットワークと機関連携	<p>1 関係機関や地域住民との積極的な地域ネットワークづくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健相談所、福祉事務所、女性 DV 相談所、助産師会などとの連携 ・地域懇談会への参加（児童館・保健相談所など） ・運営協議会 ・子育て支援地域情報連絡会への参加を通して、子育て支援活動団体との連携を広げていく <p>2 要保護児童対策地域協議会実務者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深川保健相談所 ・深川南部保健相談所 <p>3 区内の雲柱社各施設との協力・連携</p>
方針と展開	<p>1 ひろば活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児、1歳児の来所率が70%を占めているひろばで、特に0歳児前期の来所率が年々増加している。親の真のニーズをひろばでの親との会話から聞き取る力をスタッフ一人一人がつけていく。 ・新規来所者への登録説明、ひろばに馴染むまでの親への寄り添いを丁寧に行ない、出会いの大切な機会としてとらえて対応していく。 ・成長発達に心配を持ちながら過ごしている母子に寄り添い、子どもの発達上の配慮を要するこどもの特性を理解し、成長発達を促すようなかわりが出来るように支援をしていく。 <p>2 リフレッシュひと時保育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度仮設センターにおいて、ひろば保育で得た経験、ひろばとの交流のメリットを生かし、ひろばとひと時保育の連携を深めていく。 ・保健相談所、療育機関、南砂子ども家庭支援センターからの紹介で、虐待、養育困難家庭のケースが多くなっている。子どもにとって人との関わりや遊びを通して心豊かな時間を過ごすことは、母子の関係性の改善に大いに期待できる。スタッフ全員が共通理解を持ち、対応していく。 <p>3 相談活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族相談の相談員とスタッフ全員のケースカンファレンス（隔月）の開催 ・子ども虐待防止センター評議員、龍野先生のスーパーバイズによるケース検討会の開催 ・月曜日のお母さんの相談室の利用を積極的に PR していく。 <p>4 出張ひろばの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深川スポーツセンターの出張ひろばの他、枝川潮見地域を対象にした出張ひろばを開始する。（当初は月1回） 	環境整備	<p>1 乳幼児が遊びを十分に楽しみ、親子が安心して過ごせる環境を創る。</p> <p>2 改装された区民館での事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設14年を経て備品遊具等は汚れも目立ち衛生安全面を考慮して買い替えを計画。 <p>3 絵本、貸出図書の充実</p> <p>4 区や法人の規程で定められた保管年数ごとの書類の整理を行う。（1F 区倉庫）</p>
事業内容	<p>1 ひろば事業（遊びふれあいのひろば）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子が自由に集い、ゆったりとした雰囲気の中で安心して過ごし、様々な人と出会う中で交流を深め繋がりを広げていく。子どもたちを共に育て合う仲間作り。子どもが存分に遊びを楽しみ、大人や子ども同士のかかわりを楽しむ。 (1) 親子で遊ぼう (2) おはなし会 (3) すこやかマンデー(障がいがある子どもと親の遊びと交流のひろば)月2回開催 (4) 母の輪タイム(母親の特技を生かし講師としてプログラムを企画) (5) 誕生会 (6) 季節の行事 (7) 3歳児の集い (8) おもちゃ病院 (9) みずべ喫茶 <p>2 体験学習事業（学び合いのひろば）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親同士が互いに学び合い、交流を深めていく (1) 母親講座（わらべ歌遊び・自然と遊ぼう） (2) 父親講座 (3) 助産師講座（ベビーマッサージ・ゆる体操・おっぱいケア） <p>3 相談事業（支え合いのひろば）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ひろばふれあい相談 (2) 電話相談 (3) 面接相談 (4) 専門相談（グループ懇談会・家族相談・発達相談） <p>4 子どもの成長を共に喜び合う（育て合いのひろば）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 誕生日会 (2) ふたごちゃんの集い (3) すくすく成長記録（身体測定をしながらと共に成長の喜びを記録） (4) 入園おめでとうの会 <p>5 情報提供事業（分かち合いのひろば）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) センターだより「東陽みずべかわらばん」毎月発行 (2) 地域情報掲示板 (3) 地域情報ファイル (4) リサイクル掲示板 (5) 子育て情報ポータルサイト <p>6 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 子ども家庭支援士養成講座（基礎講座・スキルアップⅠ・スキルアップⅡ） (2) こども家庭相談研修（区内の保育・児童館関係機関を対象に子どもと家庭にかかわる問題を考える） <p>7 自主活動</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) みずべ会議（利用者とボランティアと職員3者によってより良いひろばを考え合う） (2) ケーキサークル (3) リサイクルバザー <p>8 リフレッシュひと時保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6か月から3歳児のひと時保育（1～3時間） <p>9 出張ひろば</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 深川スポーツセンター（月2回） (2) 枝川区民館（月1回） 	職員構成	<p>常勤（正規） 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設長 1名 ○子ども家庭支援ワーカー 2名 ○地域支援ワーカー 1名 ○保育支援ワーカー 2名 <p>非常勤 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども家庭支援ワーカー 2名 ○保育支援ワーカー 1名 <p>専門相談員 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心理 ○家族問題 ○発達 <p>スーパーバイザー 2名</p>
		主な研修	<p>1. 法人内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 <p>2. 外部研修</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 東京都福祉局主催研修 (2) 母子保健研修 (3) 認可外保育施設テーマ別研修 (4) 東京都子ども家庭支援センター研修 (5) 東京都精神福祉保健センター研修 (6) 子どもの虐待防止センター研修 <p>3 職場内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ケース検討会 (2) 聖書勉強会

支援センターブロック

東陽（指定管理）

2013（平成25）年度 事業計画書

施設名： 江東区大島子ども家庭支援センター

記入者 篠原 喜美

事業目標	<p>子ども家庭支援センターブロック事業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実を立て、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 	ネットワークと機関連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 関係機関や地域住民との積極的なネットワーク作りの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・江東区要保護児童対策地域協議会実務者会議への出席 ・運営協議会開催 ・江東地区連絡協議会への出席 ・区立幼稚園評議委員会への出席 ・江東区要保護児童対策地域協議会代表者会議への出席 ・児童館との地域連絡会への出席 2 相談ケースに応じた関係者会議への出席 3 区内の雲柱社各施設との協力・連携
方針と展開	<ol style="list-style-type: none"> 1 ひろば活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・来所する親子を温かく迎え入れ、親同士、子ども同士の繋がりが豊かになっていくよう、丁寧な関わりを心がけ信頼関係を築いていく。 ・親と子どもの最大の理解者であり、身近な話し相手、遊び相手となるよう努め、親子が安心した気持ちで過ごすことができるよう配慮する。 ・みずべ会議やアンケート調査などで出された意見や日常の会話からも利用者のニーズを捉え、ひろばの環境づくりやプログラム内容の検討を図る。 2 相談活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや親自身、また家族について気兼ねなく相談できる場を提供する。 ・親自身の悩みに寄り添い、持っている力を信じ、親自身の意思決定を尊重する。 ・専門相談員とのケースカンファレンスやひろばのケース検討会を定期的に行い、具体的な対応や支援の方向性を共に考えていく。 ・個人情報の保護や情報管理、守秘義務を徹底する。 ・虐待環境にあるケースに対しては、迅速に南砂子ども家庭支援センターと連携を図り、関係機関とも必要に応じて連携していく。 3 地域のボランティアとの協働 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと家族に優しい街づくりを目指し、誰もが初めてでも来所しやすい、安心なひろばづくりを目指す。 ・親子の成長を見守る環境づくりに取り組むためにも、世代を超えた地域ボランティアが活躍できる機会をつくり、積極的に地域交流を図る。 ・地域の子育て支援活動を行っている団体等と連携して、地域に出向き支援活動を行っていく。 ・支えあい・育てあいを大切に、ひろば活動と関わりながらリフレッシュひととき保育を行う。 	環境整備	<ol style="list-style-type: none"> 1 大型改修工事に伴い、2012年12月から2013年6月まで敷地内の仮設で事業を行う 2 移設時の引っ越し準備、改修後の新施設での活動の準備を行う 3 乳幼児期の子どもの興味や関心を大切にしながら安心・安全で過ごせるよう配慮し、親子の居場所となるよう温かい雰囲気づくりを心がける。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 閉塞感がなく活動しやすい環境作り (2) 清潔で安全なひろば作り (3) 絵本・遊具・図書・情報資料の充実 (4) 安全管理・安全対策の徹底 (5) 防犯カメラの設置により、利用者の安全を図る
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ひろば事業（遊びふれあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) みんなで遊ぼう (2) ハローみずべ (3) おはなし会 (4) 水遊び (5) 手型・足型 (6) フレンズクラブ (7) すこやかマンデー【新規】 (8) 季節の行事（夏のおはなし会、クリスマスおはなし会、夏まつり） 2 体験学習事業（学びあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) 母親講座 (2) 父親講座 (3) グループ懇談会 (4) ベビーマッサージ (5) プレママ&プレパパ講座 (6) 避難訓練 (7) 防犯訓練 3 子育て相談事業（支えあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) ひろばふれあい相談 (2) 電話相談 (3) 面接相談 (4) 専門相談（家族問題・心理・発達） (5) 助産師による個別相談 (6) 助産師によるグループ懇談 4 こどもの成長を共に喜び合う（育てあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) 誕生日会 (2) すこやか成長記録 (3) ふたごちゃんのつどい (4) 入園おめでとうのつどい 5 情報提供事業（分かちあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) センターだより「大島みずべ かわらばん」毎月発行 (2) 子育て情報ポータルサイト (3) 交流掲示板 (4) みずべ雑記帳 (5) リサイクル掲示板 (6) 地域情報掲示板 6 ネットワーク・人材育成事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営協議会開催 (2) みずべボランティア（小学生・中学生） (3) 子育てボランティア受け入れ 7 自主活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) みずべ会議 (2) おもちゃ病院 (3) ボディケア (4) 手作りサークル (5) かんたん手作り (6) ハンドトリートメント 8 リフレッシュひととき保育事業 <p>生後6か月から3歳児までのひととき保育（3時間まで、定員4名）</p> 9 地域活動事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 出張ひろば（亀戸7丁目青少年センター・亀戸9丁目スポーツセンター） (2) プレイパークプチ（アソビバ江東 猿江公園）【新規】 (3) ふれあいまつり（東大島文化センター） 	職員構成	<p>常勤（正規） 4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設長 1名 ○子ども家庭支援ワーカー（リーダー） 1名 ○子ども家庭支援ワーカー兼地域支援ワーカー 1名 ○保育支援ワーカー 1名 <p>非常勤 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども家庭支援ワーカー 1名 ○子ども家庭支援ワーカー兼保育支援ワーカー 1名 <p>専門相談員 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心理 ○家族問題 ○発達 <p>スーパーバイザー 2名</p>
		主な研修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 2. 外部研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 東京都主催研修各種 (2) 東京都精神福祉保健センター各種 (3) 東京都社会福祉協議会 (4) 子育てセンター実践研究会実践交流セミナー (5) 子どもの虐待防止センター主催研修会 (6) こころの健康財団精神保健講座 (7) つどいのひろば全国連絡協議会主催研修 3. 職場内研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 聖書勉強会 (2) ケース検討会 (3) スーパーバイザーによるひろば勉強会

支援センターブロック

大島（指定管理）

2013（平成25）年度 事業計画書

施設名： 江東区深川北子ども家庭支援センター
 記入者 佐藤 貴子

事業目標	子ども家庭支援センターブロック事業目標 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実を立て、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。	ネットワークと機関連携	1 運営協議会 年度の活動報告。センターの働きを共有化。 2 地域情報交換会（年2回程開催） ・子ども家庭支援に関係する機関や地域住民との積極的な地域ネットワークづくりを推進する。 ・児童相談所・保健所・福祉事務所・助産師会・児童館・公私立保育園・幼稚園・小・中学校・深川学童クラブとの連携 ・民生児童委員・児童館との地域連絡会の参加 3 相談ケースに応じた関係者会議の開催及び出席 4 要保護児童対策地域協議会 5 区内の雲住社各施設との協力・連携
方針と展開	1 ひろば活動の充実 ・ プレママ・パパのプログラムの充実をはかり、周産期からのサポートを助産師・保健師・先輩利用者の力を借りて積極的に行う。 ・ 親子と出会った時、相手の心にふれることが、関わりの出発点であり個々の利用者が何を求めてここにいるのかを考え、きめ細かい対応を心がける。 ・ 母親、父親のもっている知識、特技、趣味などを、ひろばで発揮できる機会を作り、利用者の生き生きとした活動をサポートしていく。 ・ 親同士の繋がりが豊かになるよう、特に新規利用者や一人で来ている人へのサポートを心がける。先輩の利用者の協力を得ながら次の来所へと繋げる。 ・ みずべ会議やアンケート調査等の充実を図るとともに、日常の会話の中からも利用者のニーズをとらえ、ひろばの環境づくりやプログラムの内容等について、利用者、ボランティアと共に検討、実現できるようにしていく。 ・ 地域の保健相談所・助産師・児童館・保育園などの協力を得て、センターの広報活動を活発にし、利用促進を図る。 2 相談活動の充実 ・ 気軽に子どもや家庭について相談ができる場を提供し、安心した中での子育てと子どもの育ちの支援を図る。 ・ 親自身の力を信じ、その判断を尊重し隣に寄り添う姿勢をもつ。 ・ スタッフミーティングにより、個々の家族が抱える問題の整理と支援の方向性を共有する。龍野先生のスーパーバイズ（ケース会議）を年4回行ない支援に生かす。 ・ 専門相談員とのケースカンファレンスを通し問題を見極め、支援の方向性を探る。 ・ 虐待が疑われる相談については、南砂子ども家庭支援センターと連携し、訪問・関係機関への聞き取り、必要な関係者会議を行い、養育困難な家庭を地域で支えていく。 3 ボランティアとの協働 ・ 子どもと家庭に温かい街づくりを目指し、地域ボランティアと協働し広く地域に周知してもらい開かれたひろばをつくっていく。 ・ 保育専門学校や地域の小学・中学・高校等にセンターの活動を伝え、ボランティア募集を積極的に行う。 ・ 実習生を受け入れ、若い世代が子どもと家庭の現状を理解し、今後の学びや働きに繋がっていただけるように支援する。 ・ 利用者同士、ボランティア同士の繋がりを構築し、自発的な活動へ展開していただけるようにサポートしていく（ままちよこタイム「自主活動」の充実） ・ 安心・安全・支え合い・育てあいを大切に、ひろば活動と関わりながらリフレッシュひととき保育を行っていく。	環境整備	1 乳幼児期の子どもが十分に遊びを楽しみ、親子が安心して過ごせるような環境づくりを心がける (1) 利用者・ボランティアの参加による環境・手作り玩具の整備 (2) 清潔で安全なひろば (3) 遊具・環境整備を定期的に行う (4) 親や子どもにとってホッとできる居場所となり、人との繋がりがつくれるように配慮していく 2 絵本・遊具・図書・情報資料の充実を図る (1) 絵本紹介 (2) 新しい情報（区内関係機関情報等） 3 室内だけでなく、戸外遊びの提供・推進 4 室温管理に注意する 5 室内の装飾等は家庭的な穏やかで温かい雰囲気大切に 6 駐輪場やセンターの外周りの清掃、優しい環境づくりを心がける 7 防犯カメラの設置により、利用者の安全を図る
事業内容	1 ひろば事業（遊びふれあいのひろば） (1) おはなし会 (2) あおぞらひろば（年3回神愛保育園と合同） (3) パパとあそぼう（室内あそび・戸外遊び） (4) 野外喫茶【新規】 (5) すこやかマンデー (6) えいごであそぼう (7) あそびワーク（季節の行事・日本文化の伝承） (8) 喫茶 (9) <u>プレママパパ対象プログラム（定期的な講座を行う【新規】・ファミリーデー）</u> 2 体験学習事業（学びあいのひろば） (1) 父親・母親講座 1) 応急手当年2回 2) 自然と遊ぼう（年3回） 3) 子育て講座（柴田愛子さん・ガムラン演奏会） 4) 看護師さんと話そう 5) 栄養士さんと話そう (2) 講習会 1) ベビーマッサージ年11回（パパベビマ・ママベビマ） 2) ハンドトリートメント 3) おもちや病院 年3回 3 相談事業（支えあいのひろば） (1) ふれあい相談 (2) 電話相談 (3) 面接相談 (4) 専門相談（心理・家族問題） (5) グループ懇談（NP 前期・後期 全12回） (6) 助産師相談（年11回） 4 こどもの成長を共に喜び合う（育て合いのひろば） (1) 誕生日会 (2) すこやか成長記録（身体測定） (3) 入園入学を祝う会 (4) ふたごちゃんの集い（年3回） (5) 地球へようこそカードプレゼント 5 情報提供事業（わかちあいのひろば） (1) センターだより「深川北みずべ かわらばん」毎月発行 (2) 外掲示版による地域に向けての子育て情報発信 (3) 子育て関連・地域・リサイクル情報 (4) <u>地域子育てポータルサイト【新規】</u> (5) ホームページでの情報発信・メールでの問い合わせ受付 (6) みずべレシビ集（離乳食・子どものおやつなど） (7) 地域情報交換ノート (8) つぶやきノート（子育て交換ノート） (8) <u>プレママパパ対象 案内チラシ【新規】</u> 6 人材育成事業 (1) ボランティア育成 (2) 自主グループへの支援・協力 (3) ボランティア会議（年2回） (4) 深川北学童クラブとの交流（にこにこひろば・あきまつり・小学生ボランティア） 7 自主活動 (1) みずべ会議（利用者ボランティアを含めた自主企画運営会議） (2) ケーキサークル（年間6回） (3) ファミリーデー (4) クリスマスのつどい (5) ままちよこタイム（利用者の特技をいかしたスポットのプログラム） (6) こども服・マタニティグッズリサイクルバザー（年2回） (7) なんでもエプロン（利用者がボランティアをするときのエプロン） 8 リフレッシュひととき保育事業 ○ボランティアの協力を得て、理由の如何にかかわらず、安心して子どもを預け、母親自身の時間をつくれるようサポートする。 9 出張ひろば ○センターまで来ることの出来ない小さいお子さんのいる方、対人関係が苦手な方などを対象に、近くて集まりやすい場所にひろばを開く。地域のボランティアさんと協力し、月2回程行う。 (1) 深川北スポーツセンター (2) <u>毛利地区集会所【新規】</u>	職員構成	常勤（正規）4名 ○施設長 1名 ○子ども家庭支援ワーカー リーダー 1名 ○子ども家庭支援ワーカー兼地域支援ワーカー 1名 ○保育支援ワーカー 1名 非常勤 1名 ○子ども家庭支援ワーカー 1名 専門相談員（月1回） 3名 ○心理 ○家族問題 ○発達 スーパーバイザー 2名 主な研修 1. 法人内研修 (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 2. 外部研修 (1) 子どもの虐待防止センター主催研修会 (2) 子ども家庭相談研修 (3) 東京都 母子保健研修 (4) 認可外保育施設テーマ別研修 (5) 東京都子ども家庭支援センター研修各種 3. 職場内研修 (1) ケース検討会 (2) 聖書勉強会

支援センターブロック
 深川北（指定管理）

2013（平成 25）年度 事業計画書

施設名： 江東区南砂子ども家庭支援センター

記入者 依田 幸子

事業目標	<p>子ども家庭支援センターブロック事業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、地域の子どものとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実によって、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どものとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どものとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性に基つき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 	ネットワークと機関連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 運営協議会（年1回） 2 要保護児童対策地域協議会・実務者部会の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースの情報を共有し、より良い支援に繋げる 3 関係機関との連携（顔の見える連携） <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援課要保護支援担当・墨田児童相談所・保健相談所・福祉事務所・在宅サービス提供機関・小中高校・児童館・学童クラブ・江東きずなクラブ・発達支援センター・保育所・幼稚園・民生委員・主任児童委員・医療機関・警察署等 4 家庭訪問型子育て支援事業（民間）との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・家族支援を強化し虐待の予防に努める 5 区内の雲柱社各施設との協力・連携
方針と展開	<ol style="list-style-type: none"> 1 ひろば活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の来所者が何を求めてここにいるのかを考え、きめ細かい対応を心がける。 ・親子の良い出会いと交流の場として、スタッフや地域の人たちが、親子を温かく迎え入れ、親子・家族・社会の交わりを作り出せるよう支援する。 ・父親の育児参加をすすめ（イクメン・サミット）、育児への理解を深めると共に、地域子育て熟年（シルバー）ボランティアの、ひろばへの積極的な参加を呼びかけ、子どもと家族に優しい街づくりを目指す。 ・地区集会所等で出張ひろばを展開し、センターまで遠くに来ることのできない家族とのつながりをつくっていく。 2 相談活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てや親自身のこと、家族が抱える問題等を安心して話せる場を提供し、子どもと家族を支援する。 ・親自身の考えや決断を尊重し、自信を持って子育てを楽しめるよう支援する。 ・対応に苦慮する相談に関しては、スーパービジョンを受けることで、親子への理解を深め、具体的な対応や支援の方向性を共有していく。 ・保健師・助産師等と情報を共有し、周産期からのサポートを積極的に行う。 ・相談員による専門相談を活かし、育児をサポートする。 3 ボランティアとの協働 <ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れ、地域の小学・中学・高校等にセンターの活動を伝え、ボランティア活動の場を提供し、子どもと家族は勿論、障がい者・高齢者に温かい街づくりを目指す。 ・ボランティア同士の繋がりを強め、自発的な活動へと展開できるようサポートする。 4 児童虐待防止機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会において、関係機関と日常的に「顔の見える」連携のもと、子どもの人権を守り、虐待対応に努める。 ・子どもや保護者の心理的側面からのケアに努め、個別ケースへの支援の充実を図る。 ・児童家庭支援士・育児支援ヘルパー等による、養育困難な家庭と子どもに対する具体的な支援を行い、子どもの自律を助ける。 	環境整備	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児期の子どもの興味や関心を大切にし、親子が安心して過ごせる環境を工夫する <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭的で落ち着いた雰囲気作り (2) 親同士の交流を楽しめる場の設定 (3) 手作りおもちゃで人の温もりを感じる (4) 情報資料・図書の充実 (5) 清潔で明るく、安全なひろば 2 園庭の整備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安全に配慮し、緑化環境の工夫 (2) 夏は緑のカーテンで西日を防ぐ (3) 排水溝の定期清掃 3 防犯カメラの設置により、利用者の安全を図る
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ひろば事業（遊びふれあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) おはなし会 (2) 水遊び (3) すこやかマンデー (4) めだかクラブ (5) 季節の行事（こどもの日・クリスマス会・うたい隊コンサート・特別おはなし会） 2 体験学習事業（学びあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) 父親・母親講座 <ol style="list-style-type: none"> 1) 自然と遊ぼう 2) 離乳食作り 3) 助産師元気講座 4) 応急手当 5) 自衛消防訓練 6) ベビーマッサージ 7) おもちゃ病院 (2) 地域子育て熟年講座（シルバーボランティア育成講座） 3 相談事業（支えあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) ふれあい子育て相談 (2) 電話相談 (3) 面接相談 (4) 専門相談（心理・家族問題・発達） (5) 助産師健康相談（個別・グループ） 4 子どもの成長を共に喜び合う（育てあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) 誕生日会 (2) すくすく成長記録 (3) ふたごちゃんの集い (4) 入園を祝う会 5 情報提供事業（分かちあいのひろば） <ol style="list-style-type: none"> (1) センターだより「南砂みずべ かわらばん」毎月発行 (2) 子育て情報ポータルサイト (3) 子育て・地域・リサイクル情報 6 人材育成事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 研修・講習の開催（ボランティア育成） (2) 実習・体験学習の受け入れ (3) 自主グループへの支援・協力 7 自主活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) みずべ会議（利用者・ボランティア・スタッフ三者による企画運営会議） (2) 自主グループ活動（うたい隊・ママズコットン・絵本・イクメンサミット） 8 リフレッシュひととき保育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの協力を得て、生後6ヶ月～3歳児までの一時預かり事業 9 地域活動事業 <ul style="list-style-type: none"> ・出張ひろば（亀高地区集会所 月2回） 10 児童虐待ホットライン <ul style="list-style-type: none"> ・区の虐待通告窓口として、子育て支援課要保護支援担当とともに、訪問、面接、墨田児童相談所および地域の関係機関と連携して児童虐待防止に努める 	職員構成	<p>常勤（正規）9名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設長 1名 ○子ども家庭支援ワーカー リーダー 1名 ○子ども家庭支援ワーカー 2名（うち地域支援ワーカー兼務1名） ○保育支援ワーカー 1名 ○虐待対策ワーカー 4名 <p>非常勤 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども家庭支援ワーカー 3名 ○保育支援ワーカー 2名 ○虐待対策心理職 1名 <p>専門相談員 4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心理 ○家族 ○発達 ○虐待
		主な研修	<ol style="list-style-type: none"> 1 法人内研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 2 外部研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの虐待防止センター主催研修 (2) 東京都精神福祉保健センター主催研修 (3) こころの健康財団精神保健講座 (4) ウイメンズプラザ主催研修 (5) 子育てセンター実践研究会セミナー等 3 職場内研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) ケース検討会 (2) 聖書勉強会

支援センターブロック

南砂（指定管理）

2013（平成25）年度 事業計画書

施設名：練馬区立光が丘子ども家庭支援センター
 記入者 高橋真理子

事業目標	子ども家庭支援センターブロック事業目標 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実によって、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性にに基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。	ネットワークと機関連携	1 光が丘地域ネットワークへの参加 2 光が丘地区主任児童委員定例会議への出席 3 地域子育て支援団体への支援による連携(前掲) 4 子育ての輪への参加(光が丘地域公立保育園が核となった光が丘地区の子育てフェスティバル。児童館・保健相談所等も参加) 5 練馬区子育て支援者ネットワークの構築 6 区内の雲柱社各施設との協力・連携
方針と展開	1. ひろば活動の充実 ・ひろば活動において親子との丁寧なかかわりの中で信頼関係を築き、ひろばが、子ども達が自由に遊びかかわり合う場として、また親同士の良い出会いと交流の場として、つながりが豊かになっていくように配慮、サポートを心掛ける。 ・特に新規来所者や一人で来ている人に対しては、丁寧なサポートを心がけ、次の来所に繋がるように努めていく。 ・母親、父親のもっている知識、特技、趣味などをひろばで発揮できる機会を作り、親達の生き生きした活動をサポートしていく。 2. 相談活動の充実 ・子どもや親自身、また家族について、安心して話せる場、相談できる場を提供する。 ・親自身の持っている力を信頼し、その判断を尊重し隣に寄り添う姿勢をもつ。 ・スタッフ間での情報共有・連携を常に心がけ、方向性をもった支援をしていく。 ・スーパーバイザーとの隔月のケース会議で、問題を見極め、支援の方向性を探る。 ・ケースに応じ、練馬子ども家庭支援センターと連携し、情報提供など、積極的に協力していく。 3. 一時預かり、トワイライト事業の活動充実 ・一時預かり、トワイライトステイは法人内の保育園、学童、また他区での活動を学びながら、より良い保育のあり方を探っていく。 ・ひろばでの相談から一時預かりへ繋がっている親子については、サポートや配慮を丁寧にし、親子にとって良い場所となるようにする。 ・トワイライトステイは、子どもにとって長時間(保育園・学童に続いて)の保育となるので、楽しく過ごせると共に、子ども達の健康や気持ちへの配慮を心がけ、常にスタッフ間で子どもの様子を共有して親子への支援をしていく。 4. 各種講座内容等の充実 ・相談の内容などから利用者のニーズを捉えると同時に、センターからのメッセージを伝える場とし、講座内容を構成する。 5. 地域の子育て活動とボランティアとの協働 ・地域の様々な活動団体との協働をすすめ、広く地域に開かれたひろばを目指していく。 ・子育てボランティア養成講座を実施し育成を図る。子ども家庭支援センター主催事業、ぴよぴよの講座、ひろばへの参加など、活動の場を提供していく。	環境整備	1. 乳幼児期の子どもが十分に遊びを楽しみ、親子が安心してくつろげる居場所となる環境作りを心掛ける ・清潔で安全なひろば（乳児の利用が多い為、年齢構成に配慮した環境） ・木や布の素材、手作りの遊具を多く取り入れ、子どもはもちろん、親にとっても心地よくあたたかなひろばとできるようにする。 ・遊具の水ぶき、洗い、洗濯を行い清潔を保つ。 2. 室内の装飾等は家庭的な穏やかで温かい雰囲気大切に 3. トワイライトステイでは小学生の利用もあるので、小学生が楽しんで過ごすことの出来る環境作りにも配慮する。
事業内容	1. ひろば事業（遊びふれあいのひろば） 日・水除く毎日 10:00～16:00 (1)親子で遊ぼう (2)月曜日ひろば(通称:月びよ)・・・大きい子(2,3歳児)向けに会議室を開放 (3)すぼっとタイム(おはなし会・ふれあい遊び) (4)ちくちく倶楽部 (5)カブラであそぼう (6)ベビーマッサージ 2. 体験学習事業(学びあいのひろば) (1)看護師さんの健康講座 (2)栄養士さんの栄養講座 (3)地域小児科医による健康講座 (4)ココの会(保護者のグループワーク:4回連続・・・言葉、トイレトレーニング、食事等テーマを決め同じ年齢の子ども達の保護者が集まり話し合う) 3. 相談事業(支えあいのひろば) (1)電話相談 (2)面接相談 (3)子どもと母親のグループミーティング(精神保健福祉士) (4)個別ケースにおける関係機関との連携(ケースマネジメント) (5)グループ懇談(ノーバディズパーフェクト) 4. 子どもの成長を喜びあう(育てあいのひろば) (1)誕生会 (2)誕生月の手型とり (3)身体計測 5. 情報提供事業(わかちあいのひろば) (1)かわらばん「光が丘ぴよぴよ」毎月発行 (2)ホームページでの情報発信 (3)子育て関連・地域情報、チラシ配布 (4)リサイクル掲示板「あげます・ください」 6. 乳幼児の一時預かり ・毎週日曜日、水曜日 6ヶ月から就学前まで/ 10:00～16:00(1コマ3時間)/ 定員12名(時間単位) 7. トワイライトステイ【変更】 ・年末年始、日祝を除く毎日/ 2歳から12歳まで/ 17:00～22:00/ 定員10名 ※2013年度より日曜・祝日の実施はなくなる。 8. 児童虐待の防止に関する事業 ・通報の受付と練馬子ども家庭支援センターとのすみやかな連携 ・光が丘地域ネットワークへの参加(要保護児童対策地域協議会地域部会) 9. 練馬区ファミリー・サポート・センター事業の窓口 ・地域における、主に利用会員からの問い合わせと事務的な窓口。	職員構成	常勤(正規) 6名 ○施設長 1名 ○子ども家庭支援ワーカー 5名 ひろば担当1名・一時預かり保育担当2名 トワイライト担当1名・相談担当1名 (内2名はリーダー) 非常勤 14名 スーパーバイザー 1名 主な研修 1. 法人内研修 (1)階層別研修 (2)テーマ別研修 (3)ブロック別研修 2. 外部研修 (1)東京都子ども家庭支援センター研修 (2)子どもの虐待防止センター主催研修会 (3)東京都主催研修各種 (4)東京都精神福祉保健センター研修 (5)子育てセンター実践研究会実践交流セミナー (6)こころの健康財団精神保健講座 3. 職場内研修 (1)ケース検討会

支援センターブロック

光が丘(指定管理)

2013（平成25）年度 事業計画書

施設名： 練馬区立大泉子ども家庭支援センター
 記入者 新澤拓治

事業目標	子ども家庭支援センターブロック事業目標 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実に立って、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性にに基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。	ネットワークと機関連携	1. 大泉地域ネットワークへの参加 2. 大泉地区主任児童委員定例会議への出席 3. 地域子育て支援団体への支援による連携 4. 子育ての輪への参加 ・石神井地域公立保育園が核となった石神井・大泉地区の子育てフェスティバル 児童館・保健相談所等も参加 5. 練馬区子育て支援者ネットワークの構築 6. 練馬区施設管理担当所管（管理係）との緊密な連携と情報交換 7. 区内の雲柱社各施設との協力・連携
方針と展開	1.信頼関係を土台とした自己発揮出来る施設へ ・民営化4年目の運営に入るが、地域との信頼関係を築くこと、積み上げることを過去3年間段階を踏んで取り組んできた。 ・当初よりねらいとしている、利用者の自己発揮について、土台が出来てきているので、企画プログラムのみならず、日常的な場面から意識して働きかけていく。 2.相談活動の深まりと重層的な対応、信頼感の高い相談窓口 ・年々区の児童福祉担当と協働でケースワークする事案も増えてきた。より一層の充実と信頼感の向上を目指していく。 (1) スタッフ間でのケース検討を日常的に行い、情報を共有し、方向性をもった支援をしていく。 (2) スーパーバイザーから定期的にサポートを受ける（毎月 藤尾静江先生（支援者のための研究室 悠 代表 保健師・精神保健福祉士） (3) ケースに応じ、練馬区児童福祉担当（石神井）と連携し、訪問や機関への同行、調査、情報提供など、積極的に協力していく。 (4) 特に虐待ケースに関しては練馬区児童福祉担当（石神井）との迅速で密な連携を強化する。 3.一時預かり、トワイライト事業の安定化と質の向上 (1) 一時預かり、トワイライトステイは法人内の今までの保育、学童等のノウハウを継承、向上し、質の高い事業としていく。 (2) 事業4年目という事も慣れが生じてくる事が予想され、アレルギー児への対応等、再度見直しを図り安心・安全の向上を目指す。 4.地域福祉の展開 ・2013年度は特に、ボランティアの受入、育成についての取り組みに重点を置き実施していく。【新規】	環境整備	1. 乳幼児期の子どもが十分に遊びを楽しみ、親子が安心してくつろげる居場所となる環境作りを心掛ける (1) 異年齢が同居する点に配慮する (2) 古くなった遊具等の更新 (3) おもちゃ等を消毒し清潔を保つ 2. 区の指導により、建物保全のチェックを定期で行う
事業内容	1. 子どもと家庭の総合相談事業 (1) 電話相談 (2) 面接相談 (3) 子どもと母親のグループミーティング（名称：ハーフタイム） (4) 個別ケースにおける関係機関との連携（ケースマネジメントを中心に） 2. 子育て啓発事業 (1) ノーバディズパーフェクト1期開催(6週連続) (2) カプラで遊ぼう (3) 思い切り遊び隊 (4) グループ懇談会 (5) 公立保育園看護師の健康講座 (6) 保育園栄養士の栄養講座 (7) 地域小児科医による健康講座 (8) 消防署による救急救命講座 3. 子育てのひろば 大泉びよびよ 日・水除く毎日 10:00～16:00 企画プログラム等も盛りこむが、自由来館本来の良さも失わないよう、ゆったりとしたひろば運営を行う (1) 季節の行事（年3回） (2) スポットタイム（おはなし会・ふれあい遊び）月2回 (3) 誕生月の手型とり 4. 乳幼児の一時預かり 毎週日曜日、水曜日 6ヶ月から就学前まで 10:00～16:00（1コマ3時間）定員10名（時間単位） 5. トワイライトステイ【変更】 年末年始、日祝除く毎日 2歳から12歳まで 17:00～22:00 定員10名 ※2013年度より日曜・祝日の実施はなくなる。 6. 児童虐待の防止に関する事業 ・通報の受付と先駆型子ども家庭支援センターとのすみやかな連携 ・大泉地域ネットワークへの参加（要保護児童対策地域協議会地域部会） 7. 練馬区ファミリーサポートセンター事業の窓口 ・地域における、主に利用会員からの問い合わせと事務的な窓口 ・定例会・サービス講習会等の会議室貸出 8. その他 (1) 情報提供事業（わかちあいのひろば） 1) かわら版「大泉びよびよ」毎月発行 2) 子育て関連・地域・リサイクル情報 掲示板、チラシ配布 3) ホームページ (2) 人材育成・ネットワーク事業 1) 結成一年未満の子育て支援団体への会議室無償貸し出し等 2) 子育て支援団体への印刷機無償貸し出し 3) 子育てボランティアの受け入れ（大泉ボランティアセンターとの連携協力）【新規】	職員構成	常勤（正規） 5名 ○施設長 1名 ○子ども家庭支援ワーカー4名（内リーダー 2名） 常勤（非正規） 1名 ○子ども家庭支援ワーカー（保育・トワイライト担当） 非常勤 10名 スーパーバイザー 1名 主な研修 1. 法人内研修 (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 2. 外部研修 (1) 子どもの虐待防止センター主催研修各種 (2) 東京都主催研修各種 (3) 練馬区主催研修各種 (4) 子育てセンター実践研究会 実践交流セミナー (5) 子育てひろば全国連絡協議会主催研修 3. 職場内研修 (1) ケース検討会

支援センターブロック 大泉（委託）

2013（平成25）年度 事業計画書

施設名： 小平市子ども家庭支援センター/小平市ファミリー・サポート・センター

記入者 武井まさ子

事業目標	<p>子ども家庭支援センターブロック事業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実に基づいて、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 	ネット ワーク と 機 関 連 携	<ol style="list-style-type: none"> 1. 要保護児童対策地域協議会及び実務者会の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ケースを通じた地域のネットワーク作りの充実・ケース検討会議の開催・地域組織化活動の促進 2. 関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・小平市役所、小平児童相談所、健康センター、養護施設、教育相談所、教育委員会、小・中学校、学童クラブ、保育課、保育園、幼稚園、社協、保健所、民生委員、児童委員、療育施設、病院警察署等 3. 地域センターとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域センター、児童館を活用しての講座・相談 4. ママサークルの支援、近隣地域との協力 5. 健康センターとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳配布時に子ども家庭支援センターの案内を同封、研修、ケース検討会、情報共有、同行訪問等協働を行う。
方針と展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て交流広場活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が何を求めてここにいるのかを考え、きめ細かい対応を心掛ける。 ・利用者同士のかかわりを助け、ひろばでの体験を通して利用者（親子、保護者）の成長を見守り支援する。 ・ひろばでの遊びを通して、育児、子育て文化の伝承に触れる場を提供する。 ・父親の育児参加をすすめる、共に取り組むことで育児の理解を深める。 ・子育ての楽しさを共有する要支援家庭をひろばの機能を生かして、支援する。ひろばから相談へ、相談からひろばへ繋げる。 2. 相談活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ひろばでの悩み事、聞いてほしいことの相談を受ける。 ・相談電話を通してのサポートをする。 ・専門相談員による予約相談の充実（発達検査、相談等：臨床心理士、言語聴覚士、助産師等） ・地域の人材資源と連携して子どもの育ち、発達、授乳、睡眠などについて学ぶ場を提供する。（市内の助産師さんの会、幼稚園教諭OB等） ・専門相談員によるミニ講座などを通して育児をサポートする。 ・スーパーバイザーからの助言を受け、相談事業を強化する。 3. 地域福祉事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市内人材活用、発達を支援する会、子育てに関する普及啓発。 4. 児童虐待防止機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会を通してネットワークの強化。 ・関係機関とのケース検討を通して連携を強化。 5. 相談事業を通して必要な家庭を支援する <ul style="list-style-type: none"> ○のびのび子育て応援事業（産後支援）○子どもショートステイの受け付け事業 ○ファミリー・サポート・センター事業につなげ支援していく。 	環 境 整 備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明るく清潔で家庭的な安心して過ごせるひろばづくりをしていく。 2. 利用者も参加しての環境整備、絵本、玩具(手作りおもちゃ)の充実 3. 利用者との信頼関係を深め、センターの活用の仕方を理解してもらう。 4. 事業所電話への切り替え(リース) 5. 事務所内の環境整備、衛生管理
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひろば事業（常設）（予防から相談へ） <ul style="list-style-type: none"> (1) 親子で遊ぶ (2) スポットタイム（あそび、季節のお楽しみ、誕生会など） (3) のびのび成長記録、 2. 体験学習事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 各年齢別講座「わたぼうし」親子の出会いと仲間づくりの会 ねんね（0歳から1歳頃まで）（おのおの月1回ずつ） げんき（1歳から3歳頃まで） (2) 父親講座（多目的講座）(2回) (3) 家族関係講座 (4) CSP（家族関係・虐待防止）講座 (5) リボンの会（助産師さんによる育児相談） 3. 相談事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 電話相談 (2) 面接相談 (3) メール相談 (4) 専門相談（発達相談、心の育ち、言語、家族問題） (5) ひろば相談 (6) のびのび子育て応援事業(出産前から子どもが6か月（多胎児は1歳）までの家庭の支援 (7) 市内の子育てひろばなどを適宜訪問し、ひろばスタッフと関係を持つとともに情報の共有、相談を受ける 4. 先駆型・虐待対策 <ul style="list-style-type: none"> ・市の虐待通報窓口、訪問、面談、小平児童相談所との連携及び連絡会（要保護児童対策地域協議会及び実務者会に出席）、関係機関との調整、関係者会の開催、ケース検討会の充実、スーパーバイザーの導入(月一回、要保護児童事例検討会) 5. 情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) センター便り(毎月) (2) ホームページでの情報発信、メールでの問い合わせ (3) ポスターちらし (4) 子育て相談ガイドブック など 6. ネットワーク・人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 小平が構築する子育て支援ネットワークの活用化 (2) ファミリー・サポート・センターとの連携及び講師派遣 (3) 子育て女性相談室（子育て支援）との連携・相談 (4) 子育て支援協議会での支援センターとしての活動の強化 (5) 関係機関との学習会 (6) 各種研修の開催（子育て支援、ボランティア募集と育成、市相談員への研修） 7. 子ども家庭在宅サービス事業との連携（ショートステイ事業、育児支援ヘルパー事業ファミリー・サポート事業） 8. 運営企画 <ul style="list-style-type: none"> (1) 企画運営会議の充実（月、年間を見通していく） (2) 利用者のセンター行事への運営参加、子育てサークル、ボランティアの自主活動との連携、まもらっこの会（障がい児を持つ親子の会）支援 9. ファミリー・サポート・センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・提供会員と利用会員による地域の中での育児相互援助活動 ・アドバイザーが中心になって、援助活動の調整、会員に対する説明会・講習会、会員募集、会員間のトラブルへの助言を行う。 養成講座 年2回等 ・会員数：利用会員1955名、提供会員346名(2013年1月末日現在) 10. 子育て相談室の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談室として、地域のすべての子どもとその家庭を対象にして、子育てに関係する様々な相談を受ける。 	職 員 構 成	<p>常勤（正規） 5名 （嘱託） 2名 （臨時） 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設長 1名 ○虐待防止対策ワーカー 3名 ○子ども家庭支援ワーカー 3名 ○地域支援ワーカー 1名 <p>非常勤 2名</p> <p>専門相談員 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心理 ○発達（検査も含む） <p>スーパーバイザー 1名</p> <p>育休中 1名</p> <p>産休予定 1名（9月～）</p>
		主 な 研 修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内研修 <ul style="list-style-type: none"> (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 2. 外部研修 <ul style="list-style-type: none"> (1) 小平市各機関研修 (2) 東京都主催研修各種 (3) 児童相談所主催研修 (4) 子ども家庭支援センター関連研修 3. センター内研修 <ul style="list-style-type: none"> (1) ケース検討会

支援センターブロック

小平（指定管理）

小平ファミサポ（委託）

2013（平成25）年度 事業計画書

施設名： 小金井市子ども家庭支援センター/小金井市ファミリー・サポート・センター

記入者： 名取知子

事業目標	<p>子ども家庭支援センターブロック事業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実立って、事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるよう、日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族が抱える問題を受け止め、より良い解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 	ネットワークと機関連携	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運営協議会への参加 2. 子ども家庭支援センター合同連絡会、事務打合せ 3. 児童館連絡会への参加 4. 個別支援検討会議への参加 5. NPOとの連携 (研修、出張ひろば、講座、ケースの連携等) 6. 学芸大学との連携事業 7. 市内子ども関連団体との連携及びサポート 8. 子育て子育てネットワーク協議会への参加
方針と展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひろば活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が大切にされていると思える場になっているか、安心感、安全感をもってひろばを利用してもらえるようにスタッフの丁寧であたたかみのある対応を心掛ける。 ・ひろばの環境も親子が安心してほっとできる空間になっているか、安全で衛生的であるように気をくばる ・新規来所の親子など孤立しないように、親同士、ひろばに来られた地域のいろんな世代の方とも、子どもを真ん中に自然な交流ができるようにサポートしていく ・いらした親子が楽しかった、また来ようと思えるあそびの提供や遊具の工夫をしていく 2. 相談活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ひろばでの関わりの安心感のなかから、気軽に相談ができる関係づくりや自然に話せる雰囲気を作る。指導にならないように支援をしていく ・親自身の思いにたって話を聞き、時には、一緒に葛藤をし、それを支え、その人の力を信じて、親自身の決めた事を尊重していく ・必要に応じて市のワーカー、専門相談につなげたり、支援の必要な家庭は、専門機関とも連携をとりながら、ひろば事業でも支援をおこなっていく (今年度から相談業務は、市、直営の子ども家庭支援センターが行なう事になった為) 3. 体験学習事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・個だけではなく、個の力をもとに集団の力をいかして、支援おこなう ・ひろばで支援の必要な親子を体験学習事業につなげる。又、体験学習事業で気になる親子をひろばにつなげるフォローしていく 4. ネットワーク、人材育成事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと家庭に暖かい町づくりを目指し、広く地域に開かれた、ひろばを作っていく。 5. ファミリー・サポート・センターの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てのサポートができる人達を地域に増やしていく。(ボランティア及び会員募集⇒活動⇒研修⇒交流⇒地域に戻るというシステムづくり) ・ひろばと連携とし、孤立感を持つ親子の存在のつながる場づくりしていく。 	環境と整備修繕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遊具・環境改善 2. 定期的な安全・衛生点検 (マニュアル作成) 3. 大人用貸し出し図書の実施・整備 4. 室温・温度管理 5. 掲示物の整理 (内容、掲示の仕方) 6. 季節を感じる環境づくり 7. わかりやすい案内の工夫 8. 土曜日の防犯 9. 安全・防犯マニュアル
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひろば事業 (火～土 開所、日・月・祝祭日・年末年始休み) <ul style="list-style-type: none"> ○談話室を使った遊びのプログラムの提供 ○C a f e (年11回) ○大きくなったかな (身体測定・年24回) ○NPOおもちゃライブラリーとの連携出張ひろば ○ボランティアによるおたのしみ ○大人用本貸し出し・子ども服リサイクル (ひろば開所日) ○お父さんとの遊びコーナー 2. 相談事業 <ul style="list-style-type: none"> ○電話相談 ○面接相談 ○ひろばでの相談 (いずれもひろば開所日) 3. 体験学習事業 (子育てのスキル学習、孤立感、不安感の軽減、仲間づくり、虐待早期発見、予防) <ul style="list-style-type: none"> ○1才児グループワーク (1グループにつき：月1回×5ヶ月) ○ミニ講座 (出張・ママ講師) ○0歳児の会・グループ (年36回) ○1歳の誕生会 (年12回) ○母親グループ (ハイリスクケース：年12回) ○カルガモ教室 (10ヶ月児～14ヶ月児：年12回) ○エンジェル教室 (5ヶ月児：年24回) ○シニア向け異世代交流会 (年1回) ○父親講座 4. 情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> ○センター通信・予定表 ○ホームページ ○掲示等による地域、子育て、リサイクル情報の掲示 5. 自主サークル支援 <ul style="list-style-type: none"> ○虐待防止を目的としたハイリスク家庭の為に自主サークル支援 (多胎児の会：年4回 小学生の軽度発達障害児の親の会：年11回) 6. ネットワーク、人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア募集と育成 (募集・活動のコーディネート・交流・研修、社協・ボランティアセンターとの連携) ボランティア交流会 (年1回)・ボランティア研修 (年1回)・活動 (ひとば、通信、保育、プログラム) 学生ボランティア、中学生職場体験、お母さんボランティアの受け入れ ○ファミリー・サポート・センターとの連携 (ボランティア研修：年2回 フォローアップ講習：年2回・ひろば実習) 7. ファミリー・サポート・センター事業 <ul style="list-style-type: none"> 依頼会員と協力会員による地域の中での育児相互援助活動 (依頼会員 1010人、協力会員 163人、両方会員 42人 合計 1215人) ○協力会員の募集及び講習会開催 (年3回) ○依頼会員の募集は随時、及び説明会開催 (年12回) ○会員相互の交流会 (年2回) ○援助活動の促進及び協力会員、依頼会員へのサポート ○子ども家庭支援センターとの連携事業 (上記) ○センターの周知及び協力会員募集のための活動報告 (市民対象) (年3回) 	職員構成	<p>子ども家庭支援センター</p> <p>常勤 (正規) 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マネージャー (管理職) 1名 ○地域支援ワーカー 2名 <p>非常勤</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域支援ワーカー 1名 ○事務補助 1名 <p>専門相談員</p> <p>ファミリー・サポート・センター</p> <p>非常勤 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アドバイザー 3名
		主な研修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内研修 <ul style="list-style-type: none"> (1) 階層別研修 (2) テーマ別研修 (3) ブロック別研修 2. 外部研修 <ul style="list-style-type: none"> (1) 東京都主催研修各種 (2) 子ども家庭支援センター研修 3. 職場内研修 <ul style="list-style-type: none"> (1) ケース検討会議

支援センターブロック

小金井 (委託)

小金井ファミサポ (委託)

児童発達支援センターとなり2年目を迎える。地域支援への取り組みを具体化する年としたい。また、児童部門としてさくらの木で行っていた事業の継続の在り方が大きな課題となっている。

- 相談支援事業及び保育所等訪問支援について、実現可能な職員配置を検討する。
- 相談支援事業及び保育所等訪問支援について、各市区町村と調整の上、指定申請手続きを行い、可能な範囲から実施していく。
- 在園児への心理学的評価や発達相談の時期について、個々に合わせた年間計画を立案する。
- 愛の園保育園との園児の交流を継続し、計画的にすすめる。
- 小金井地区マスタープラン委員会にて、現状の土地・建物の活用とともに、事業内容の展開を検討する。また、昨年度実施した小金井地区事業所との合同研修を継続し、相互理解を深める。
- 職員育成計画を作成し、職員の資質の向上に取り組んでいく。
- 関係機関の見学の実施と、職員の資格取得を奨励する。
- 療育の技術を高めるため、指導手順書に基づき職員間での共通理解を図る。
- 修繕や備品の整備に関しては、助成金等の活用を図る。
- 教材費・光熱費の節約に努める。

1 施設運営

(1) 実施事業 …相談支援事業、保育所等訪問支援事業については準備中

- ・児童発達支援事業（集団療育、個別学習）
- ・発達相談
- ・卒園生のアフターケア

(2) 児童の処遇

ア クラス編成（定員35名）

- ・週5日通園クラス 3クラス（27名）
- ・週4日通園クラス 1クラス（6名）
- ・週1日通園クラス 6クラス（32名）

イ 健康管理 … 週4日・週5日通園クラス対象

- ・内科検診 年2回（4月、11月）
- ・身体測定 身長・体重（毎月） 頭囲・胸囲（年2回：4月、10月）
- ・歯科検診 年1回（11月）
- ・蟯虫卵検査 年1回（5月）

ウ 療育目標

法人の事業基本理念とかがわブロックの事業目標に基づき、以下のような取り組みを行う。

- ・週5日・週4日通園

日々の園生活での積み重ねを大切に、人からの働きかけを受け入れ周りに目を向けながら様々な活動に取り組む。それらの取り組みの中で、生活習慣、コミュニケーション、社会性の育成に力を入れていく。保護者との話し合いを大切にし、家庭との連携を重視する。

- ・週1日通園

保育園や幼稚園との併行通園児を中心に、集団活動の基本的なルールや人との関わり方を学ぶ場を提供する。保護者の相談に乗り、専門的なアドバイスを行っていく。また母体となる集団（保育園など）との連携を大切にしていく。

エ 主な行事予定 ※行事費用：実費徴収分を除き、事業所としての支出分

4月：入園式 (5,000円)	2月：文集 (25,000円：コピー代込)
5月：春合宿 (400,000円)	2月：アイススケート体験 (65,000円)
6月：お楽しみ会 (3,000円)	3月：卒園劇 (10,000円)
9月：運動会 (35,000円)	3月：おわかれ会 (15,000円)
10月：遠足 (10,000円)	3月：卒園式 (58,000円)
12月：クリスマス会 (30,000円)	

オ 栄養管理

- ・献立や配膳に職員の意見を反映させるため、毎月の職員会議内で給食会議を実施し、園児の食事の様子や指導員の意見を取り入れるとともに、保護者対象の試食会を行う。

- ・食品の種類、調理方法を工夫し、変化に富んだ献立を提供する。あわせて園児が安心して食事を楽しめるよう、繰り返しメニューも取り入れる。

- ・食品の安全性に配慮し、衛生管理を徹底する。

カ 安全管理

- ・園児が安全に生活できるよう、園内の設備・遊具の点検を定期的に行う。
- ・ヒヤリハット記録を活用し、事故の防止に努める。
- ・来園者についてはテレビモニターの確認を徹底し、不審者の侵入を予防する。
- ・療育時のケガ、体調不良には速やかに対応できるよう、職員間で役割を確認しておく。

キ 苦情解決

- 法人の定める実施要綱に基づき、適切かつ迅速に対応する。

(3) 職員の処遇

ア 職員構成 (人数)

	常勤	非常勤
管理者 (園長)	1	
児童発達支援管理責任者 (主任)	1	
児童指導員及び保育士	14 ※内3名他事業所兼務	4
調理員	1 ※他事業所兼務	6 ※他事業所兼務
事務員	3 ※他事業所兼務	1 ※他事業所兼務
看護師		1
嘱託医		1 ※業務委託
臨床心理士		1 ※業務委託
スーパーバイザー	作業療法士 各1 ※業務委託	

イ 健康管理

- ・健康診断 年1回 (5～10月)
- ・細菌検査 調理員毎月1回

ウ 職員会議

- ・GK全体職員会 (年3回)
- ・ブロック会議 (年3回)
- ・児童部門会議 (月1回)
- ・児童部門職員会議 (年2回)
- ・職員会議 (月1回)
- ・リーダー会議 (月1回)
- ・ケース会議 (月3回)
- ・クラス会議 (週2回)
- ・報告会 (平日療育日)

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修 (200,000円)
- ・法人内研修 (200,000円)
- ・自閉症等発達障害児の療育に関する各種外部研修 (150,000円)
- ・学校や関連施設の見学

2 施設管理

(1) 設備関係

- ・老朽化によるボイラー、保育室及び個別学習室のエアコンの買い替え (設置後24年経過)
- ・電気・配管等の修繕計画を検討 (建築後24年経過)

(2) 備品関係

- ・心理検査器具の購入を検討

(3) 災害対策

ア 災害時に備えた訓練

- ・避難訓練 (月1回)
- ・園児引き渡し訓練の実施 (年1回)
- ・愛の園保育園・かがわ工房との合同総合避難訓練 (年1回)

イ 防災設備の点検委託年2回 (内、消防署への届け出1回)

ウ 非常食糧の備蓄 (全園児数) × 3食 × (1日) 分

3 地域社会との連携

- ・隣接する愛の園保育園との交流
- ・実習生、ボランティアの積極的な受け入れ
- ・グループかがわ後援会主催バザーへの協力
- ・町内会の行事への協力と参加

- 2013 年度新体系に移行し、生活介護事業と就労継続支援 B 型事業の二つで小金井市より受託予定。
- 新体系移行により看護師の配置など支出は増えるが、その分については、前年度より委託費が増額される予定である。
- 利用者の安全確保のため、福祉会館耐震工事早期着工を小金井市に要望していく。
- 利用者の行き帰りの安全や地域とのより良い関係を考え、ご家族・グループホームと連携し、対応していく。
- 高齢利用者の排泄介助・インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症への対応等、利用者の衛生面・健康面に配慮する。利用者の生活習慣病予防として、健康相談への利用を働きかけていく。
- グループかがわの成人部門施設と協力し、利用者の生活向上にむけて支援内容の充実を図る。

（生活介護事業）

- 利用者の高齢化に伴い医療機関との関わり方・かかりつけ医及び使用薬の把握に努める。
- 利用者の適正に応じた作業や創作活動を提供していく。
- 個々の利用者が、楽しく過ごし、行える余暇活動を提供する。

（就労継続支援 B 型事業）

- 利用者の工賃安定を図るため、受注業者から安定的に受注が入るよう考えていく。新しい作業を積極的に受け入れていく。
- 福祉会館内の清掃作業の負担軽減のため、ひとりひとりの適正に応じた清掃用具の改善や清掃方法の見直しを行っていく。

1 施設運営

（1）実施事業

- ・生活介護事業
- ・就労継続 B 型事業

（2）利用者の処遇

法人の事業基本理念とかがわブロックの事業目標に基づき以下のことを行う。

ア. 利用者定員：生活介護 10 名 就労継続支援 B 型 10 名

イ. 作業内容（生活介護・就労継続支援 B 型）

- ・ 委託作業（福祉会館清掃、福祉会館風呂場清掃）
- ・ 受注作業（付録詰め、割り箸袋入れ、DM 封入、説明書折り）
- ・ 自主製品作業（陶芸）

ウ. 余暇活動

ウォーキング、映画鑑賞会、ビーズアクセサリ作り、陶芸クラブ

エ. 健康管理

年 1 回 健康診断 小金井市障がい者健康診断 2 月 内科検診 嘱託医

オ. 処遇方針

- ・ 毎日、楽しく健康に通所して来られるよう環境を整える。（生活介護）
- ・ 毎日、楽しく通所して来られ、安定的に作業が行えるよう環境を整える。（就労 B 型）

・利用者の個別支援計画に基づき、支援する。

カ. 主な行事予定 4月 お花見 (3.6万円) 6月 日帰り旅行 (15.2万円)
10月 秋の一泊旅行 (80.4万円) 12月 クリスマス会 (7.8万円)
2月 慰労会 (7.8万円)
※ 事業費としての支出分のみ

キ. 安全管理

防災訓練 年4回 福祉会館全体避難訓練 年2回

(3) 職員の処遇

ア. 職員構成

管理者 常勤・兼務	1名	サービス管理責任者 常勤・兼務	1名
職業指導員 常勤・専従	1名	生活支援員 常勤・専従	2名
生活支援員 非常勤・専従	3名		
看護師 非常勤・兼務	1名	嘱託医・相談員 非常勤	各1名

イ. 健康管理

健康診断 年1回

ウ. 職員会議

法人全体集会	年1回	GK全体職員会	年3回
成人部全体職員会	年2回	運営会	月1回
職員会議	年12回	ケース会議	年6回
職員打ち合わせ	毎日		

エ. 研修計画 (研修費用)

ブロック内研修 法人内研修
外部研修

2 施設管理

- | | |
|----------|--|
| (1) 整備関係 | ・空調設備の改善 |
| (2) 備品関係 | ・オーディオ機器購入予定 |
| (3) 災害対策 | ・市とも協議しながら、非常食糧の備蓄を増やすことを進める。
・拡声器、非常用持ち出し袋 |

3 地域社会との連携

- ・福祉会館まつりに参加し、市内の作業所・会館利用者との交流を深める。
- ・障がい者週間のポスター制作やイベントに参加する。
- ・市民ボランティアと協力し、余暇活動の充実を図る。
- ・市役所からの注意事項 (衛生面・生活面) を、正確に利用者へ伝達し未然にトラブルを回避するよう務める。
- ・実習生やボランティアを積極的に受け入れる。

4 その他

- ・これまで通り月1回おたよりを発行していく。
- ・利用者との話し合いを持ち、行事等の企画・立案をしていく。

小・中・高生の放課後支援や成人の休日支援については多大なニーズがあり、昨年度は日中一時支援事業（対象は児童）など柔軟に利用者のニーズに応えられるような体制作りを検討したものの、経済的および運営的な観点からは安定したサービスの提供が大変厳しい現状が継続している。2014年度以降は利用者のニーズと経営面をどうバランスをとっていくかを検討し、かがわブロック内における移動支援、余暇支援事業について根本的な見直しを図る。

課題

- ヘルパーの人材確保と研修等人材育成の充実を図る。
- サービスの質の均一化へ向けてヘルパー支援マニュアルの再整備を行う。
- 苦情対応の徹底と対策の充実を図る。
- 他の事業所との情報交換やヘルパー養成等相互協力を行う。

1 施設運営

(1) 実施事業

- 知的障害児・者居宅介護事業（および行動援護事業）
- 知的障害児・者移動支援事業（各市町村の地域生活支援事業）
- その他有料の預かり事業
- 東京都障害者（児）移動支援従業者養成研修（ガイドヘルパー養成研修）

(2) 利用者の処遇

法人の事業基本理念とかがわブロックの事業目標に基づき以下のことを行う。

ア 利用者数

総利用者数89名（年度途中での増減あり）

イ 処遇方針

- ・個別援助計画に基づき、本人の意向を尊重した余暇を充実させることを目指す。

ウ 健康管理

- ・スタッフの日々の体調管理とともに、保護者、学校関係者、施設職員などと連絡を密にするようにする。
- ・利用者が利用している医療機関との連携を図り、薬の保持・服用については職員が管理する。
- ・急な発熱、怪我等、職員が病院に付き添う場合の体制を整備し、危機管理マニュアルを用いて職員に周知徹底する。

エ 主な行事予定

- ・夏季休暇時の集団プールDAY等のイベント

オ 栄養管理

- ・支援で昼食をとる際は年齢・体格、またアレルギー対応等個別に応じ、栄養のバランスを考えたメニューを選択する。

カ 安全管理

- ・責任者および職員が事業所名義の携帯電話を常に携帯し、事務所に職員が不在のときにでも、転送されてきた電話やメールにて緊急時に必要な対応が出来るようにする。
- ・災害、特に大震災時にはあらかじめヘルパーに配布されている緊急時マニュアルに基づき、

利用者の安全確保を第一に対応するよう心がける。また、震災時は携帯電話やメールが繋がりにくいため、伝言ダイヤル(171)の活用方法を利用者とヘルパーに文書で徹底して伝える。

(3) 職員の処遇

ア 職員構成

センター長	1名
管理者・サービス提供責任者	1名
支援スタッフ(ヘルパー)	17名

(うちサービス提供責任者1名、常勤兼務職員1名、パート職員15名)

イ 健康管理

健康診断 年1回(8月～10月)

ウ 職員会議

- ・ グループかがわ全体職員会 年3回
- ・ ウイングス連絡会(施設長・サービス提供責任者・事務) 隔月開催
- ・ ケース会・支援前打合せ(随時)

エ 研修計画(研修費用)

- ・ ブロック内研修 年3回(3万円)
- ・ 法人内研修(4万円)
- ・ 外部研修(6万円) ※特に「居宅ネット」研修への参加
- ・ ヘルパーには必要に応じて動行支援を行い、現場研修を実施する。

2 施設管理

(1) 設備関係

- ・ 必要に応じて修繕を行う。(10万円)

(2) 備品関係

- ・ 必要な生活備品や衛生備品は随時整備する。

(3) 災害対策

- ・ 避難経路や消火器の設置場所など利用者とも確認し、非常時に対応できるようにする。
- ・ 災害時の対応を日ごろから利用者とも話し合っておく。

3 地域社会との連携

- ・ ガイドヘルパー養成研修を行い、さらに近隣の大学(東京学芸大学、東京経済大学、津田塾大学等)やその他の機関にヘルパー募集のアプローチを行う。
- ・ バザーや町内会の行事に参加し、地域の方たちとの交流を深める。
- ・ 地域の移動支援等の事業所(色えんぴつ・くじら雲・夕焼け子どもクラブ…等)との連携を深め、情報交換を積極的にしていく。特に色えんぴつ(滝乃川学園)とは定期的にガイドヘルパー養成研修および行動援護研修の実習受け入れをしており、引き続き相互の連携をさらに深める。

平成24年12月に新しいケアホーム(ソレイユ)を開所し、利用人数が大幅に増えた。ケアホームが点在する中で地区ごとに、日中活動事業所と協力体制を図りながら運営を進めていく。また、安定した勤務体制を整えるとともに、職員の育成を図っていく。

利用者の年齢が高齢化してきている。健康管理に一層配慮をしていくとともに、生活のペース、週末利用の際の過ごし方等、見直しをしながら対応をしていく。

1 施設運営

(1) 実施事業

- ・ケアホーム（共同生活介護事業） 定員45名
- ・グループホーム（共同生活援助事業） 定員 1名

(2) 利用者の支援

ア 利用者数

ホーム名	定員	利用者数	日中活動先
シリウス	6名	6名	工房5名 共作1名
ミラ	5名	5名	工房5名
カペラ	5名	5名	共作2名 工房2名 一般企業1名
ベガ	4名	4名	他法人事業所2名 ワーク2名
ジュピター	7名	7名	ワーク7名
ソレイユⅠ	7名	7名	生実7名
ソレイユⅡ	7名	7名	生実7名
ソレイユⅢ	5名	5名	生実4名 工房1名
計	46名	46名	

イ 支援目標・方針

- ・法人の基本事業理念及びかがわブロックの事業目標に基づき、利用者の人権を尊重し、利用者一人一人が社会の一員として、より豊かに暮らしていけるよう適切な支援を行い、自立を促進することを目標とする。
- ・各利用者に応じた個別支援計画を作成し、ご本人やご家族の方から同意を得て支援を進めていく。
- ・各ホームに担当責任者を一人配置し、役割と組織の明確化を図る。
- ・各ホームで定期的にミーティングを行い、支援の確認、統一を図る。また、各地区のサービス管理責任者で定期的にミーティングを行い、運営の方針の統一を図る。
- ・余暇、行事については各ホームの特性に配慮し、利用者による企画や意見を尊重しながら年間計画を立てて行っていく。
- ・保護者会を行い、ご家族の方の意見や要望を汲みながら支援を行っていく。
- ・夜間支援員と合同のケース勉強会を開催し、支援の統一性を図る。

ウ 健康管理

- ・日々の体調管理（食欲・睡眠等）と共に、日中活動の場である各事業所の健康診断の結果に基づき、家庭とも連携して健康管理に留意する。

- ・定期的に体重測定を行い、体重の管理に気を配る。
- ・インフルエンザやノロウイルスといった感染症の予防対策として、ホームに帰った時の手洗い、うがいを習慣化する。また、感染症にかかった場合の対応マニュアルを作成し、職員、非常勤職員に周知するとともに、それに対する備品の整備を行う。
- ・朝の検温を行い、体調管理をする。
- ・服薬がある利用者の薬の保持・服用についてはマニュアルで職員が管理する。
- ・医療、家庭との連携を図る。薬の調整が必要であったり、家庭の定期的な通院付き添いが困難な利用者については職員が通院に付き添う等の対応も検討する。

エ 栄養管理

- ・年齢や体格に応じ、栄養のバランスを考えた献立を作成する。また、分量の調整など各自に応じて提供していく。

オ 安全管理

- ・夜間等の連絡、支援体制を整備し、緊急時に必要な対応ができるようにする。
- ・避難訓練を実施する。

(3) 職員の処遇

ア 職員の処遇

代表 1 名 サービス管理責任者 2 名
世話人 1 2 名 生活支援員 1 6 名

イ 職員会議

GK全体職員会（年3回） 成人部門合同会議（年2回） 運営会（月1回）
成人部会（月1回） 職員会議 ケース会 行事前打ち合わせ（随時）
寮地区会議（月1回） 夜間支援員ケース勉強会（年2回）

ウ 研修計画

- ・法人 新人職員研修 全体職員研修 施設長研修 経験別研修
- ・ブロック内 全体職員研修 実践報告・合評会 他事業体験研修
- ・外部研修 各自年1回以上

2 施設管理

(1) 設備関係

- ・シリウス、ミラ、カペラ、ベガ(賃貸)は10年を過ぎたため、建物の修繕、エアコン等設備器具の修理、買い替えを計画的に実施していく。
- ・必要に応じて老朽箇所や故障による修繕を随時行う。

(2) 備品関係

- ・各ホームで必要な生活備品を整備する。

(3) 災害対策

- ・具体的な防災マニュアルを各ホームで整備する。
- ・避難袋、非常食等の整備を行う。

3 地域社会との連携

- ・バザーの開催、町内会の行事に参加する等、地域の方たちとの交流を深める。
- ・町内会の会合に出席し、地域の方への理解を深める。
- ・近隣の方たちとの友好的関係が作れるよう、通勤時等職員が付き添うなど配慮する。
- ・小金井グループホーム連絡会に参加し、市内の関係機関との連携を深めていく。

- 平成25年4月施行予定の障害者総合支援法について、必要な情報収集を行い対応していく。
- 現在の建物は東京都の所有になっているが、建て替え後は法人所有となる。建て替えの時期について東京都と協議し確認していく。また、老朽化に伴う修繕が必要な箇所についても建て替えを視野に入れて対応していく。
- かがわの家ベガ、ソレイユⅠ・Ⅱ・Ⅲと連携を深め、協力しながらお互いの事業を進めていく。
- 短期入所は、体制を整備し要望のある地域の方の受け入れを進める。
- 研修の充実を図り職員の育成を行うと共に、働きやすい環境を目指す。
- 利用者及び家族の高齢化の課題について、行政等関係機関とも連絡を取り合い、利用者本人とそのご家族を支援する。

1 施設運営

(1) 実施事業

生活介護事業 就労継続支援事業（B型） ショートステイ事業

(2) 利用者の支援

- ア. 利用者定員… 生活介護事業 32名 （4月1日契約予定者数37名）
 就労継続支援事業 10名 （4月1日契約予定者数13名）
 ショートステイ事業 2床

イ. 支援目標・方針

- ・法人の事業基本理念及びかがわブロックの事業目標に基づき、利用者の人権を尊重し、利用者一人ひとりが社会の一員としてともに、より豊かに暮らしていけるよう適切な支援を行い、その日々の充実および社会的自立の助長を図ることを目標とする。
- ・利用者一人ひとりの健康状態、生活における能力などを正しく把握し、アセスメントシート・個別支援計画・中間報告書・個別支援報告書を作成する。また、グループごとにケース会を行い計画の達成状況の確認や計画の見直しを行う。
- ・年2回の個別面談（うち1回は希望制）、グループ別参観日（各グループ年1回）、家族連絡会（年2回）を開催し、ご家族からの意見や要望を積極的に聞いていく。また、学習会については、ご家族から要望をとり、必要があれば講師を招いた学習会を開催する。
- ・利用者アンケートを実施し、本人及びご家族からの意見や要望の集約に努める。
- ・「援助マニュアル」や「支援の留意点」「個別支援マニュアル」を職員に周知し、安全管理の徹底を行う。また、マニュアル等の内容についての見直しを行う。

ウ. 活動内容

（生活介護事業）

- ・利用者及びご家族の要望や、利用者の障がい特性やペース、年齢、体力等を考慮したグループ分けを行う。また、各グループで目標を定め、その目標に沿ったプログラムを設定する。
- ・各グループにリーダー職員を配置し、組織としての役割の分担・明確化を行う。
- ・創作や体育などは専門講師を引き続き依頼し、活動プログラムの幅を拡げていく。
- ・理学療法士に実際の活動や支援内容をチェックしてもらい、アドバイスをうける。また、専門家の助言を受けながら必要な装具の作成を家族と共に行っていく。
- ・年2回行っている一日外出のうち1回を利用者の方に内容を選んでもらう選択制の外出を行う。

（就労継続支援事業B型）

- ・作業内容…パンの製造・販売、革工芸、付録の袋詰め作業
- ・就労Bでは、工賃向上計画に基づき授産収入の増に努め、利用者の工賃に反映させる（平成24年度平均工賃…約5700円）。

エ. 健康管理

- ・利用者の健康に留意し、感染症の予防等看護師・家庭・医療機関との連携を図る。

- ・薬の保持・服用は看護師が管理する。
- ・利用者が通院している医療機関に、付き添いが必要な場合は職員が通院に付き添う。
- ・レントゲン検診（年1回）、内科検診（年10回）、耳鼻科検診（年1回）、整形検診（年2回）を実施する。
- ・PT相談を年3回実施し、ご家族の方とともに専門家のアドバイスを求める。

エ. 主な行事（費用は本人負担金を除き事業所の支出のみ）

- ・一泊旅行（2回に分けて開催）…1回70万円 ・一日外出（年2回）…計30万円
- ・実習所祭（3月）…10万円 ・クリスマス会…10万円 ・その他季節に合わせた行事

オ. 給食

- ・一般食だけではなく、特別食（アレルギー除去食、カロリー調整食、減塩食、刻み食、粥食）等、利用者の健康状態や咀嚼能力に応じた給食を提供する。
- ・外食や所内バイキング食、選択食を実施し、利用者が楽しんで食事できる機会を提供する。

カ. 安全管理

- ・防災訓練を毎月1回実施する。
- ・消防署署員立会いの総合訓練を年1回実施、職員の防災意識の向上を図る。消防庁が開催している普通救命講習に職員を参加させる。
- ・小金井市の二次避難所として、市と協議をしながら必要な備蓄品を準備する。

（3）職員の処遇

ア. 職員体制

- ・管理者（兼務）1名 ・サービス管理責任者・主任（専任）1名
- ・生活支援員（兼務）13名（非常勤）8名 ・職業指導員（専任）1名
- ・就労支援員（兼務）2名（非常勤）2名
- ・看護師（非常勤）2名 ・運転士（非常勤）5名 ・調理師（兼務）1名（非常勤）5名

イ. 会議

- ・法人全体集会（3月）・GK全体職員会（年3回）・成人部門職員会（年2回）
- ・運営会（月1回）・成人部会（月1回）
- ・職員会議（月1回）・グループミーティング（隔週1回）・リーダー会（月1回）
- ・ミーティング（毎朝）・報告会（毎夕）・給食会議（月1回）・行事打ち合わせ（随時）

ウ. 研修計画

- ・法人 新人職員研修 全体職員研修 施設長研修 階層別研修
- ・ブロック内 全体職員研修 実践報告・合評会 他事業体験研修
- ・外部研修 各自年1回以上(予算15万円)、外部研修に参加した職員は職員会で研修報告を行い、情報の共有化を図る。
- ・勉強会やケース会、内部研修を積極的に開催し、支援スタッフの育成に重点を置いていく。

2 施設管理

（1）設備関係

- ・施設内老朽化に伴う修繕を必要に応じて行う。
- ・建て替えに向けた準備委員会を設置する。

（2）備品関係

- ・老朽化が進み破損等で使用しづらい箇所があるので、計画的に修繕を行っていく。
- ・利用者の方が快適に過ごせるよう、必要な環境の整備を行う。

3 地域社会との連携

- ・地域の方々や近隣の福祉施設、関係団体を招いた「みのりフェスタ」（実習所祭）を開催し交流を深める。
- ・パンの販売や廃食油（バイオディーゼル精製事業）の回収、自主製品の販売をとおして地域の方への理解を深める。
- ・実習生やボランティアを積極的に受け入れ、地域に開かれた事業所を目指す。

- 平成25年4月より障害者総合福祉法が施行される。法制度の変化や情勢をふまえて持続可能な安定的な事業所運営を探る。
- 利用者本人の作業意欲を尊重し、従来の生産活動を継続実施し、パン、焼き菓子の製造販売と販路の拡大及び下請け仕事の新規獲得をすすめる。
- 心身の健康状態や気分転換に配慮した日中活動プログラムを実施する。
- 職員間での利用者支援力の維持向上を図るため、ケース会、学習会の充実を図る。
- 大震災に備えた防災対策を見直し、具体的な計画立案や備品等の備蓄をすすめる。地域や他事業所との連携をより一層図っていく。
- 事業所運営が厳しくなる傾向にあるため水道光熱費、消耗品費等のより一層の節約に努め、経費の削減を図る。
- かがわの家のバックアップ施設として連携を図り、利用者の生活をトータルに支えていく。また合同会議で情報を共有化していく。
- 施設便りや保護者会で、施設情報や方針を伝達し、家族との連携を図る。

1 施設運営

(1) 実施事業

生活介護事業

(2) 利用者の支援

ア. 利用者定員

利用者定員…25名

イ. 支援方針

- ・法人の事業基本理念及びかがわブロックの事業目標に基づき、障がいがある方の人格と個性を尊重し、その成長と生活を支援する。
- ・ひとりひとりの状況に配慮し、利用者本人の意欲や要望を尊重し、生産・作業活動や創作的活動を提供し、技能や意欲の向上を図ると共に、社会との関わりをもつ。
- ・ひとりひとりの心身の健康状態を常に把握するとともに、日常生活を送る上で必要な社会性への援助を行いながら、自立した地域生活が送れるよう支援する。
- ・各家庭やグループホーム・ケアホームのバックアップ施設として連携し、一人ひとりが心身ともに健康で充実した地域生活が送れるよう、生活全般について必要な支援を行う。

ウ. 活動内容

① 個別支援計画の策定

② 食事、排せつ等日常生活上の支援

③ 生産活動の実施

- ・下請作業…付録の袋詰め、封筒制作、ダイレクトメールの封入、ポストイング、ちらし挟み込み、食事セット袋詰め等各事業所と連携をとりながらすすめてゆく。
- ・自主製品の製造・販売…パン、焼き菓子など
- ・リサイクル事業…アルミ缶回収 ・ボランティア活動…公園清掃

④ 創作活動・リフレッシュ活動・軽運動等の実施…心身の気分転換を図る。

⑤ 健康管理…定期的に検温・体重・体脂肪・血圧等の測定を行う。

健康診断・内科検診・歯科検診。 訪問歯科診療(希望者)。

エ. 健康管理

- ・利用者の心身の健康に留意し、家庭、ケアホーム、医療機関との連携を図る。
- ・薬の管理は看護師が行なう。
- ・定期的に体重、体脂肪測定、血圧測定を行い、健康管理を行う。
- ・定期的に軽運動やリラクゼーションタイムをとり、心身の気分転換を促す。

- ・希望者の要望に応え、訪問歯科診療を行う。
 - ・感染症の予防に努め、かつ速やかに対応していく。
- 5月 内科検診（嘱託医） 2月 健康診断 多摩府中保健所（14万円）

オ. 主な行事（利用者実費負担分を除き、事業費としての支出分）

- ・利用者の要望も聞き、行事の企画に反映していく。
- 5月 春の日帰り旅行（8万円） 10月 秋の一泊旅行（45万円）
12月 クリスマス会（3万円） 3月 慰労会（12万円）

カ. 給食

- ・分量の調整など利用者各自の健康状態や咀嚼に応じた給食を提供する。
- ・季節感を盛り込んだメニューを提供する。

キ. 安全管理

- ・防災訓練を実施する。（以下の訓練を含む）
- ・賀川学園合同訓練年1回(7月)・三施設(愛の園保育園・賀川学園)合同総合訓練年1回引渡し訓練年1回(8月)

(2) 職員の処遇

① 職員の構成

管理者 1名、サービス管理責任者 1名、
生活支援員 8名、生活支援員（非常勤） 10名
看護職員（非常勤 1名、事務員（非常勤） 1名
調理員 1名、調理員（非常勤） 5名
※嘱託医は業務委託契約により実施する。1名

② 健康管理

健康診断 年1回

③ 会議

法人全体集会 3月
GK全体職員会 年3回
運営会 月1回 成人部会（施設長、主任）月1回
かがわブロック施設長会及び事務連絡会(理事長、常務、施設長、事務員)
月1回
職員会議 年12回 ケース会議 年3回

④ 研修計画

<法人> 新人職員研修 経験別研修 階層別研修 施設長研修
<ブロック内> 全体職員研修 実践報告・合評会 他事業体験研修
<施設内研修> 新人職員研修 <外部研修> 各自年1回以上

2 施設管理

(1)設備関係

- ・ 授産、給食、空調等、設備関係のメンテナンスと修繕等を考慮する。

(2)備品関係

- ・ 利用者の方が快適に過ごせるよう、必要な環境の整備を行う。
- ・ ホールの休憩場所の備品等購入

(3)災害対策

- ・ 大震災を想定した防災計画の見直しと防災備品の点検・整備を行う。

3 地域社会との連携

- ・ 近隣と利用者のトラブルや駐車場の出入りによる近隣への迷惑に配慮する。
- ・ 町内会へ出席、町会祭り等へ参加し、地域の方たちとの理解を深め、交流をもつ。
- ・ 実習生、介護等体験学生、ボランティア等は要請に応じて受け入れる。

- 昨年度の実績を踏まえ、利用者への月額支給金を3,500円(現2,500円)に引き上げる。
- 引き上げた支給金が維持できるよう、自主製品の販売や受注作業の確保に努力する。
- 利用者の状況に応じた、作業・生活環境の整備、支援内容の充実に取り組み、利用者一人一人の技能の向上を図る。
- 利用者の健康の維持・向上のための取り組みの継続・充実に努める。
- 共同募金の補助金を受けて、一泊研修を実施する。
- 自立支援協議会を通し、あきる野市とも協議して、当事業所を災害発生時の一時避難場所とするための準備を進める。
- 災害時の対応、計画の見直し（BCPの策定を含む）を行い、必要な備品の整備も行う。
- 日常的に節電を心がける。

1 施設運営

(1) 実施事業

生活介護事業

(2) 利用者支援

法人の事業基本理念とかがわブロックの事業目標に基づき以下の取り組みを行う。

ア. 利用者定員

利用定員…20名

在籍 …23名

イ. 支援方針

- ・活動と生活面から利用者の状況、課題を検討し、個別の支援計画を立て、支援内容の充実に努める。
- ・家族やグループホーム(ジュピター)との連携を強化し、利用者の生活の充実に努める。
- ・5月下旬より個別支援計画について、本人、家族との個別面談を行う。
- ・家族懇談会 年1回

ウ. 活動内容

- ①体操やウォーキング
- ②菓子、ポストカードなど自主製品の製造・販売
- ③農作業
- ④アイロンビーズ、裁縫等の創作活動
- ⑤付録の袋詰め、部品の袋詰め、D-BOXなどの受注作業
- ⑥アルミ缶回収などのリサイクル事業
- ⑦清掃作業

エ. 健康管理

- ・内科検診 年1回
- ・健康診断 年1回
- ・作業前にラジオ体操を行う。
- ・毎週検温、毎月体重測定、血圧測定

- ・訪問歯科治療を受ける。
- ・肥満の方を対象に月1回程度、ロングウォーキングなど健康維持の活動を行う。

オ. 主な行事（利用者実費分を除き、事業費としての支出分）

5月	日帰り旅行	90,000円
9月	一泊研修	600,000円
12月	クリスマス会	40,000円
3月	慰労会	120,000円

カ. 給食

- ・利用者各自の健康にも配慮した給食を提供する。
- ・折々に楽しめる季節、行事食を提供する。

キ. 安全管理

- ・防災訓練を実施する。
- ・災害時における一時避難場所とすることを進める。
- ・BCPの見直し及び災害時の対応マニュアルの見直しを進める。
- ・災害時の対応について、利用者家族、職員への周知徹底を図る。
- ・災害時に必要となる備品の整備を行う。

(3) 職員の処遇

・ 職員の構成

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護師（非常勤）1名、
生活支援員（兼務）5名、生活支援員（常勤パート）3名
生活支援員（非常勤）13名

栄養士（非常勤）1名、調理員（非常勤）3名、医師（嘱託）1名、
事務員（兼務）1名、相談員（非常勤）1名、

・ 健康管理 健康診断 年1回

・ 会議

法人全体集会1回 GK全体職員会3回 運営会月1回

成人部会2ヶ月1回 成人部門職員会議年2回 職員会議月1回

ケース会議随時実施 生活支援員打ち合わせ 毎日

かがわブロック施設長会及び事務連絡会（理事長、常務、施設長、事務員）月1回

・ 研修…法人研修、ブロック内研修、外部研修

2 施設管理

- ・老朽化による故障、利用者の行為による破損などについては随時修理を行う。

3 地域社会との連携

- ・ワークスタジオまつりを開催し、近隣の方との親睦を深める。
- ・西多摩療育センターの「ミニ作品展」やあきる野学園の研修発表会、瀬音の湯やプチひまわりの店など自主製品の展示や販売を通して、地域とのつながりを深める。
- ・実習生、ボランティアを積極的に受け入れていく。
- ・あきる野市社会福祉協議会の夏体験ボランティアに参加する。
- ・あきる野市地域自立支援協議会に参加し、関係機関や各事業所とのつながりを深める。

- 東京都・小金井市の補助金が終了を踏まえ、今後の事業の継続を前提に、さくらの木の事業の位置づけを法人と検討するとともに、指導形態や利用料などの見直しを行う。
- 利用の希望にできるだけ応えられるよう、賀川学園との連携を図り、受入可能数を検討する。
- 最多で70名の利用者数を念頭に置き、指導の質を確保するため、指導にあたる職員のスキルの向上をめざす。
- さくらの木が提供している個別学習についての職員間の共通理解を促し、日常の職務での職員の育成を強化するため、ケース会議と学習会を定期的に行う。職員の日常の働き方がバラバラになるために、効率的に取り組めるように体制を整えていく。
- 職員の専門性を高めるための研修を行う。また他施設・学校の見学等も実施していく。
- 職員数が減り、日常の動きで全員が揃う日が少なくなるために、会議の設定や係分担の職員体制に配慮する。
- 経費節減を目指し、光熱費、消耗品費、教材費の節約に努める。
- 建物の老朽化が認められるため、必要に応じた修繕工事を行う。
- 災害に備えて、保護者や職員（非常勤を含めた）との連絡体制を整え、日々の訓練や備蓄など、避難時に備える。緊急連絡用カードを作成する。

1 施設運営

(1) 実施事業

- ア 個別指導 (幼児・小学生対象)
- イ グループ指導 (中学生・高校生対象)
- ウ さくらの木相談室 (利用者の保護者の他、外部も対象)
- エ オリジナル教材の頒布 (利用者の家族の他、外部も対象)

(2) 利用者の処遇

- ア 利用者数年齢構成 (次年度利用予定者数)

	利用者数
幼 児	4
小学生	45
中学生	13
高校生	10
合 計	72

- イ 月別指導日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
18	19	22	20	16	20	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
23	17	15	18	20	12	220日

- ウ 健康管理

指導にあたっては利用者の健康状態に留意する。軽い怪我には対応できるような薬を常備する。

- エ 指導目標

法人の事業基本理念とかがわブロックの事業目標に基づき、自閉的傾向や発達に遅れのあることとその家族が、社会の中でより豊かに暮らしていけるよう適切な援助をし、自立を促すことを目的とする。具体的には、日常生活における基本的動作及びコミュニケーション手段の獲得、集団生活の適応を目標にひとりひとりの子どもの発達に応じた指導を行う。

(3) 職員の処遇

ア 職員構成

・施設長 1名 (兼務) ・指導員 職員 3名 (兼務) ・非常勤職員
(個別指導数に応じる)

イ 健康管理

健康診断 年1回 (7月～10月)

ウ 職員会議

・法人全体集会 (年1回) ・グループかがわ運営会議 (月1回)
・児童部門職員会議 (年2回) ・児童部門会議 (随時) ・グループかがわ全体職員会 (年3回)
・さくらの木職員会議 (月2～3回) ・ケース会議 (月4～8回) ・学習会 (月1回)
・その他指導打ち合わせ (随時)

エ 研修計画 (研修費用)

・施設内研修
・法人内研修
・発達障がいに関する各種外部研修 (7万円)
・発達障がいに関する書籍購入 (5万円)
・学校、関連施設見学

2 施設管理

(1) 設備関係

・建物の老朽の点検、修繕 (随時)
・受水槽清掃 (年1回)
・ガス漏れ警報器を設置する

(2) 災害対策

・職員に対し、非常災害時の対応を周知徹底する。
・隣接するケアホームかがわの家との連携のあり方を確認する。
・年2回、ケアホームかがわの家と合同避難訓練を実施する。
・備蓄の見直しと災害グッズを見直し、必要なものを揃える。
・職員と保護者との連絡体制を確認する。
・緊急時の連絡カードを作成する。
・緊急時の避難場所を確認し、保護者に連絡する。

3 地域社会との連携

・賀川学園卒園生の他、小金井市及び近隣市区町村在住者の利用希望も受け入れる。
・ボランティアや見学者を受け入れ、発達障がいへの理解を広める。
・グループかがわ後援会主催のバザーや町内会の行事へ参加し、地域の方との交流を図る。